

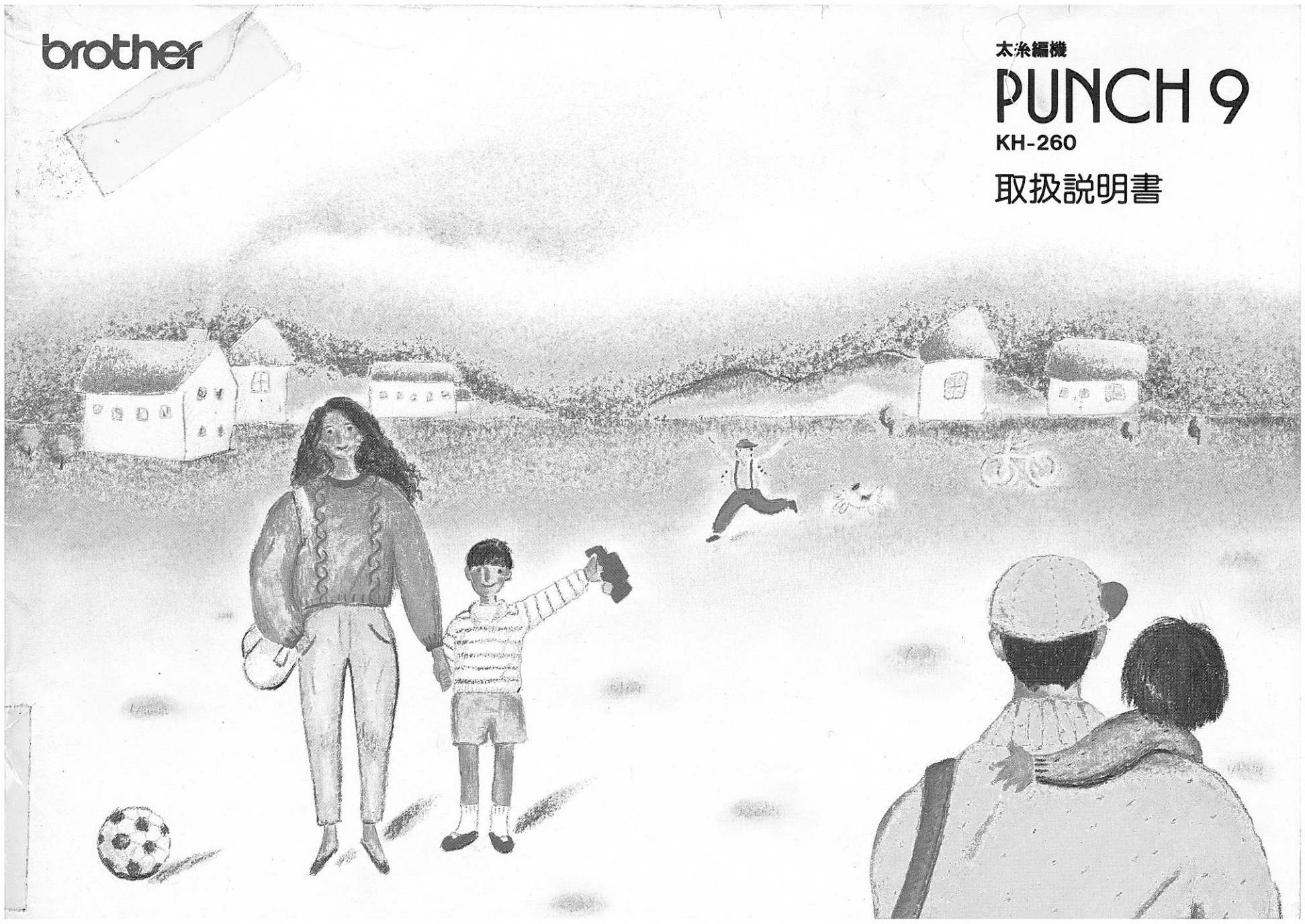
brother

太糸編機

PUNCH 9

KH-260

取扱説明書





お買い上げまことにありがとうございます。

この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。

模様集.....1~6

編機操作

編機の組み立て方.....	7~8
各部の名称とはたらき.....	9~12
編む前の知識.....	13~14
基本操作.....	15~18
模様の編み方.....	19~44
編機のしまい方.....	45~46

編物知識

ウツシの使い方・タツピの使い方.....	47~48
編目の増し方.....	47~48
編目の減らし方.....	49~50
引返し編(平編・模様編の場合).....	51~52
なわ編(交差模様)・ひも編.....	53~54

こんなときには

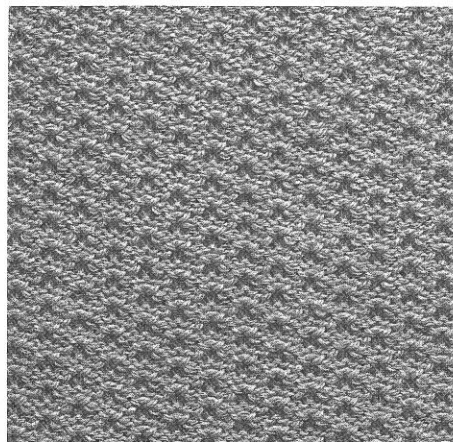
編んでいる途中でKキャラジが 動かなくなったときには.....	55~56
編針が曲がったときには.....	57~58
Kキャラジをカラ送りするには.....	57
編目がおちてしまったときには (編目の拾い方).....	58
編糸がクシバにかがってしまったときには.....	59
編んでいる途中で編糸がなくなったときには.....	59

ニットリーダーをご利用の場合.....61~62

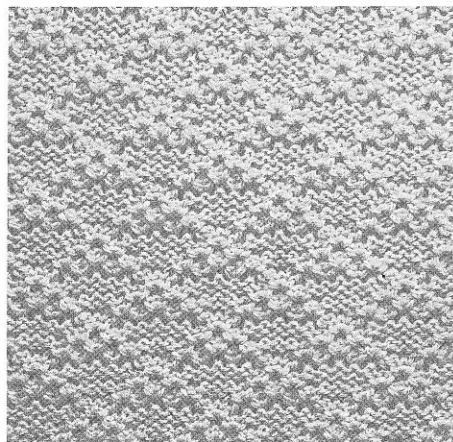
お手入れ.....63

模様集

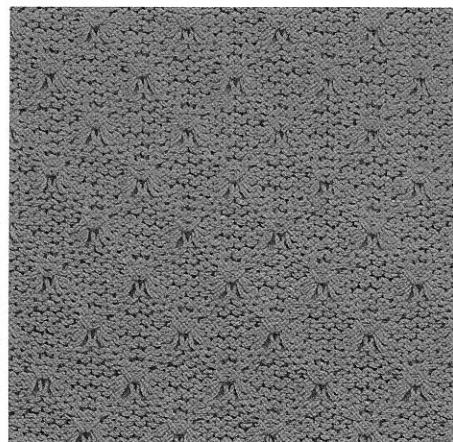
タック模様 利用できるカード：No1_N, 2_N, 3_N, 4_N, 5_N, 7_N, 8_N



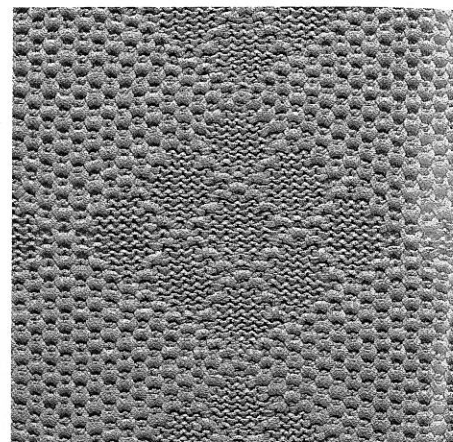
カードNo.2_N



カードNo.3_N

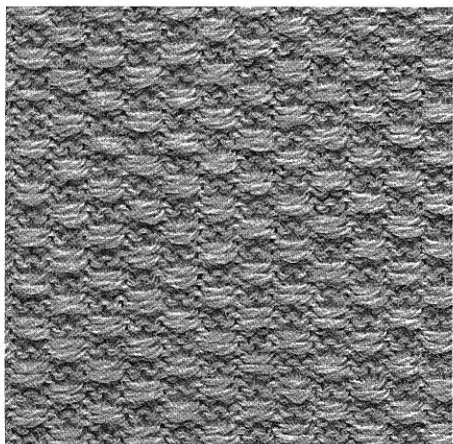


カードNo.4_N

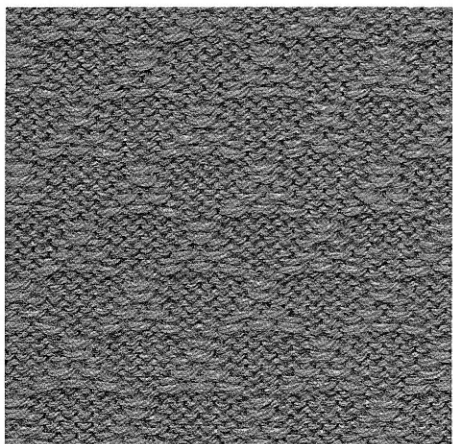


カードNo.5_N

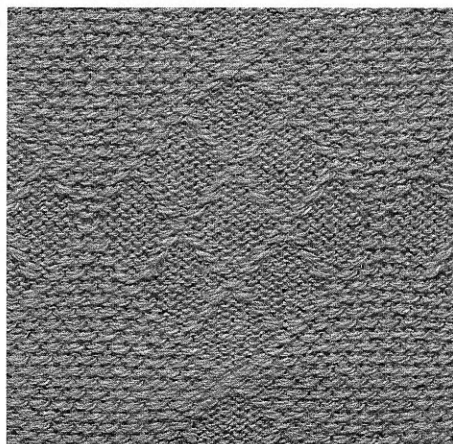
すべり目模様 利用できるカード：No1_N, 2_N, 3_N, 4_N, 5_N, 6_N, 7_N, 8_N



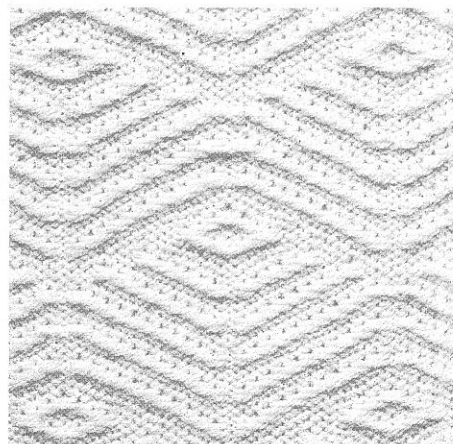
カードNo.2_N



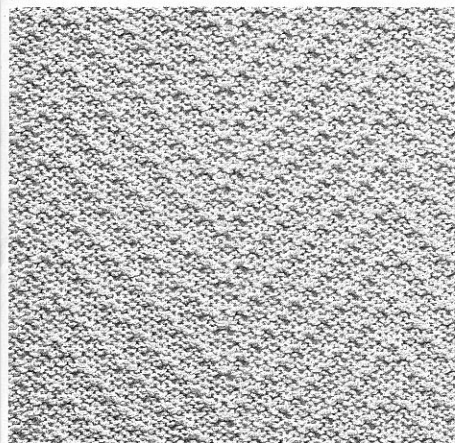
カードNo.3_N



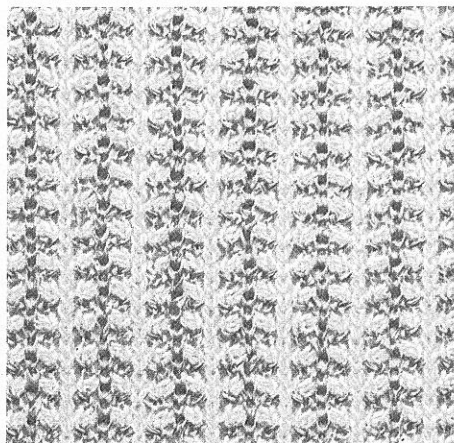
カードNo.5_N



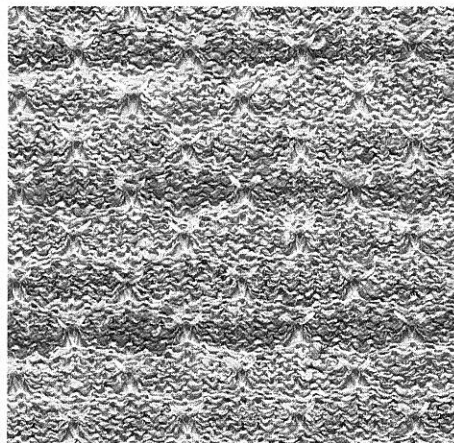
カードNo.6_N



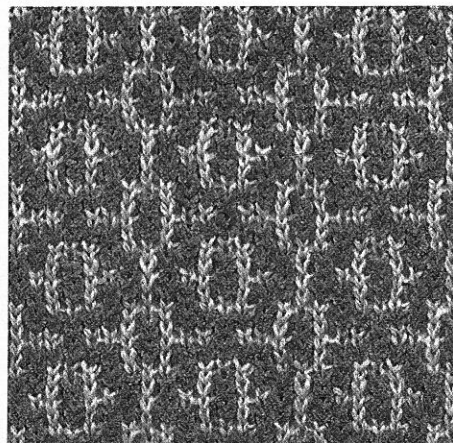
カードNo.8N



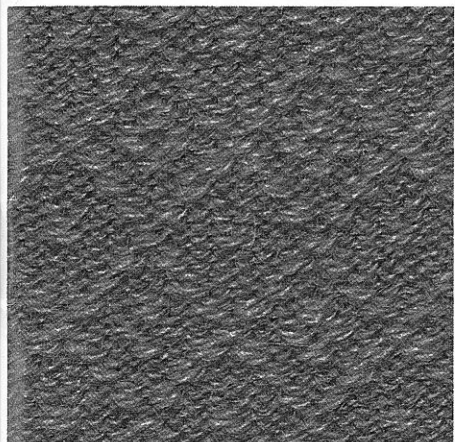
カードNo.2N



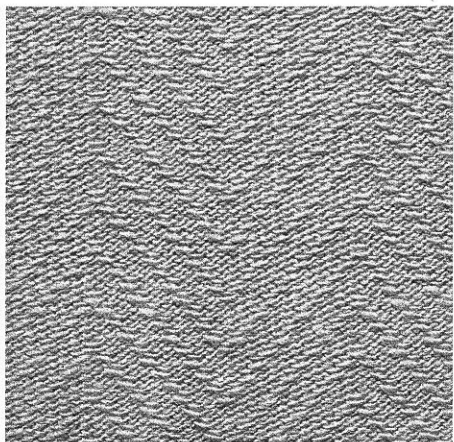
カードNo.4N



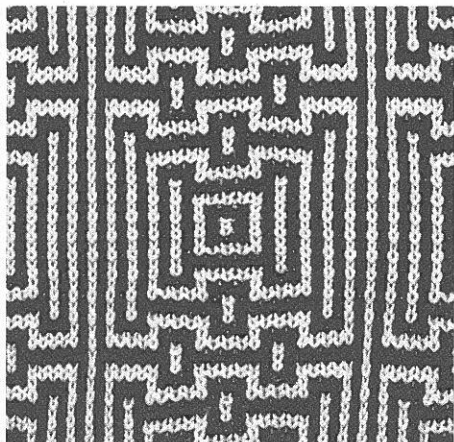
カードNo.7N



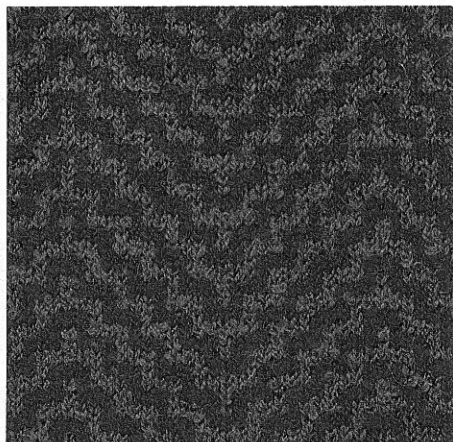
カードNo.7N



カードNo.8N



カードNo.5N

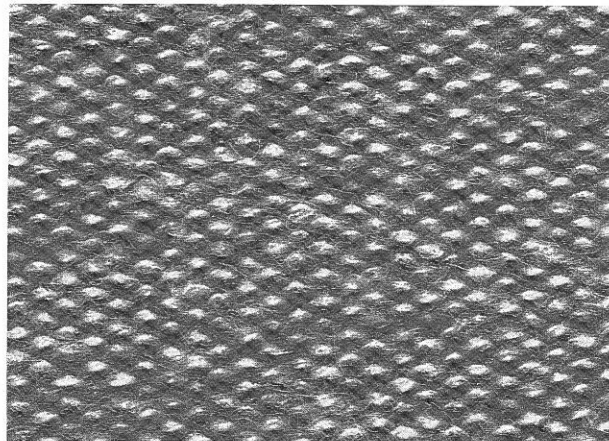


カードNo.8N

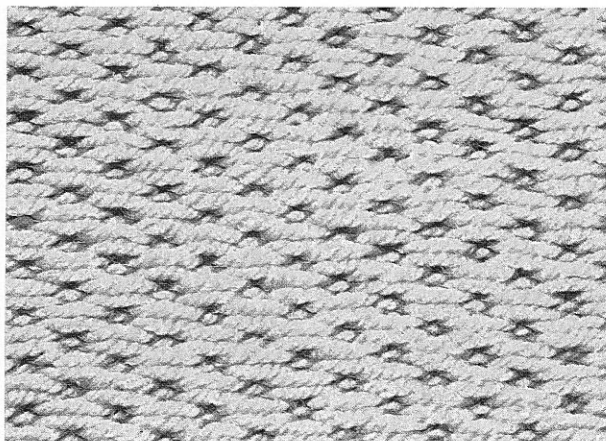
スレッド模様 利用できるカード：No1_N, 2_N

編み方27ページ

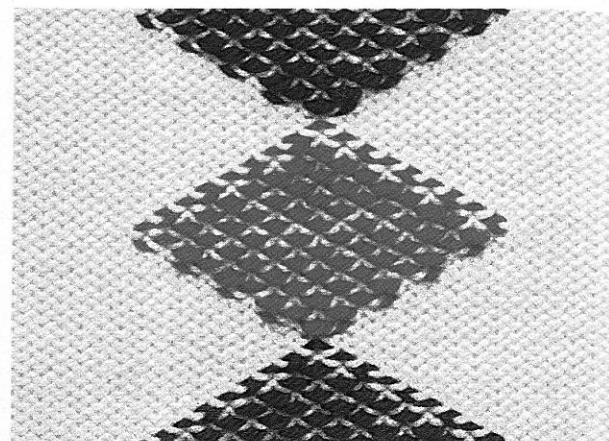
ポイント・スレッド模様 利用できるカード：No1_N 29ページ



カードNo1_N

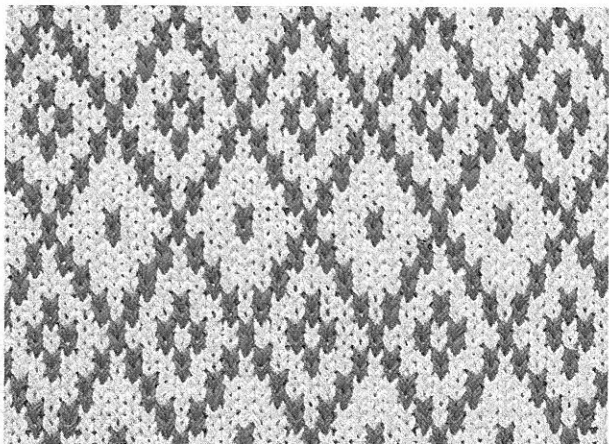


カードNo2_N

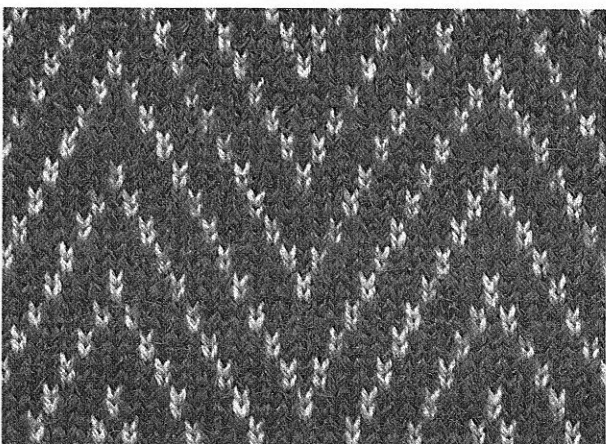


カードNo1_N

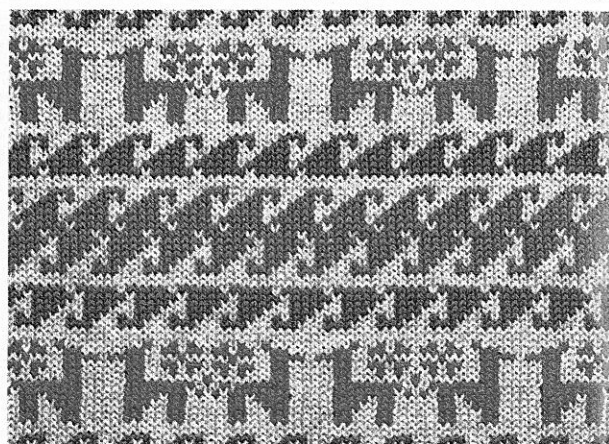
同時編込模様



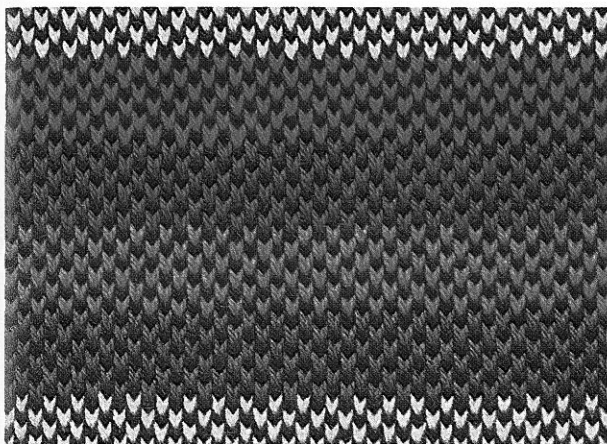
カードNo7_N



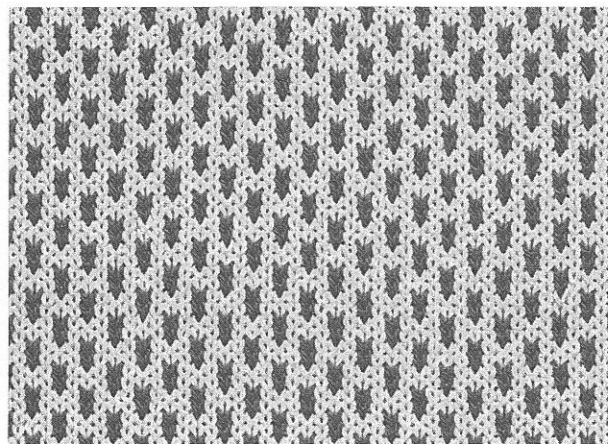
カードNo8_N



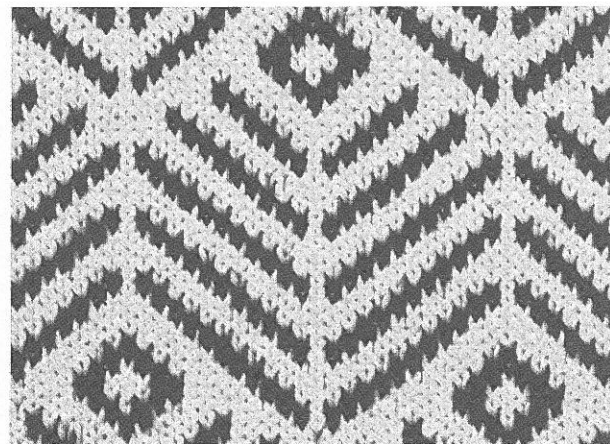
カードNo9_N



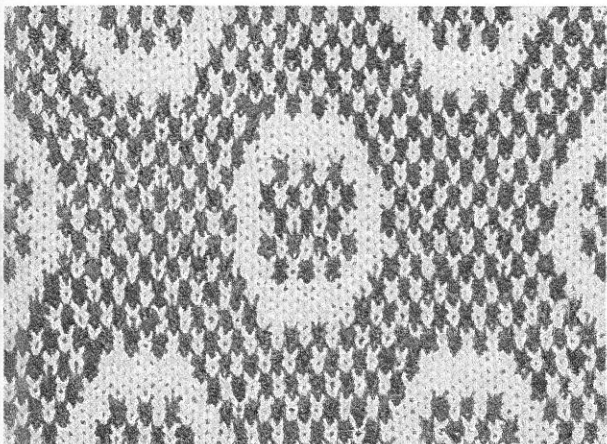
カードNo1_N



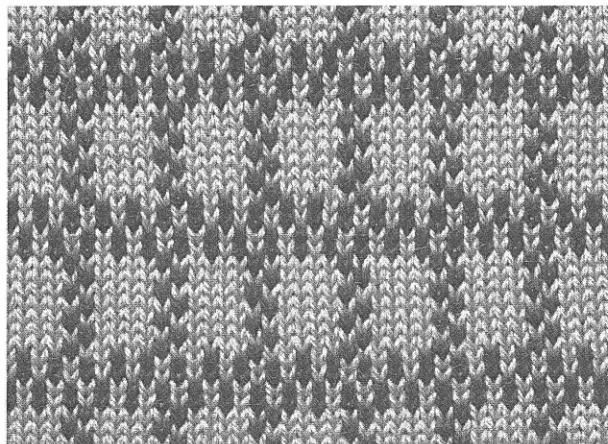
カードNo2_N



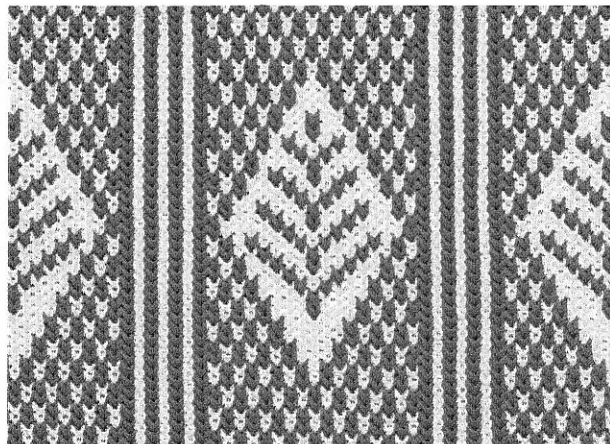
カードNo6_N



カードNo11_N



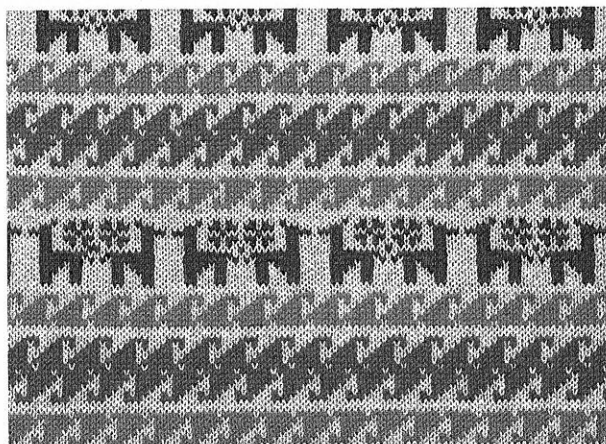
カードNo12_N



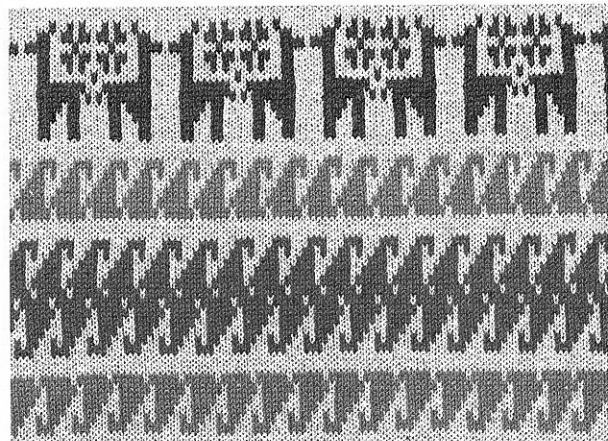
カードNo15_N

間欠送り模様 利用できるカードは同時編込模様と同じです。

編み方33ページ



カードNo.9N
〈普通の同時編込模様〉

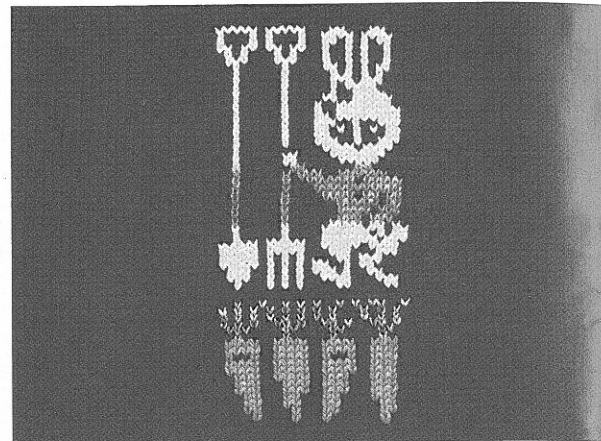


カードNo.9N
〈間欠送り使用〉

ワンポイント模様

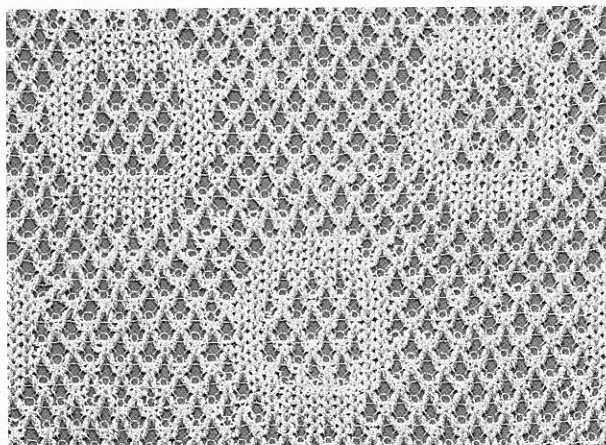
編み方35ページ

利用できるカード：No.10N, 同時編込模様のカードも利用できます。

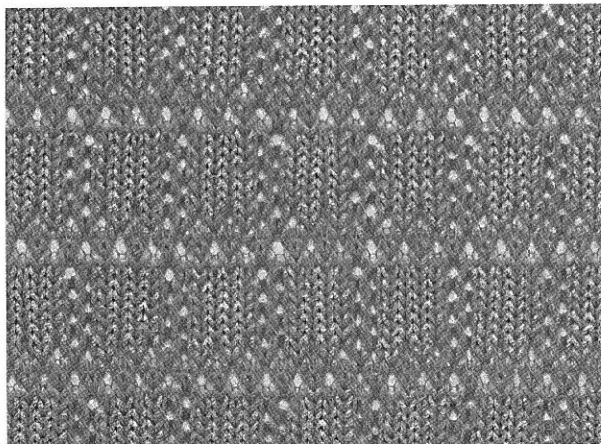


カードNo.10N

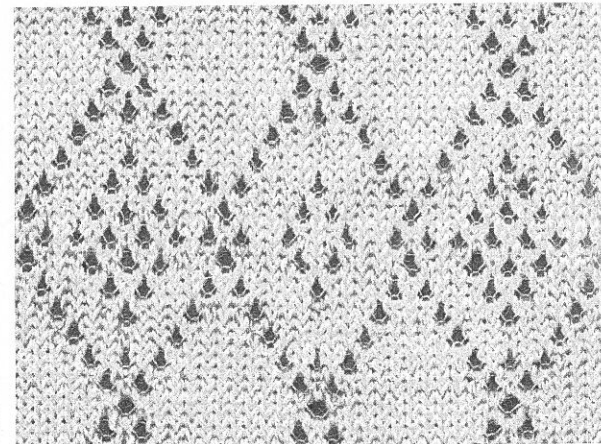
編込レース模様 利用できるカード：No.1N, 11N, 12N, 13N, 14N, 15N



カードNo.11N



カードNo.12N



カードNo.13N

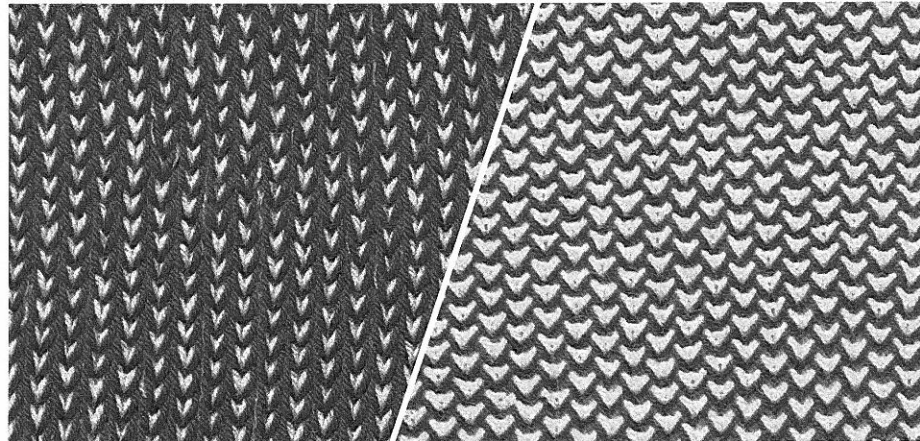
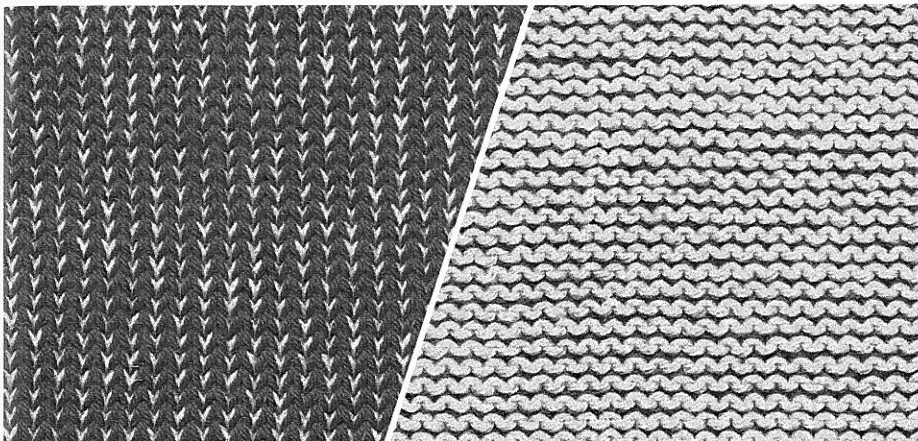
添え糸編

編み方41ページ

添え糸タツツ模様

利用できるカードNo1N

編み方43ページ



表

裏表

カードNo1N

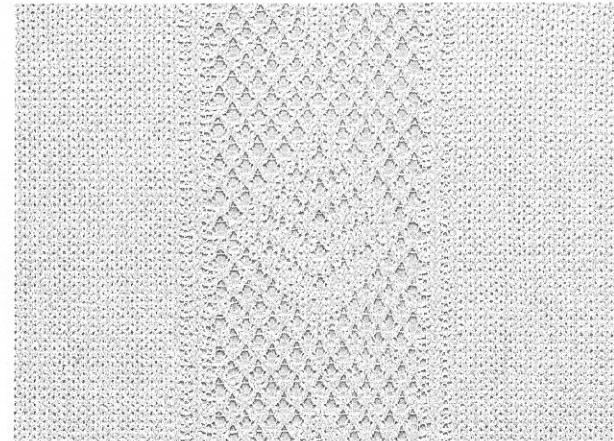
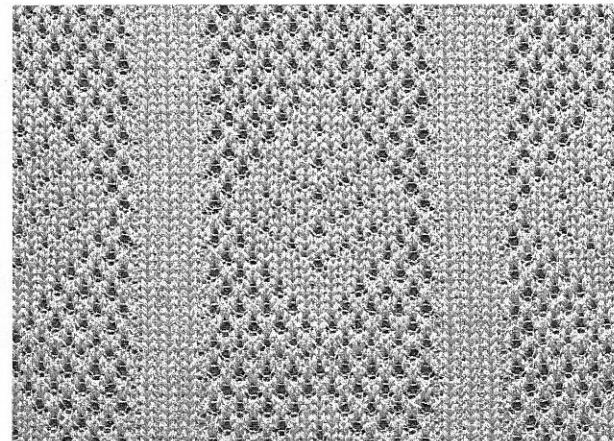
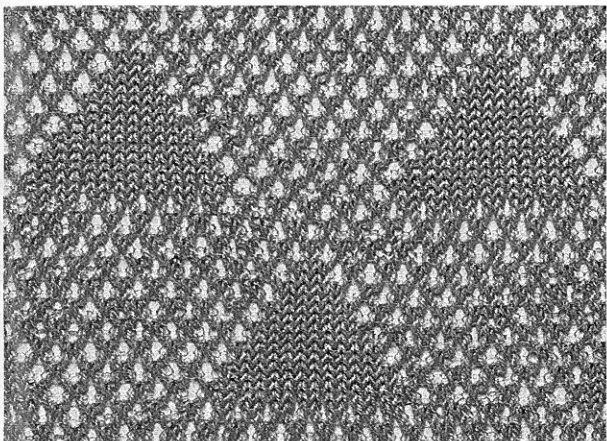
裏

ポイント・編込レース模様

編み方39ページ

編み方39ページ

利用できるカード: No15N編込レース模様のカードも利用できます。



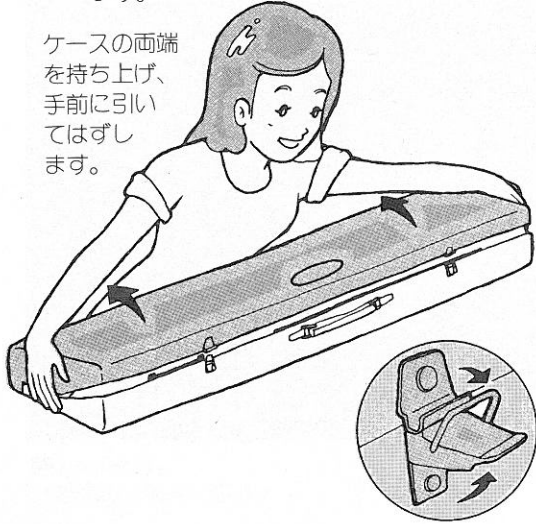
カードNo14N

カードNo15N

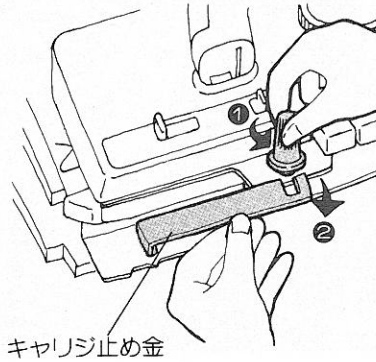
カードNo15N

- 1** 取っ手を向こう側にして置き、錠前をはずします。

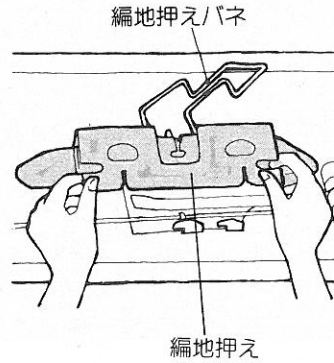
ケースの両端を持ち上げ、手前に引いてははずします。



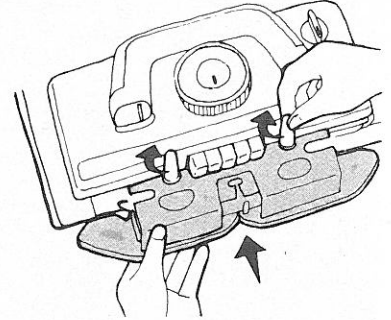
- 2** Kキャリジの編地押えツマミをゆるめ、キャリジ止め金をはずします。



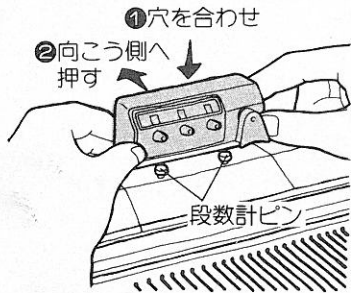
- 3** ケース内側の編地押えパネを開き、編地押えを取り出します。



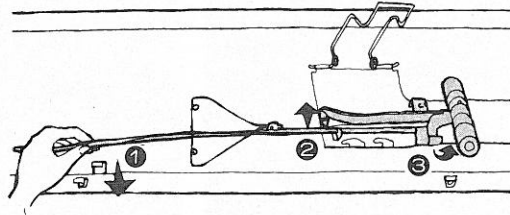
- 4** 左右のツマミをゆるめ、編地押えをいっぱい差し込み締め付けます。



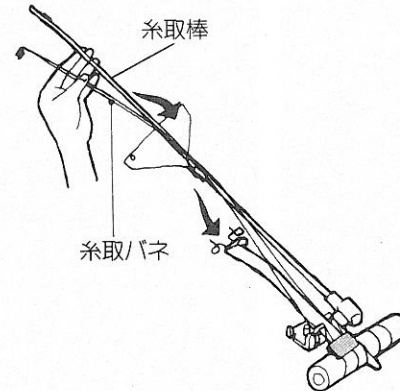
- 9** ケースから段数計を取り出し、段数計ピンに合わせて取り付けます。



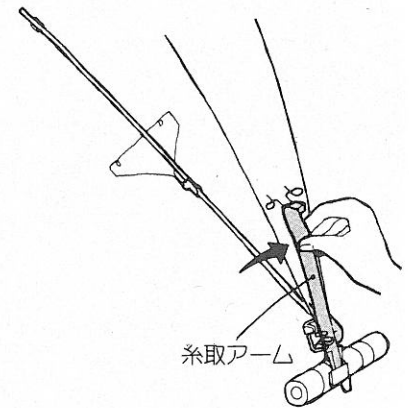
- 10** ①・②・③の順に、糸取装置をはずします。



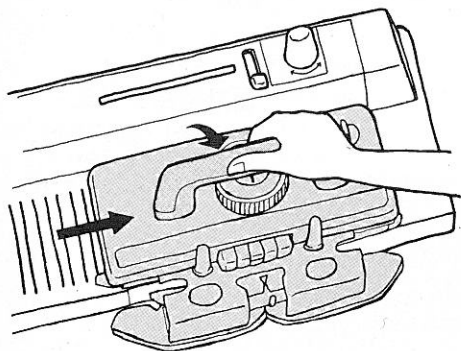
- 11** 糸取棒から、糸取パネをはずします。



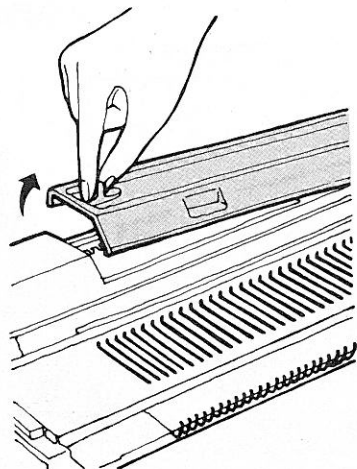
- 12** 糸取アームを止まるまで上げます。



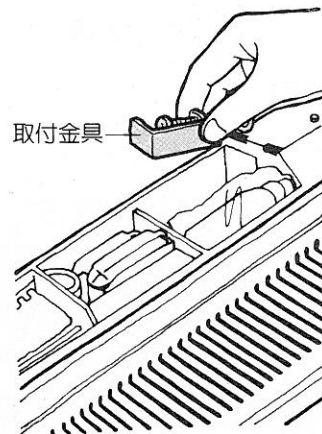
5 ハンドルを起こし、Kキャ
リジを右端へ動かします。



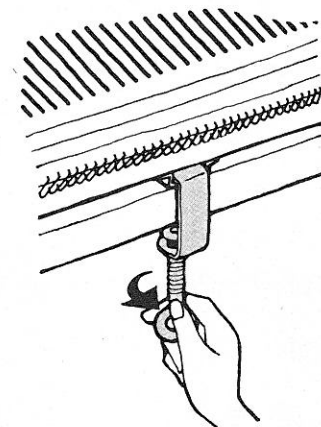
6 部品箱のふたを開きます。



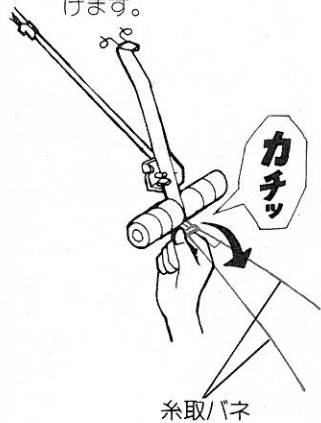
7 部品箱から取付金具を2個、
取り出します。



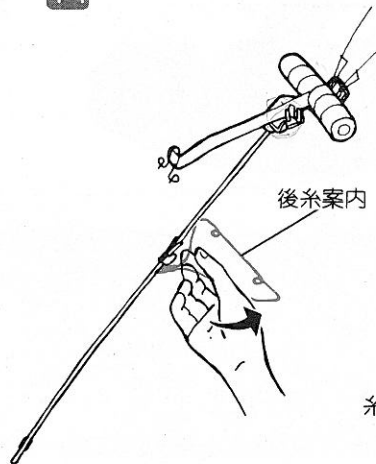
8 取付金具で、編機をテーブ
ルに固定します。



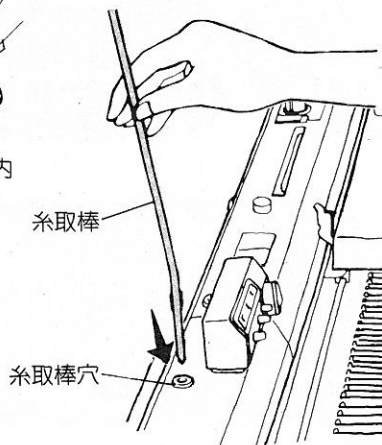
13 糸取パネの根元を持ち、カ
チッと音がするまで持ち上
げます。



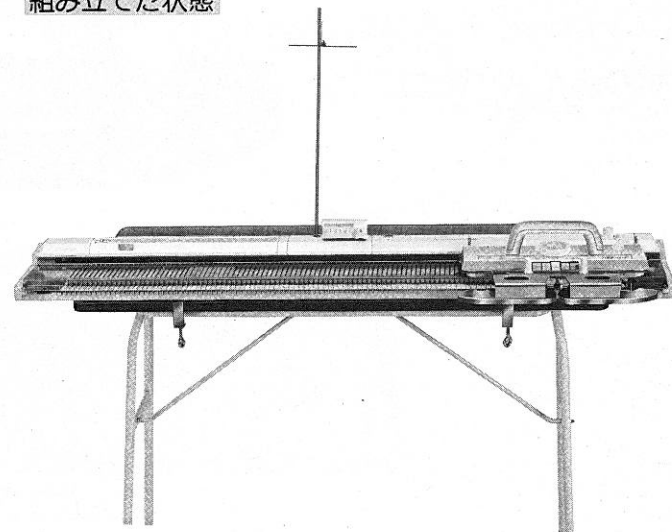
14 後糸案内を持ち上げます。



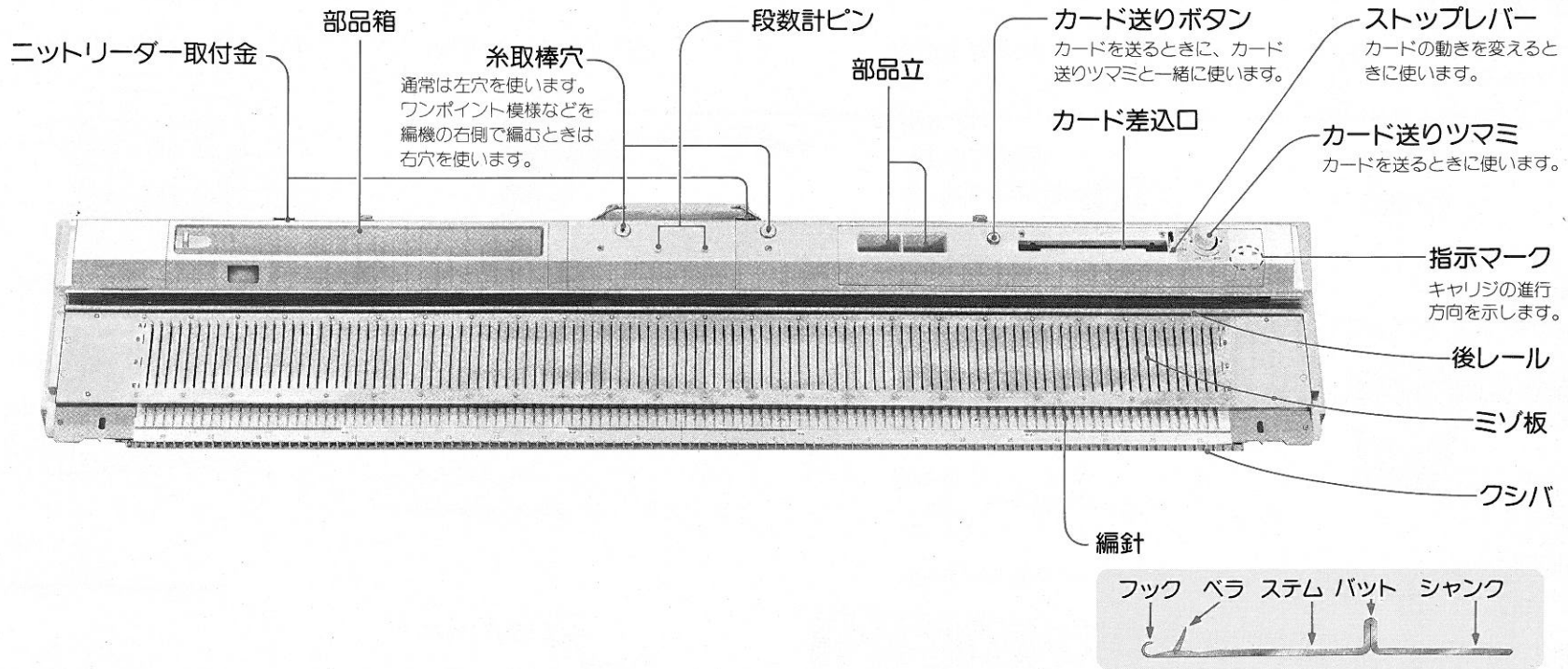
15 糸取棒を、糸取棒穴の左穴
に差し込みます。



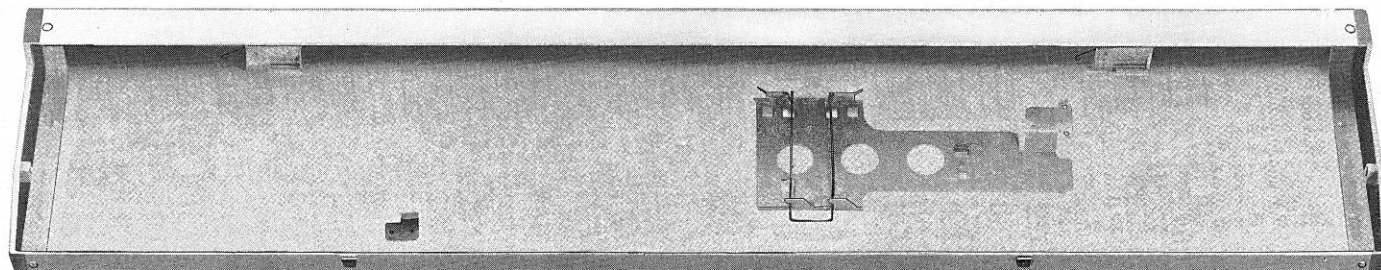
組み立てた状態



本体



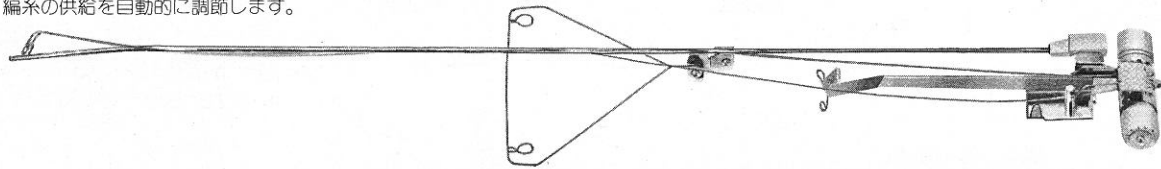
ケース



付属品

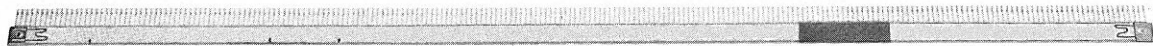
糸取装置

編糸の供給を自動的に調節します。



編出しシ

編み始めを行うときに使います。



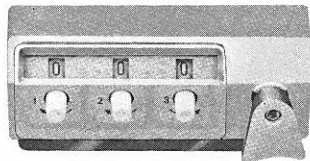
編目スケール

別売りのニットローダーを使用する場合に使います。

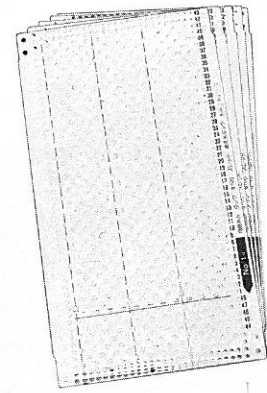


段数計

編地の段数を示します。



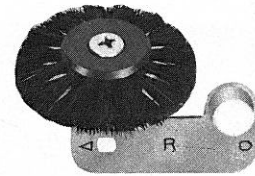
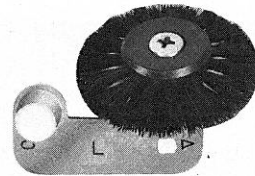
パンチカード(15枚) (パンチカード)



43601-001
@1,040

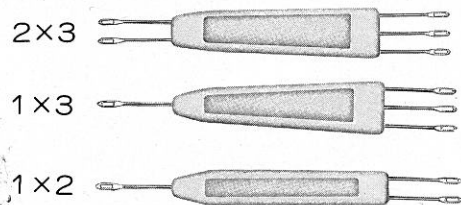
ハケ車

タック模様、スレッド模様を編むときに使います。



ウツシ

減らし目、増し目などをするときに使います。



タツピ

編目を返すときに使います。



カギ針(5号×7号)



模様板(0×1/1)

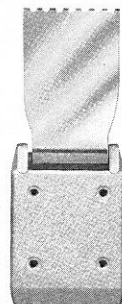


カード支え



カラーウェイト(6個)

模様を編むときに使うオモリです。



トジ針

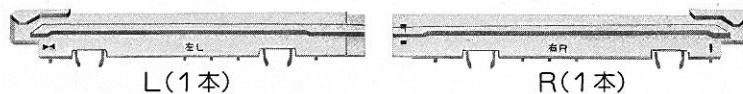


編針(予備用2本)



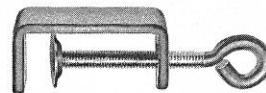
ワンポイントカム

ワンポイント模様を編むときに接続して使います。



取付金具(2個)

編機をテーブルに固定するときに使います。



手入れ油



抜き糸

編み始め、捨て編の区別をするときに使います。



名札



カードスナップ(4個)

パンチカードをつなぎ合わせるときに使います。



パラフィン(ケース付)



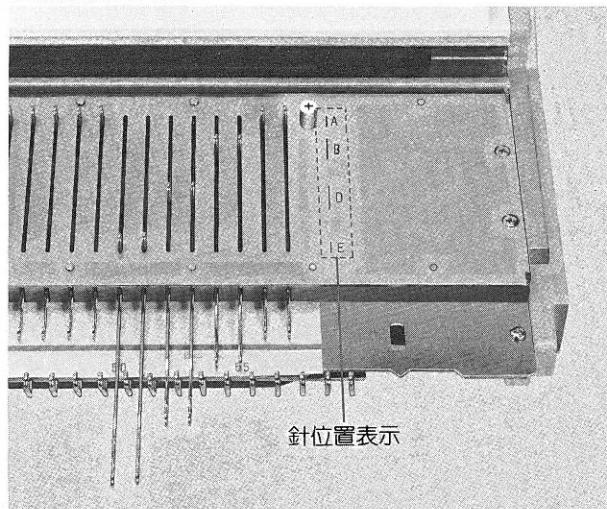
キャリジ止め金



手バケ



■ 編針の位置

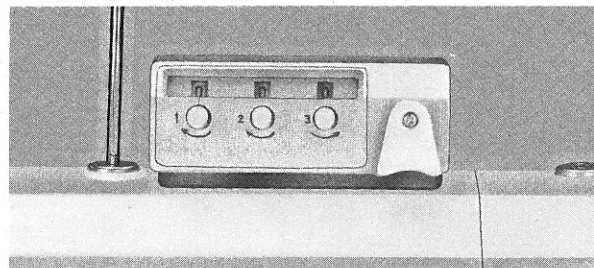


針位置表示

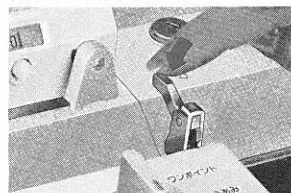
編機は、編針の位置によっていろいろな編み方ができます。編針の位置はミゾ板の左右の端に、A、B、D、Eの文字で表示してあります。

- A …(あまない位置)…キャリッジを操作しても編めません。
- B …(あむ位置)…普通はこの位置で編みます。
- D …(もよう位置)…模様編の場合の選針位置です。
- E …(引返し位置)…引返し編に使う位置です。

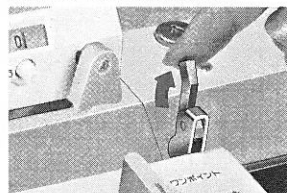
■ 段数計の使い方



段数計を使うとき



段数計を使わないとき

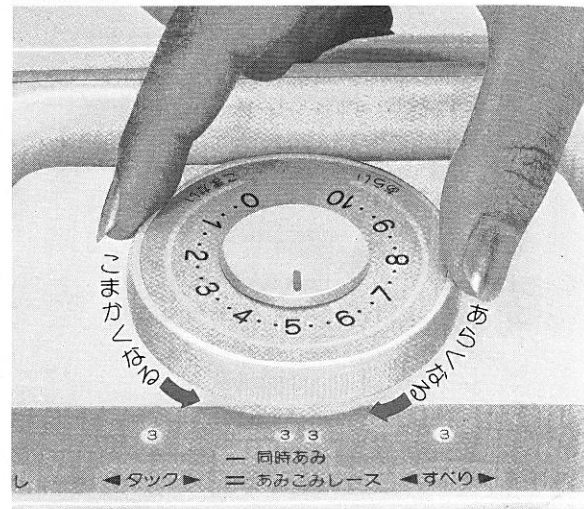


Kキャリッジの操作によって編んだ段数を表示する装置です。段数計に数字をセットするときはつまみを回して合わせます。

- 000にセットする場合…左側のつまみから順に矢印の方向へ回してセットします。
- 数字をセットする場合…直したいケタのつまみを回してセットします。

※段数計を使うときは、Kキャリッジ右側後方の作動レバーを下げます。

■ 編目ダイヤルの使い方



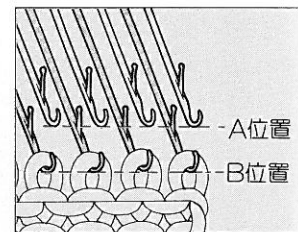
編糸に応じて、編目の大きさを調節する役目をします。数字が大きくなるほど、編まれる編目は大きく(あらく)なります。

編糸に応じて、ダイヤルの数字または●印を中央のキャップの|印に合わせます。

平編のときの標準編目ダイヤル

編糸タイプ	編目ダイヤル
並太	0~4
極太	4~8
超極太	8~10
超極太(針抜き)	4~7

針抜きの方法



模様編のときは、上記のダイヤルより1~2目盛り大きく(あらく)して編みます。ただし超極太糸は模様編には使用しないでください。

編糸が太くなるほどKキャリッジの操作は重くなるため、編針を1本おきで編むと軽く操作できます。

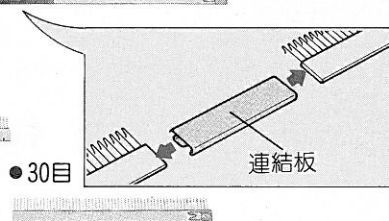
■ 編出しの使い分け

連結板をはずして84目、30目の長さにも使い分けることができます。

● 114目



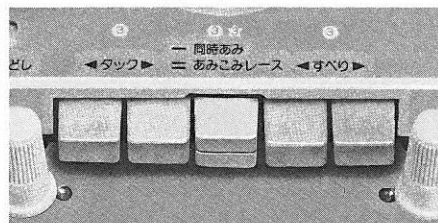
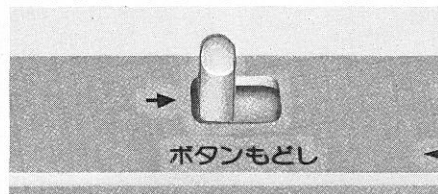
● 84目



● 30目

連結板

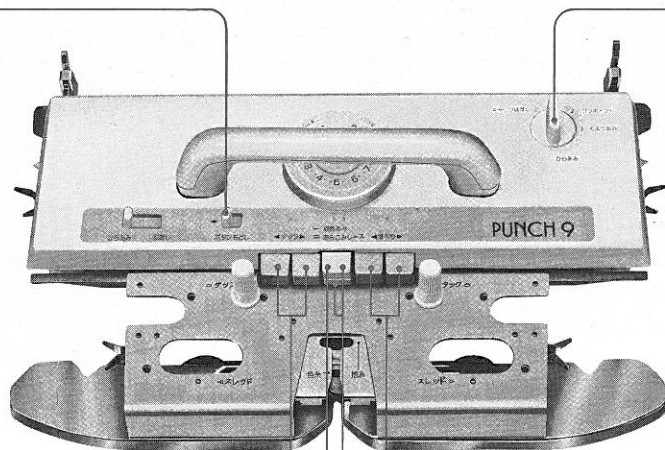
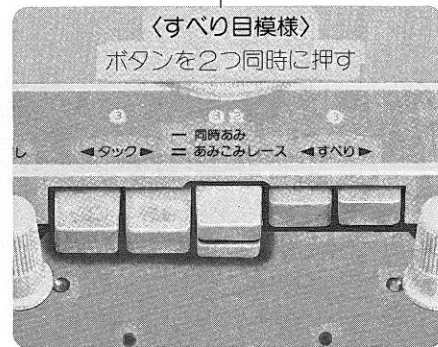
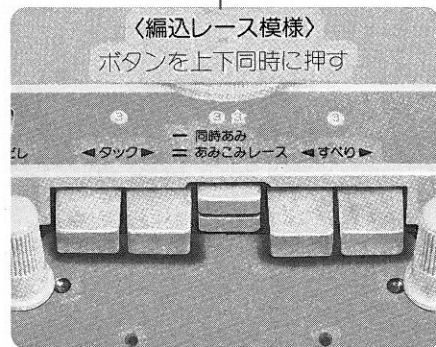
■ ボタンもどしレバーの使い方



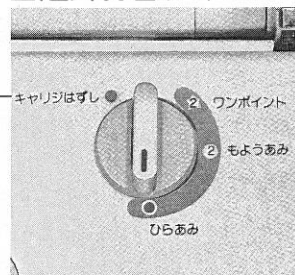
右方向へ押し、セットされたカムボタンがもどります。

■ カムボタンの使い方

模様編のときに使うボタンで、いっぱい押しと押しされた位置でロック(止まる)します。



■ 選針切替ツマミの使い方



※選針切替ツマミが〈ワンポイント〉か〈もようあみ〉になっているときは、選針切替ツマミを〈ひらあみ〉にセットすると、押されているカムボタンが自動的にもどります。

● キャリジはずし

編み間違えたときや途中でKキャリジをはずすときに合わせます。

☆ ワンポイント

ワンポイントカムを用いて編むときに合わせます。

② もようあみ

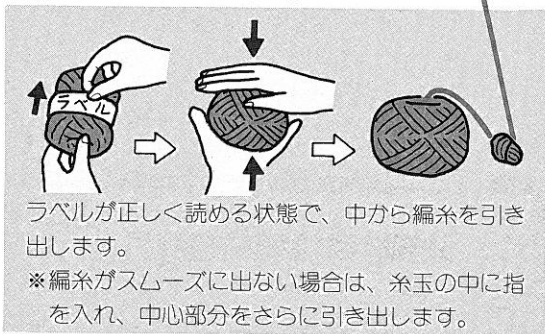
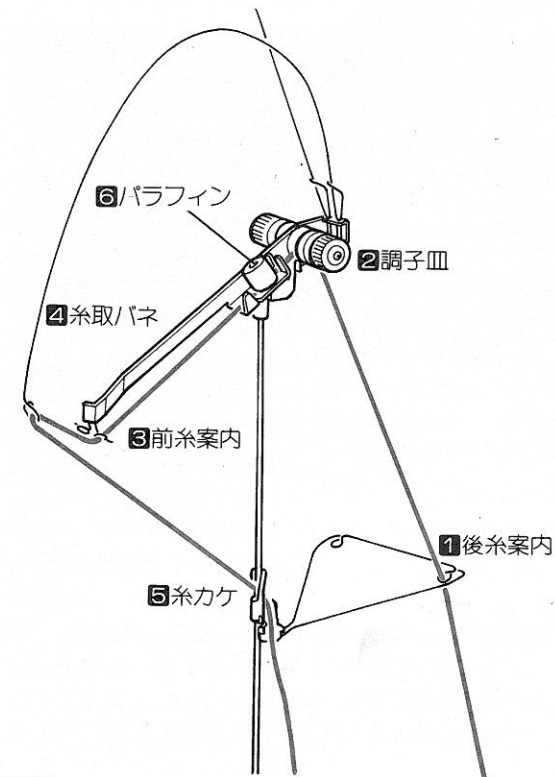
タック模様、すべり目模様、スレッド模様、同時編込模様、編込レース模様などを編むときに合わせます。

○ ひらあみ

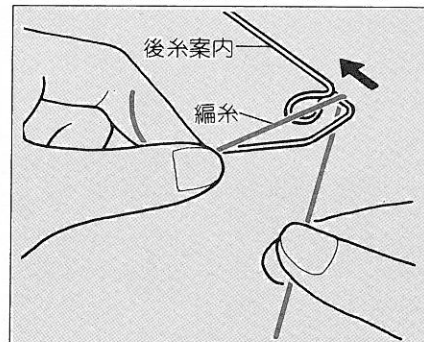
平編を編むときに合わせます。

実際に編んでみましょう(基本操作)

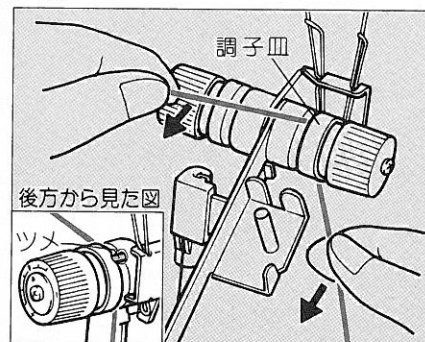
■糸取装置への編糸の通し方



ここでは、並太毛糸を使って編んでみましょう。

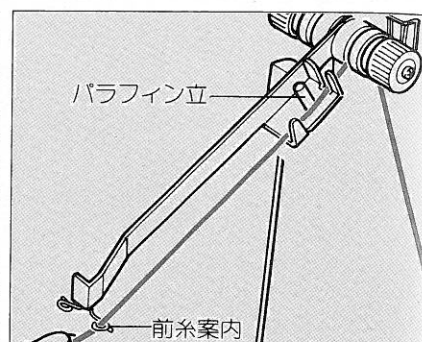


1 後糸案内の右側の穴に外側から編糸を通します。

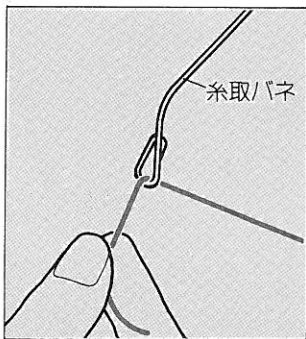


2 後方から編糸をツメの内側にすべらせ、調子皿にはさみます。

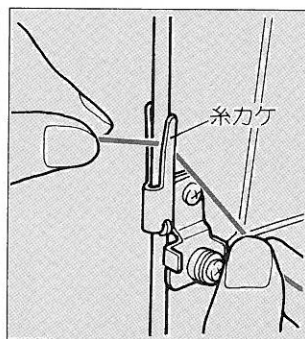
(上図のように糸を持ち、手前に引くと、ツメの内側に編糸が入ります。)



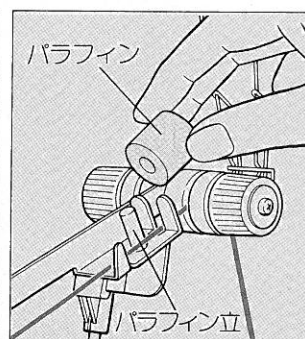
3 編糸をパラフィン立の上から引き、前糸案内に通します。



4 右側の糸取バネに通します。



5 糸端を糸カケにはさみ込んで休めます。



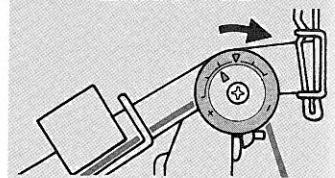
6 パラフィンケースから、パラフィンを取り出し、編糸の上になるようにパラフィン立にはめます。
 ※編糸のすべりをよくするため使用します。

●糸調子

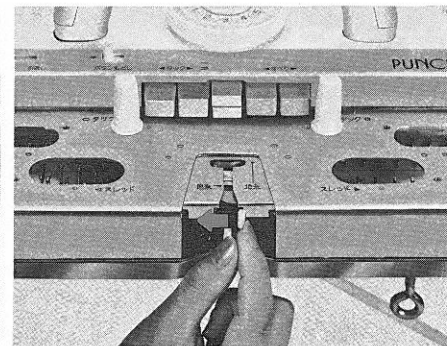
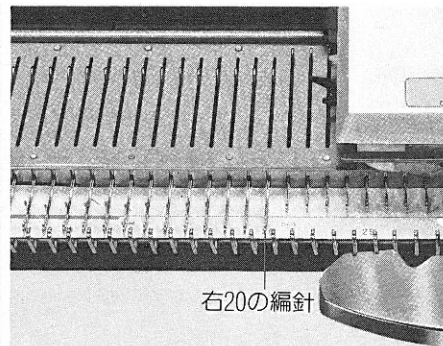
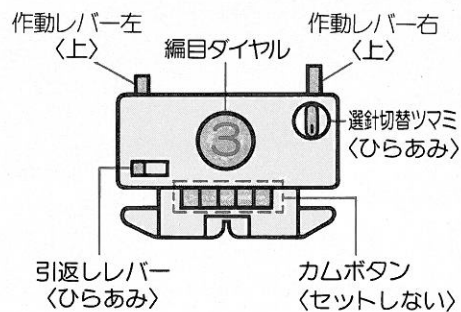
糸取装置についているツマミを、編糸の太さに応じて調節します。
 +(プラス)側に回すと糸調子が強くなり、-(マイナス)側に回すと弱くなります。

※極太毛糸は▽印に合わせ、超極太毛糸は一側、並太・それより細い糸は+側にします。

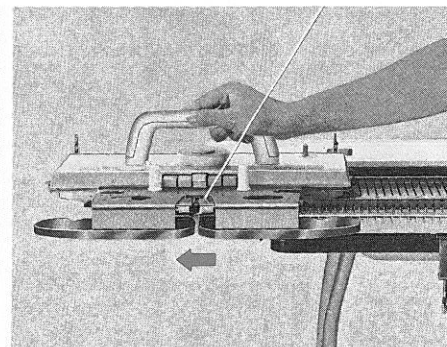
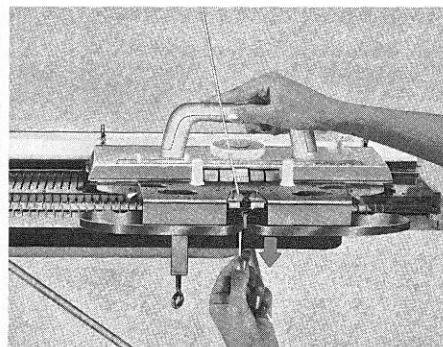
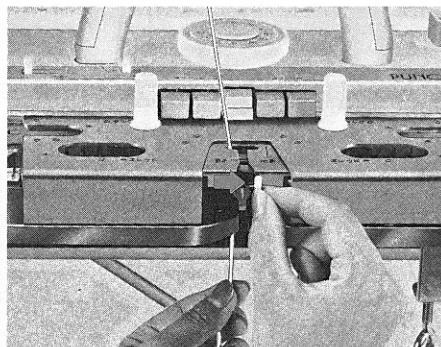
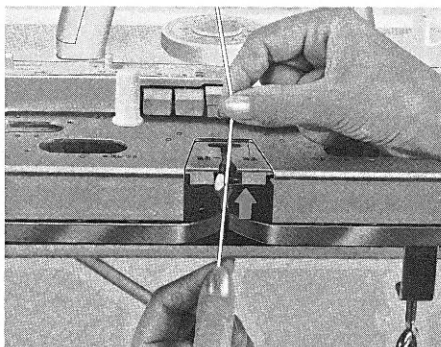
並太毛糸の場合



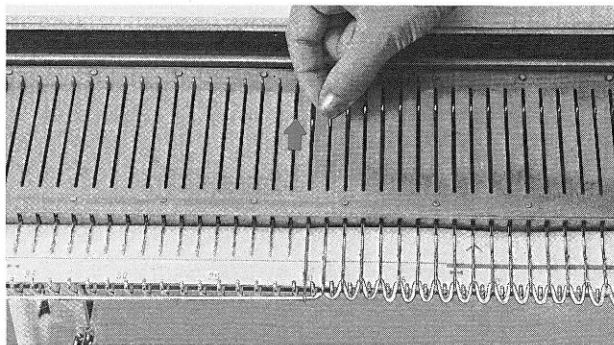
■平編の編み方(平編は編機の基本操作となりますのでよく覚えてください)



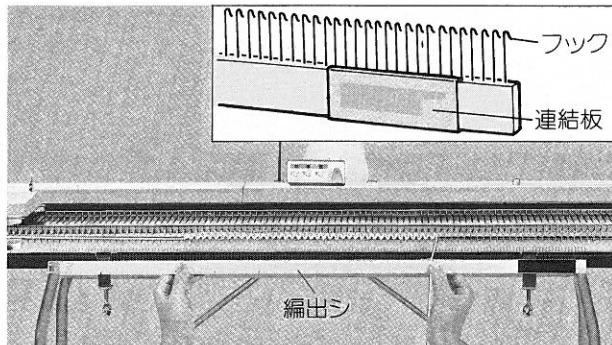
- 1 Kキャリジを図のようにセットします。
- 2 ミゾ板中心から左20～右20間の編針40本を、模様板を使ってB位置(あむ位置)まで出します。
- 3 B位置に出した編針をそろえるため、Kキャリジを1～2回左右に動かし、ミゾ板の右側(Kキャリジの左端が右20の編針を通りすぎた位置)に置きます。
- 4 編地押えの糸口レバーを左側に開きます。



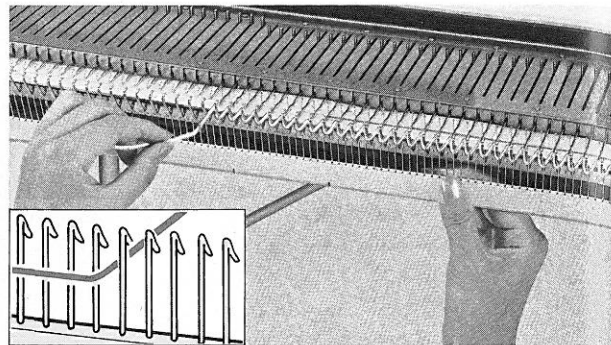
- 5 糸取装置の糸カケに休めてある編糸を地糸口の奥まで入れます。
- 6 糸端を持ったまま、糸口レバーを右側にもどします。
- 7 糸端はかるく下に引くように持ちます。
- 8 Kキャリジをゆっくり右から左端まで動かします。編糸が編針にかかったら、糸端をはなします。



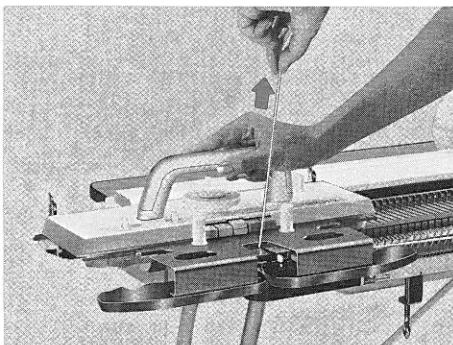
9 ふぞろいな端針をB位置にそろえます。



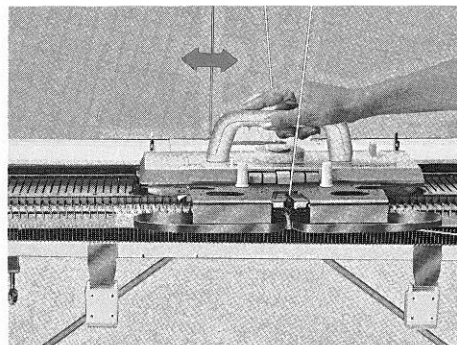
10 ①ケースから編出シを取り出し、84目の編出シにします。連結板は編出シの右側に付け、端から出ないようにしておきます。
②編出シのフック部先端を編機側にし、編幅に対して左右均等な位置に持ちます。



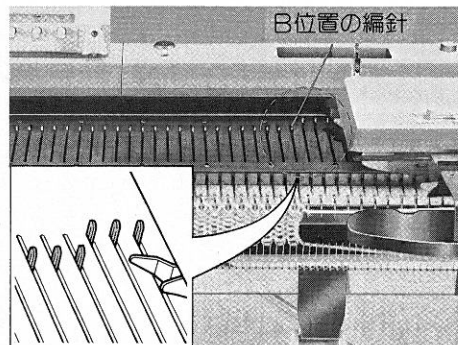
11 編まれていない編糸をつまんで手前に引き、編出シを下から入れます。
※編糸が他に引っかかっているようにします。



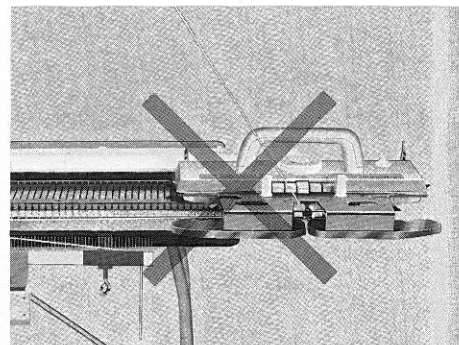
15 編糸がたるまないように、かるく指で引きながらKキャリジを右にゆっくり操作します。



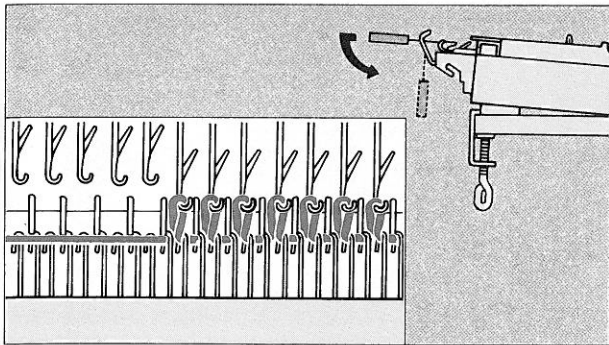
16 Kキャリジをそのまま左右に繰り返し操作すると平編が編めます。



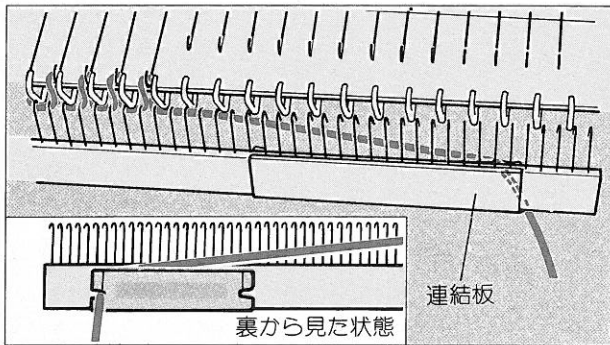
注意1 Kキャリジの折り返しは、進行方向のB位置の端針がKキャリジの端から完全に抜けた位置から折り返します。



注意2 Kキャリジの折り返しで、B位置の端針とKキャリジの端との間を離しすぎると編糸がたるむ原因になりますので、離しすぎないようにしてください。

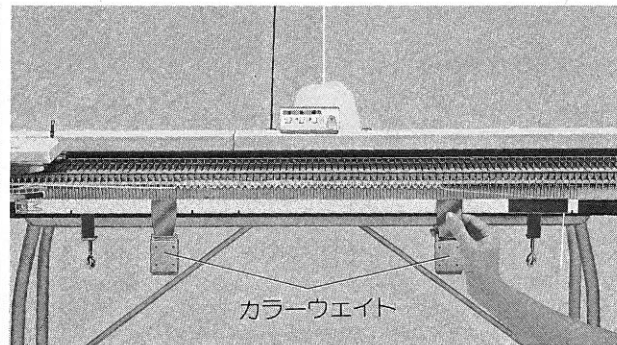
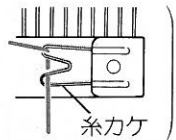


12 編出シを編機と水平にし、編めた編糸に編出シのフックをかけ、下へ引きます。



13 右側の糸端を連結板にかけます。

（114目または、30目の編出シをご使用のときは、編出シの糸カケに編糸をかけてください。

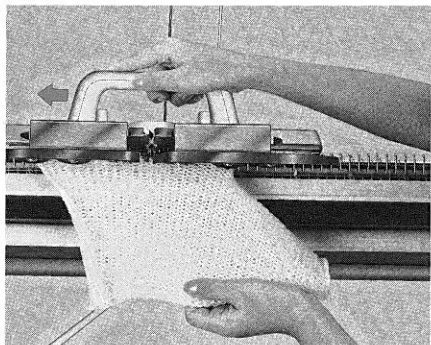


14 編糸と目数に応じて、カラーウエイトを編出シに均等にかけます。

	1～30目	31～84目	85～114目
並太	2	2	3
極太	2	3	4
超極太	3	4	4

綿・化繊・レース糸などで編むときは、編地押えの裏にあるゴム車を出して編んでください。

（ゴム車の出し方は24ページを参照してください。）



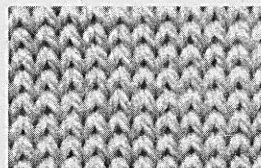
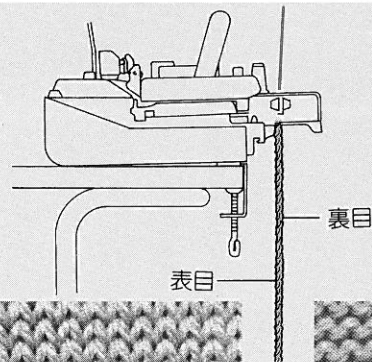
17 編み終わったら、編出シとカラーウエイトをはずして編糸を切り、糸カケに休めます。

編地をはずすときは、糸口から編糸をはずしてKキャリジを操作します。

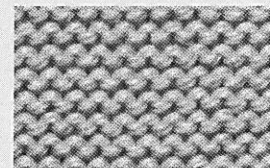
●編地の表と裏

編地が編針にかかっているとき、手前に見える面を裏目、反対側の面を表目と言います。

●お好みにより表目、裏目のどちらでも作品として使うことができます。



〈平編の表〉



〈平編の裏〉

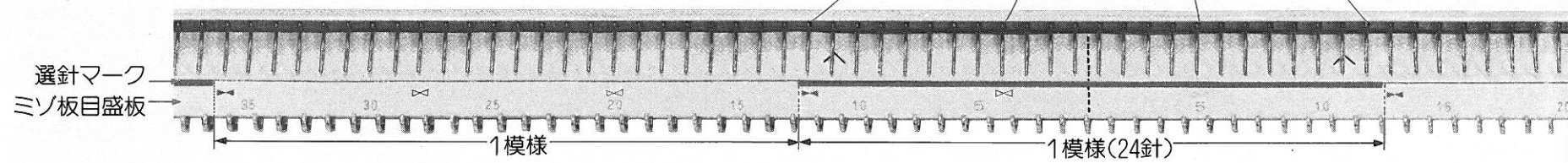
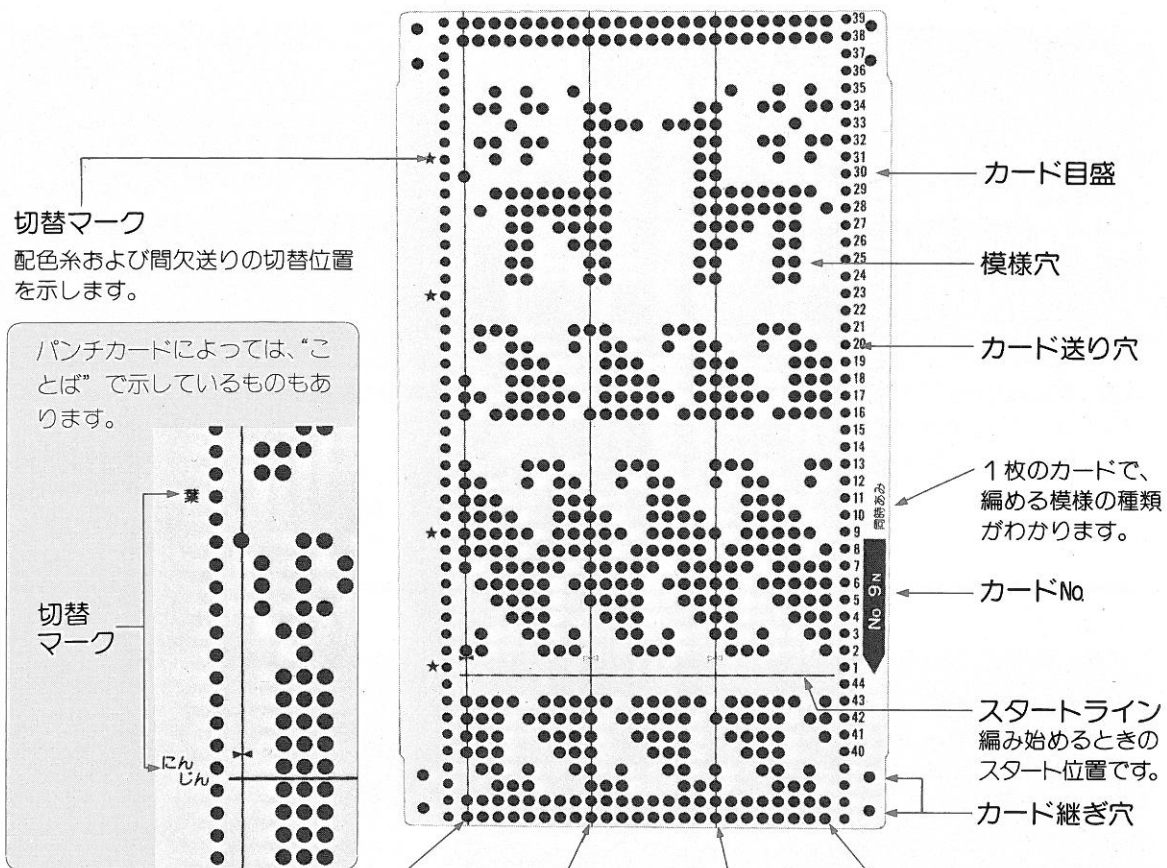
模様の編み方

■パンチカードの見方と編針の関係

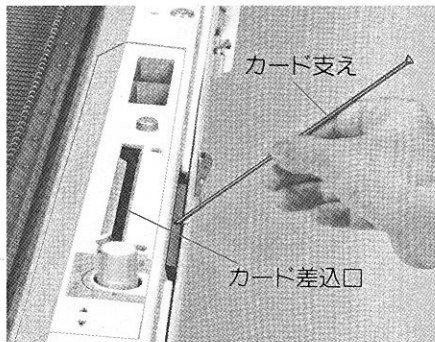
編機にパンチカードをセットすると、キャリジを左右に操作するだけでいろいろな模様を編むことができます。
パンチカードを使用すると、繰り返し何回でも同じ模様を編むことができます。

- パンチカードの1模様は24目(24針)です。
- 1模様は編機の中心(左12から右12の編針)に編め、その左右に繰り返して連続模様が編めます。
- ミノ板目盛板の選針マーク(グレイの帯または線の部分)は1模様(24針)が編まれる位置を示しています。
- パンチカードの穴のあいている部分(模様穴)に対応する編針がD位置(もよう位置)に選針されます。

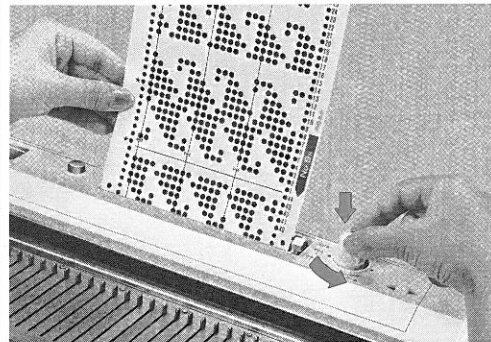
パンチカードは折りたたんだり折り目をつけないようにしてください



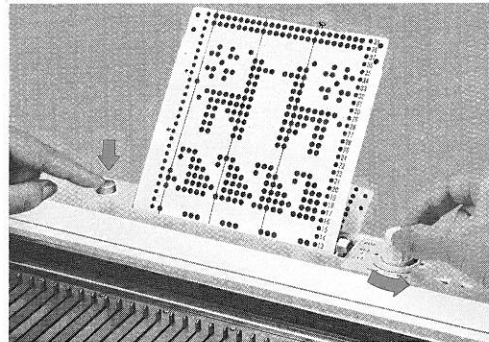
■パンチカードのセット方法



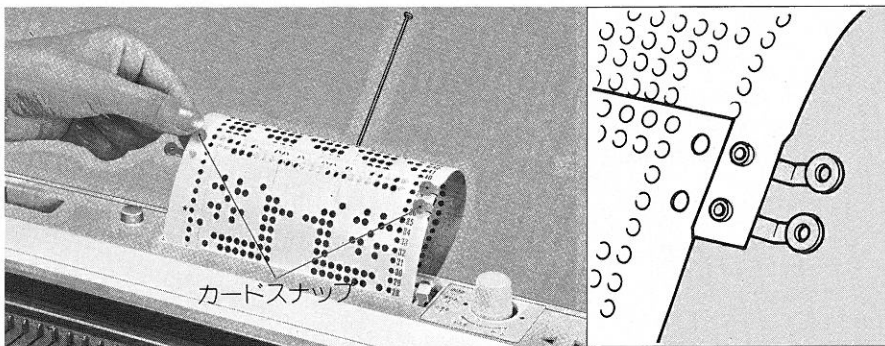
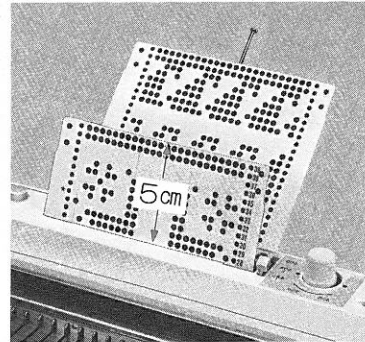
1 カード支えをカード差込口の後ろの穴に差し込みます。



2 パンチカードのカードNoを右下にし、カード差込口へまっすぐに差し込みます。カード送りツマミを押したまま2~3段「おくる」方向へ回し、正しく入れたかを確認します。



3 カード送りボタンをいっぱい押したまま、カード送りツマミを「おくる」方向に回し、カード差込口から約5cmの位置まで送ります。



4 カード差込口から出ているカードの端を上にして、付属のカードスナップでカードの両端をつなぎます。

◀知識メモ▶

- カード送りツマミは、模様編の途中で編針が正しく選針されているかどうかを確認したいときにも使います。(60ページ参照)
- カード差込口に見えているカード目盛から7段もどった位置の模様穴が、選針されている編針と対応します。

■ 模様編の基本ステップ

模様編は、それぞれの模様により操作のしかたが異なりますが、基本的な順序として下記のようなステップに分けることができます。

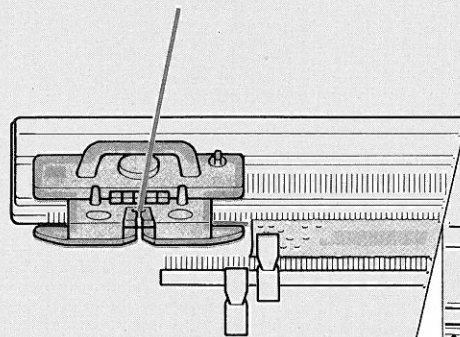
編機には“ステップ番号”が表示されており、操作の手順がわかりやすくしてあります。

模様ごとの詳しい操作については、それぞれの項目で説明します。

ステップ1

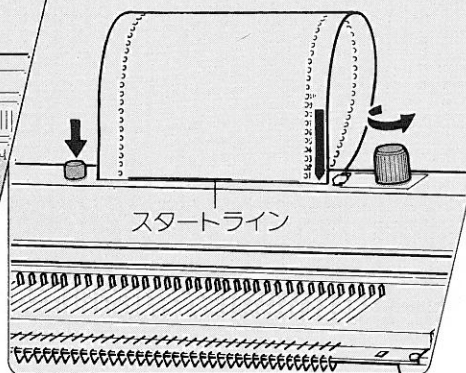
1 編み始めを行います。

平編を10段ほど編んでから、Kキャリジを左側（間欠送り模様のときは右側）に置きます。

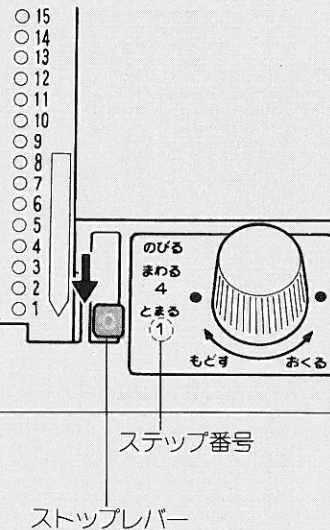


2 パンチカードをセットします。

各模様に応じたパンチカードをセットし、カード送りボタンを押したままカード送りつまみを〈おくる〉方向に回し、カードのスタートラインをカード差込口のスタート位置に合わせます。

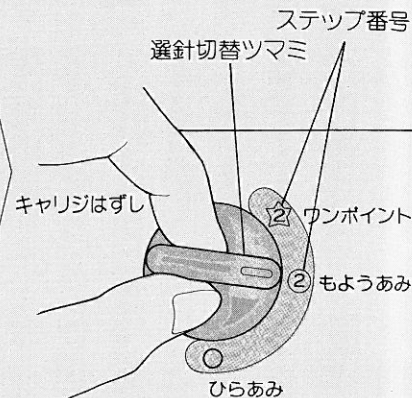


3 ストップレバーを〈とまる〉に合わせます。



ステップ2

1 選針切替つまみを、〈②もようあみ〉または〈☆ワンポイント〉に切り替えます。

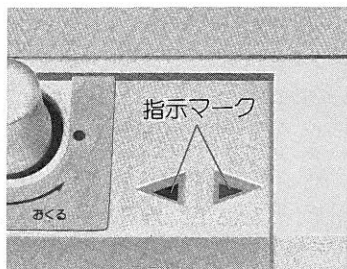


●指示マークについて

模様編のときに指示マークが作動し、キャリジの進行方向を示します。

◀▶ ……右へ進むとき

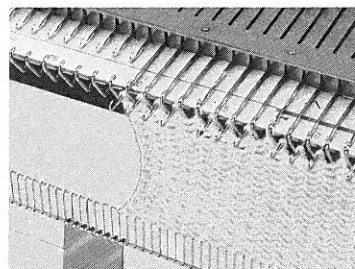
▶◀ ……左へ進むとき



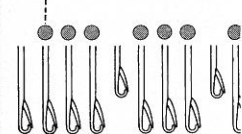
●端針選針機構について

端針選針機構は、選針切替ツマミが〈もようあみ〉のときにはたらきません。

パンチカードの模様穴に関係なく端針が自動的に選針されるので、端目が美しく編みあがります。



パンチカードの模様穴

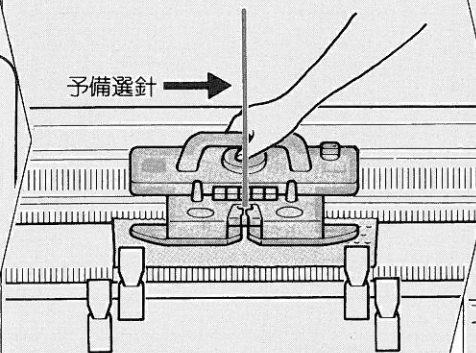


↑
端針選針機構により
選針された編針

2 予備選針をします。

Kキャリジをゆっくり右側（間欠送り模様のときは左側）へ操作すると編針が選針されます。

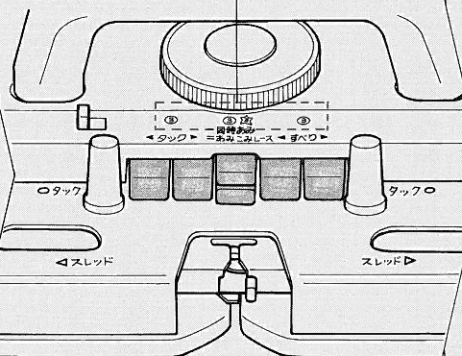
予備選針 →



ステップ3

模様に応じてカムボタンまたはハケ車をセットします。

ステップ番号



ステップ2 で②印に合わせたときは③印の模様に応じたボタンを、★印に合わせたときは★印のボタンを押します。

ステップ4

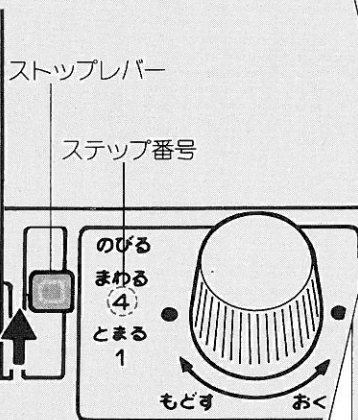
ストップレバーを合わせます。

ストップレバーを〈まわる〉(間欠送り模様のときは〈のびる〉)に合わせます。

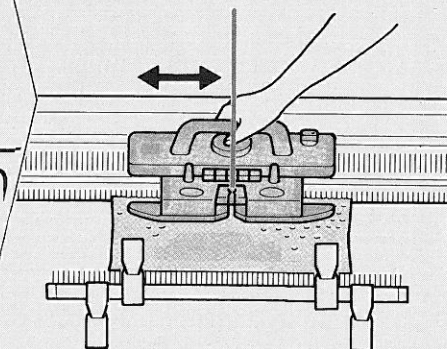
- 11
- 10
- 9
- 8
- 7
- 6
- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

ストップレバー

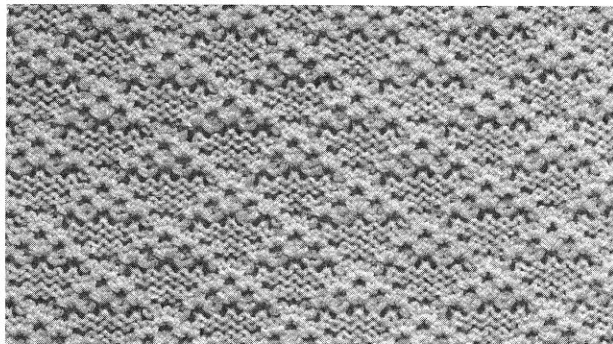
ステップ番号



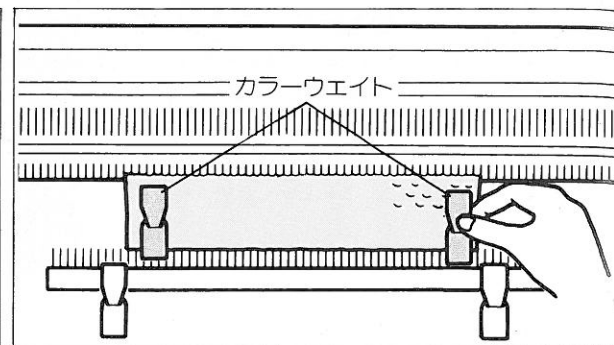
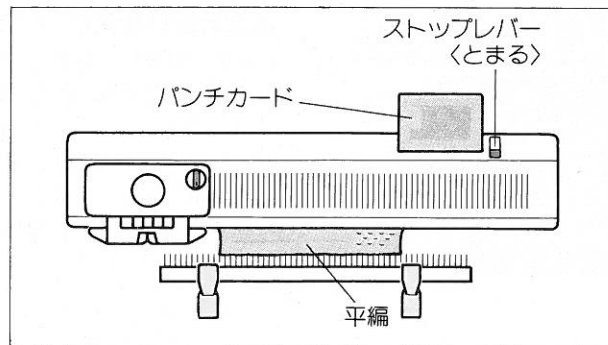
Kキャリジを操作し編み進めます。



タック模様の編み方 利用できるカード：No.1N, 2N, 3N, 4N, 5N, 7N, 8N

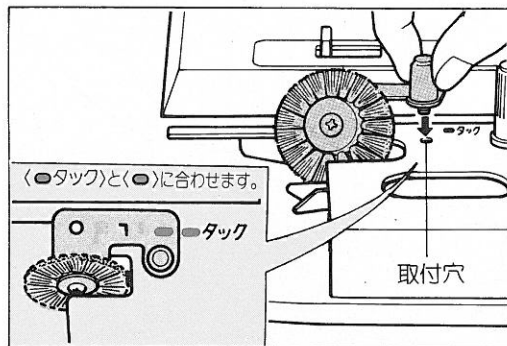


カードNo.3N

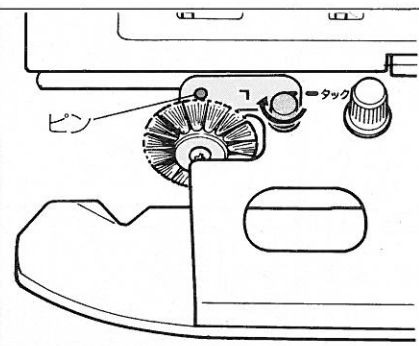


1 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。

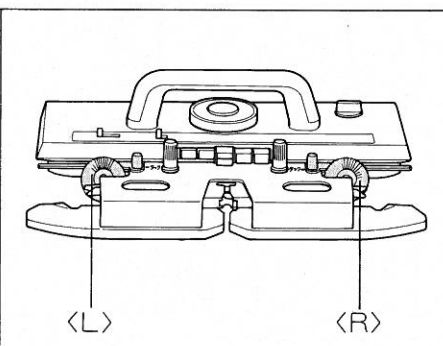
2 カラーウェイトを編地の両端にかけます。



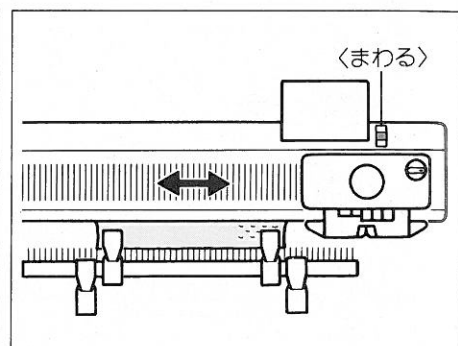
◎ハケ車<L>のつまみを持ち、編地押えの左側の<●タック>とハケ車の<●>を合わせて取付穴に差し込みます。



◎編地押えのピンと、ハケ車の小穴が合うようにつまみを締めつけます。

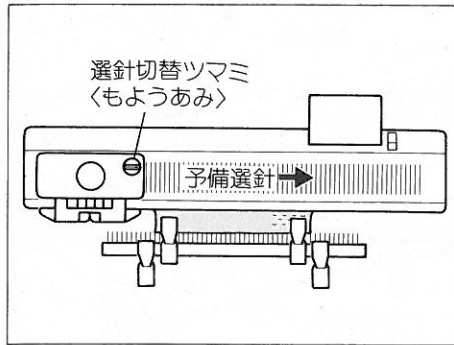


④ハケ車<R>を、ハケ車<L>と対称になるように、編地押え右側のタック位置にセットします。

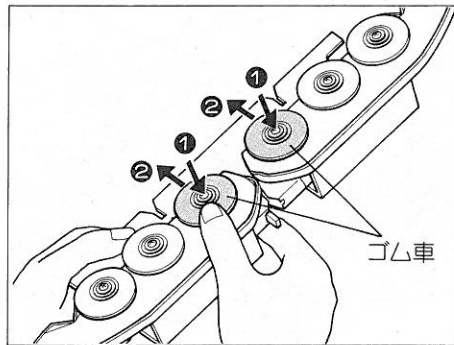


⑥ **ステップ4** ストップレバーを<まわる>に合わせます。

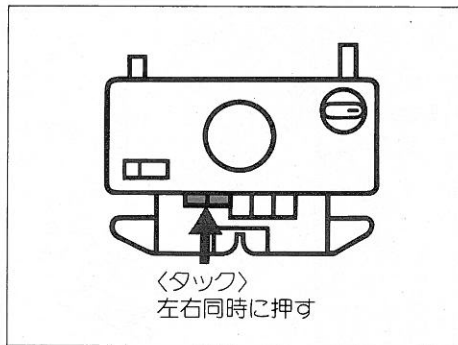
⑦ Kキャリジを左右に操作して編み進みます。



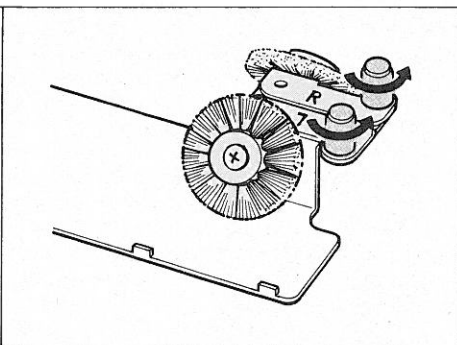
3 **ステップ2** 選針切替ツマミをくもようあみ)に合わせ、Kキャリジをゆっくり右側へ操作し予備選針をします。



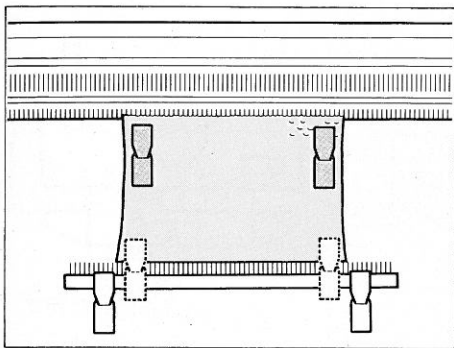
4 編地押えをKキャリジからはずして①ゴム車のネジ頭を押し、②そのまま矢印方向へ“パチッ”と音がするまで押し出したあと、編地押えを取り付けます。
*ゴム車をもどすときは、この逆の操作をします。



5 **ステップ3** カムボタンの<タック>左右を同時に押したあと、編地押えのタック位置にハケ車をセットします。



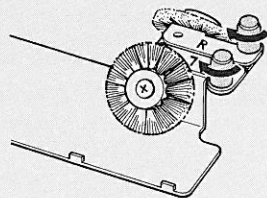
①ツマミを回して、ハケ車<L>、<R>をケースから取りはずします。



*10~20段ごとに、編地の両端のカラーウエイトを編針の近くにかけ直してください。

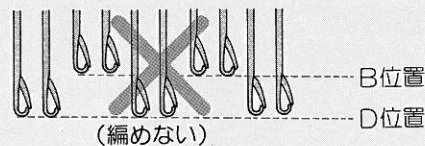
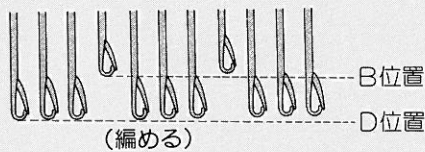
●タック模様が編み終わったら…

- 編地押え裏のゴム車をもとにもどします。
- タック位置にセットしたハケ車を取りはずし、ケースにもどします。

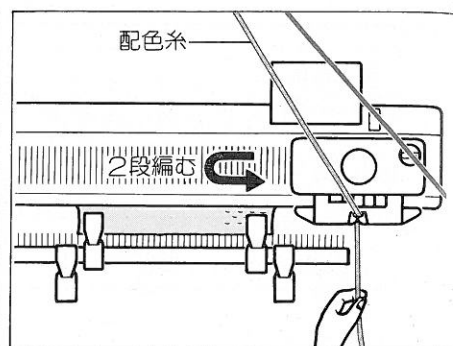
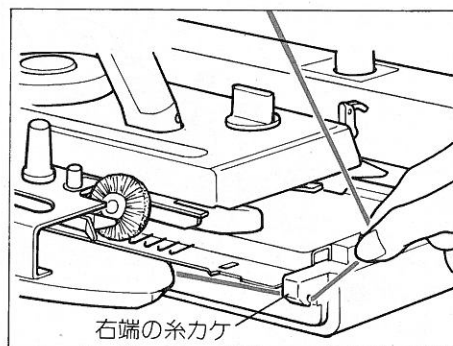
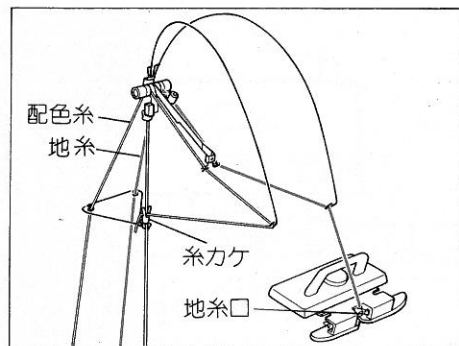
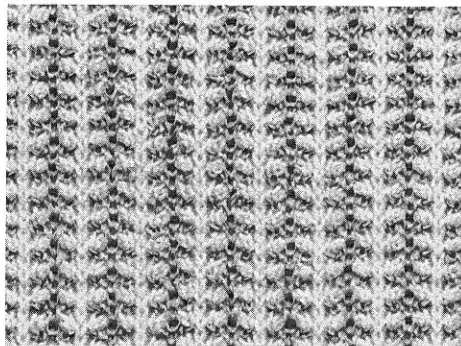


◀知識メモ▶

タック模様、配色タック模様(25ページ)は、編針がB位置に2本以上並ぶと編めません。



配色タック模様の編み方 利用できるカードは、タック模様と同じです。

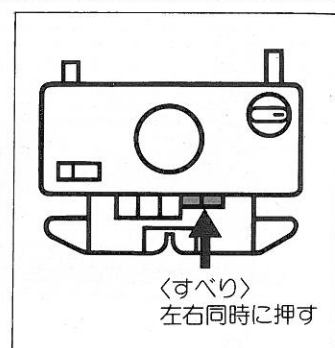
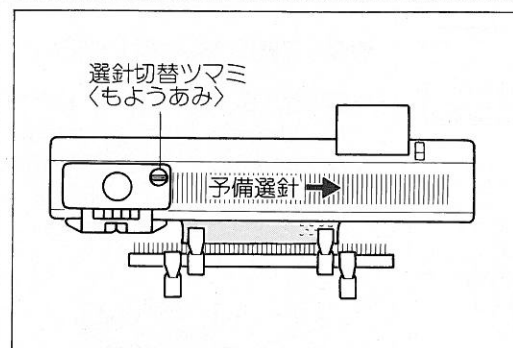
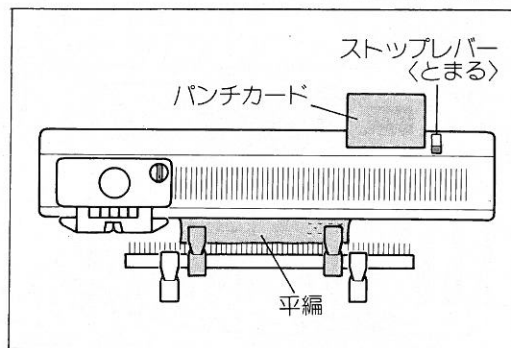
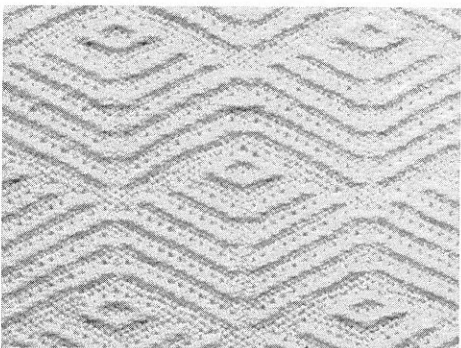


カードNo.2N

タック模様と同じ操作で編みますが、2色の編糸を2段ごとに入れ替えながら編みます。(カードNo.4Nの場合は、★マークの位置で入れ替えます。)

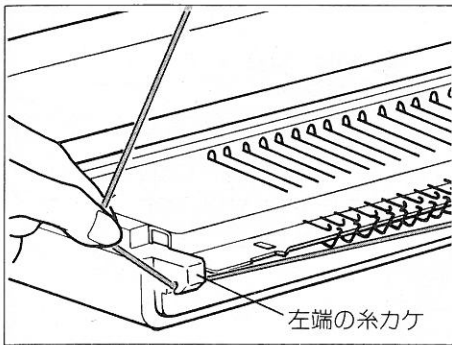
- 1 糸取装置の左右に2色の編糸を通し、右側に通した編糸を地糸口に入れてタック模様の①～⑥を行い、Kキャラジで2段編みます。
- 2 編糸を地糸口からはずし、本体右端の糸カケに休めます。
- 3 左側の編糸を地糸口に通して2段編みます。

すべり目模様の編み方 利用できるカード：No.1N, 2N, 3N, 4N, 5N, 6N, 7N, 8N



カードNo.6N

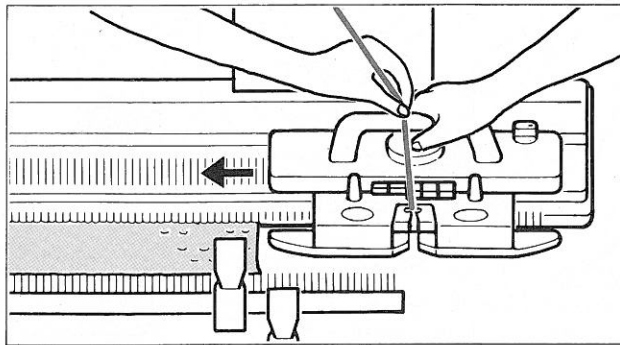
- 1 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャラジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。
※カラーウェイトを編地の両端にかけてください。
- 2 **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャラジをゆつくり右側へ操作し予備選針をします。
- 3 **ステップ3** カムボタンの<すべり>を左右同時に押します。



左端の糸カケ

4 編糸を地糸口からはずし、本体左端の糸カケに休めます。

※糸取装置の右側の編糸は本体右端の糸カケに、左側の編糸は本体左端の糸カケに休めます。



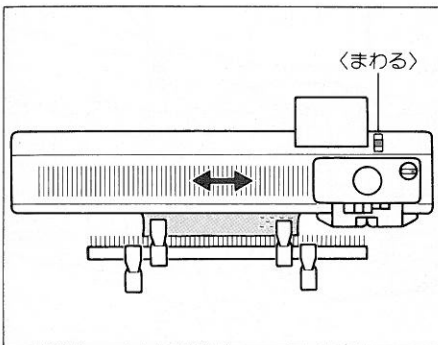
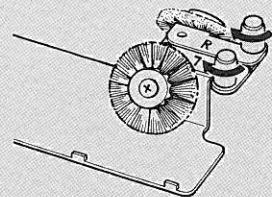
5 次の段からは、2段ごとに編糸を入れ替えながら編み進みます。

※編糸がたるまないように、必ずかるく指で引きながらKキャリジを左へゆっくり動かし操作します。

※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかかけ直してください。

●配色タック模様が編み終わったら…

- タック位置にセットしたハケ車を取りはずし、ケースにもどします。
- 編地押え裏のゴム車をもとにもどします。



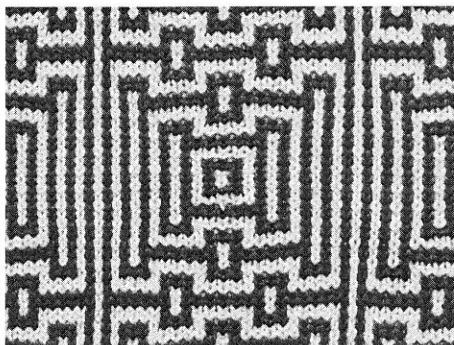
くまわる

4 **ステップ4** ストップレバーをくまわるに合わせます。

5 Kキャリジを左右に操作して編み進みます。

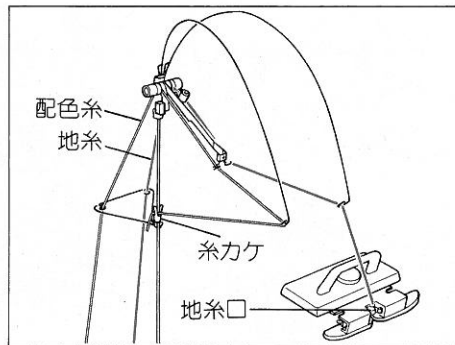
※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかかけ直してください。

配色すべり目模様の編み方 利用できるカードは、すべり目模様と同じです。

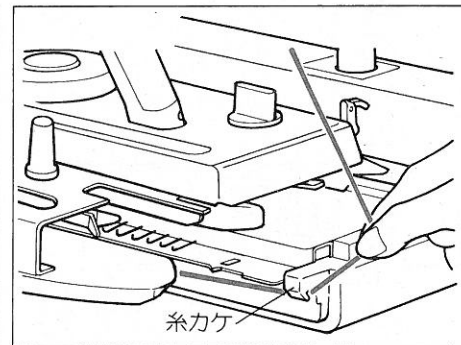


カードNo5_N

すべり目模様と同じ操作で編みますが、2色の編糸を2段ごとに入れ替えながら編みます。(カードNo4_Nの場合は、★マークの位置で入れ替えます。)



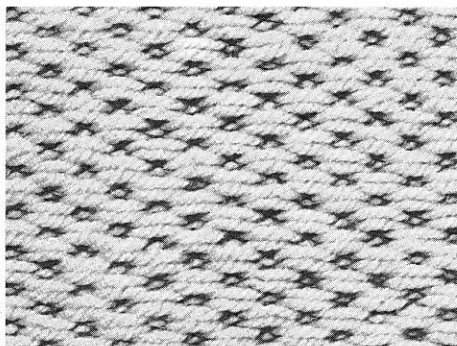
1 糸取装置の左右に2色の編糸を通し、右側に通した編糸を地糸口に入れてすべり目編の**1**~**4**を行います。



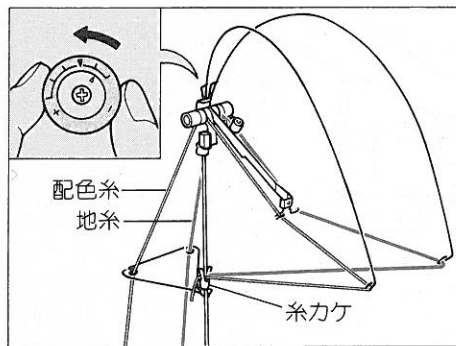
2 2段ごとに編糸を入れ替え、糸取装置の右側の編糸は本体右端の糸カケに、左側の編糸は本体左側の糸カケに休めながら編み進みます。(配色タック参照)

※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかかけ直してください。

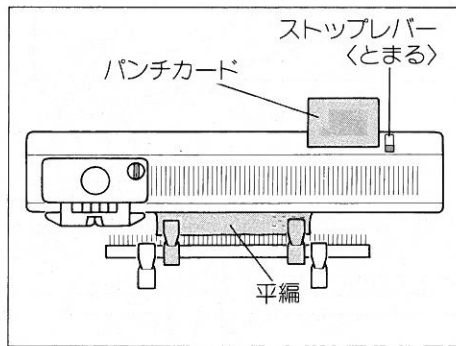
スレッド模様の編み方 利用できるカード：No1N, 2N



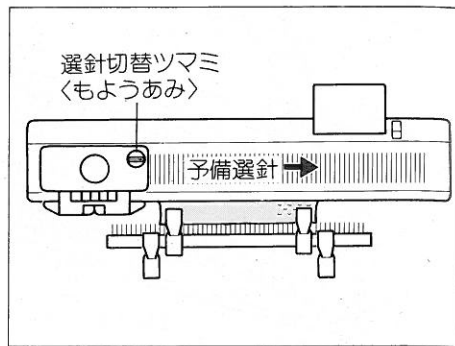
カードNo2N



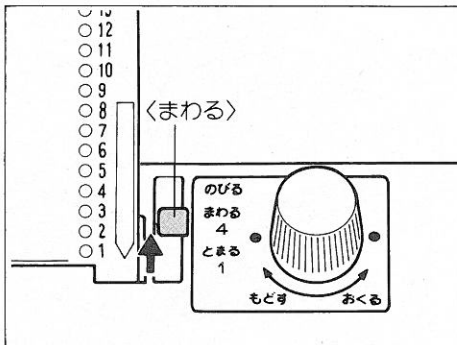
1 糸取装置の右側へ地糸を、左側へスレッド糸を通します。
 ※スレッド糸が太いものや、すべりが悪いときには、糸調子を弱め（一側にし）、編目ダイヤルをあらめに合わせます。



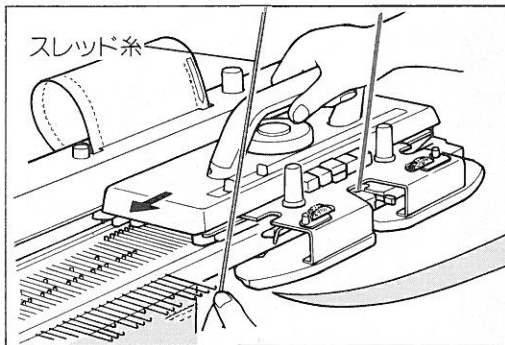
2 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャラジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。
 ※カラーウエイトを編地の両端にかけてください。



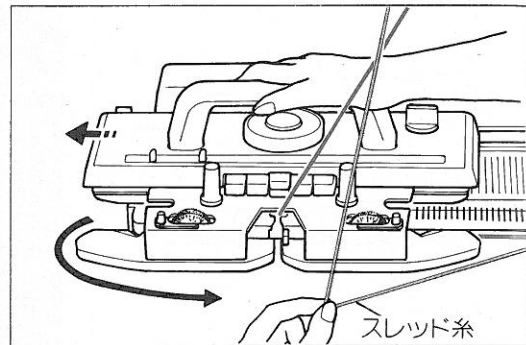
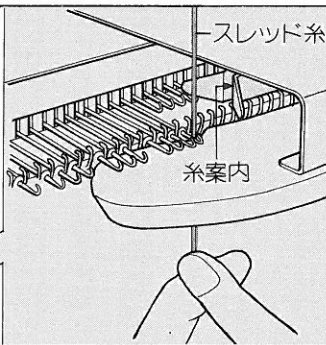
3 **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャラジをゆつくり右側へ操作し予備選針をします。



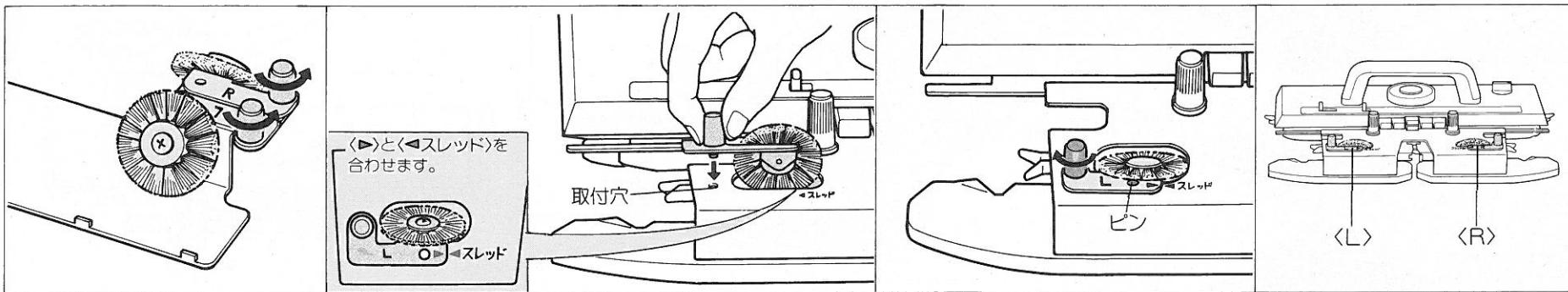
5 **ステップ4** ストップレバーを<まわる>に合わせます。



6 糸取装置に休めてあるスレッド糸をKキャラジ左側の糸案内に入れるように持ち、Kキャラジを左側へ1段操作します。
 ※スレッド糸の糸端は、1段編んで離します。

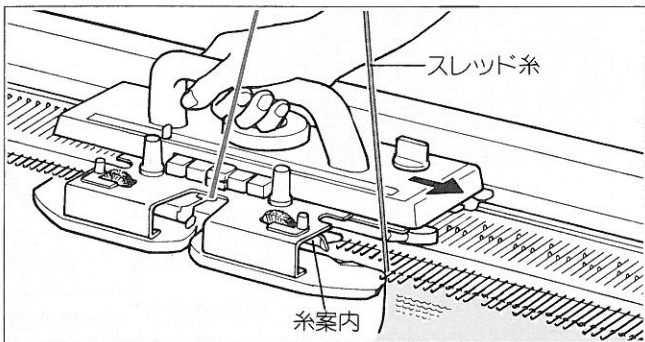


7 スレッド糸を左側の糸案内から引き離し、Kキャラジを外側へ動かしながら、編地押えの下をくぐらせKキャラジの右側で離します。



4 **ステップ3** 編地押えのスレッド位置にハケ車をセットします。

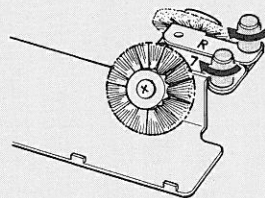
- ① つまみを回して、ハケ車<L>・<R>をケースから取りはずします。
- ② ハケ車<L>のつまみを持ち、ハケ車の<▶>と編地押えの左側の<◀スレッド>とを合わせて取付穴に差し込みます。
- ③ 編地押えのピンとハケ車の小穴が合うようにつまみを締めつけます。
- ④ ハケ車<R>を、ハケ車<L>と対称になるように、編地押え右側のスレッド位置にセットします。



8 Kキャリジを右側へ移動させ、スレッド糸が右側の糸案内に入るのを確かめてから1段編みます。このようにして毎段スレッド糸を左右の糸案内に入れ替えて編み進みます。

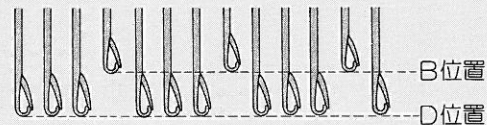
※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかけ直してください。

- スレッド模様が編み終わったら……
- スレッド位置にセットしたハケ車を取りはずしケースにもどします。

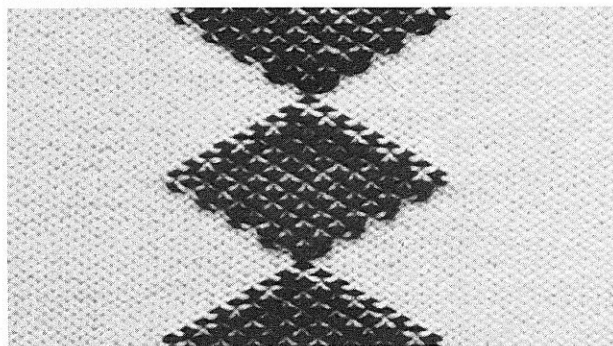


◀知識メモ▶

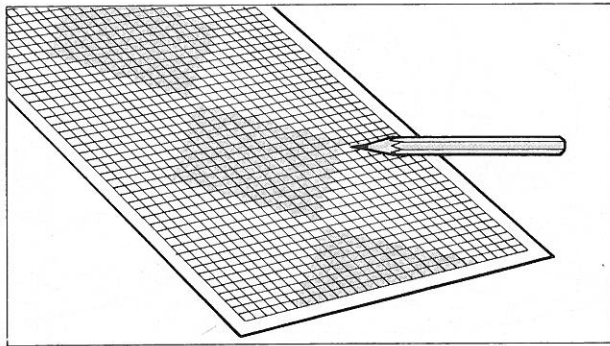
スレッド模様は、D位置への選針が連続3本までになるようにします。



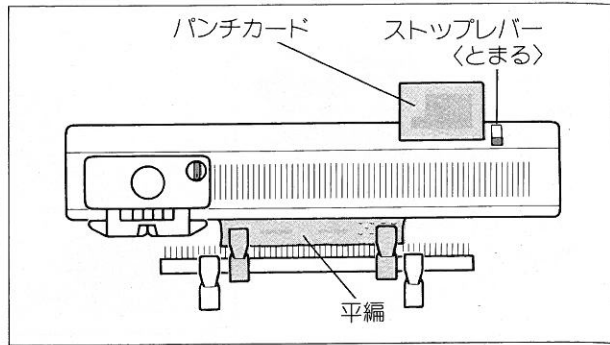
ポイント・スレッド模様の編み方 利用できるカード：No.1_N



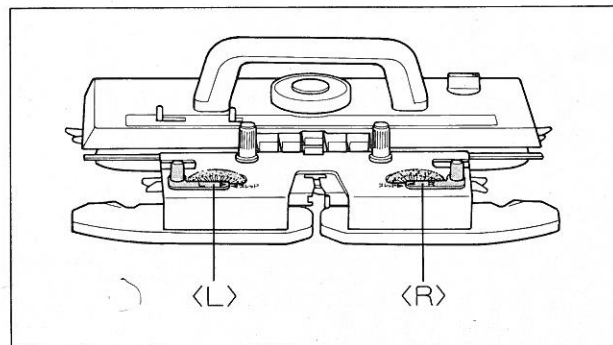
カードNo.1_N



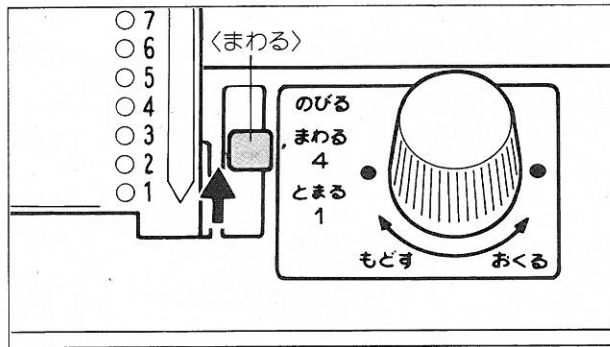
1 模様にする部分の図案をグラフ状に描いたり、ニットリーダーのシート（別売り）に描いておきます。



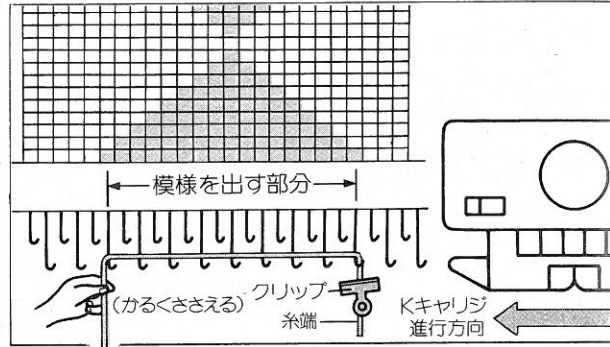
2 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。
※カラーウェイトを編地の両端にかけてください。



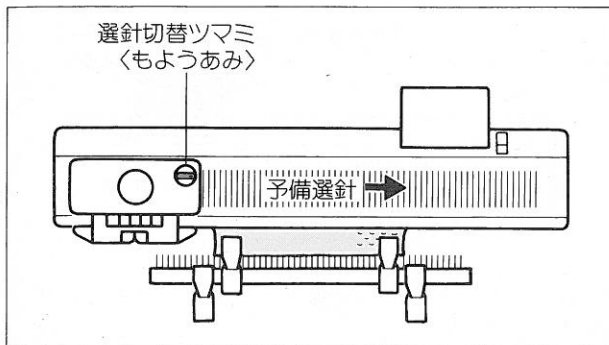
④ハケ車<R>を、ハケ車<L>と対称になるように、編地押え右側のスレッド位置にセットします。



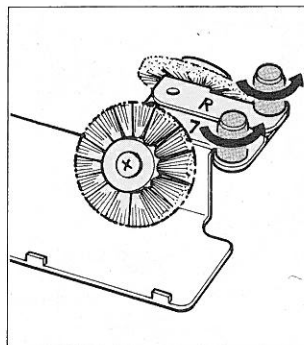
5 **ステップ4** ストップレバーを<まわる>に合わせます。



6 スレッド糸の糸端が右側（Kキャリジのある側）になるように用意し、グラフに示した模様の目数分の幅だけ選針されている編針の上にクシバ寄りに渡してKキャリジを1段操作します。

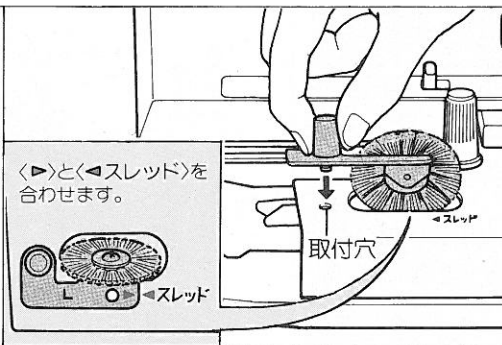


3 **ステップ2** 選針切替つまみを〈もようあみ〉に合わせ、Kキャリジをゆっくり右側へ操作し予備選針をします。

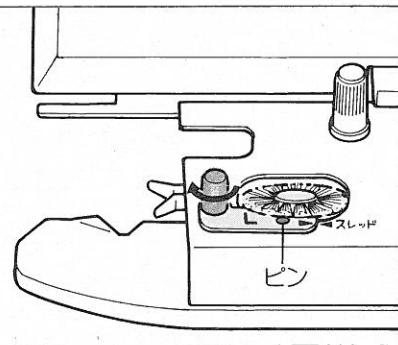


4 **ステップ3** 編地押えのスレッド位置にハケ車をセットします。

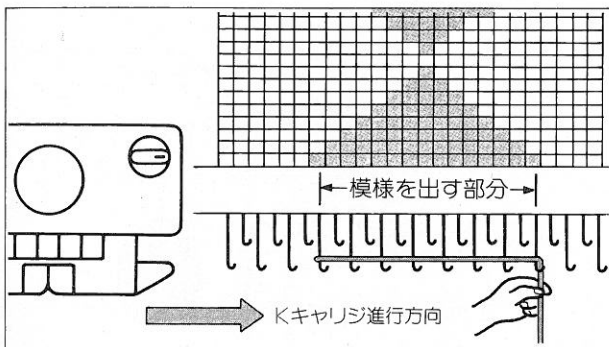
①つまみを回して、ハケ車〈L〉、〈R〉をケースから取りはずします。



②ハケ車〈L〉のつまみを持ち、ハケ車の〈▶〉と編地押えの左側の〈◀スレッド〉とを合わせて取付穴に差し込みます。



③編地押えのピンとハケ車の小穴が合うようにつまみを締めつけます。



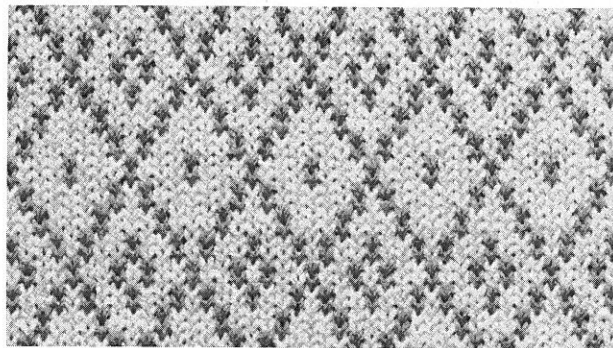
7 グラフの次の段の目数に相当する幅の選針されている編針にスレッド糸をクシバ寄りに渡し1段編みます。

8 毎段グラフの目数に合わせてスレッド糸を渡す幅を増減しながら編み進みます。

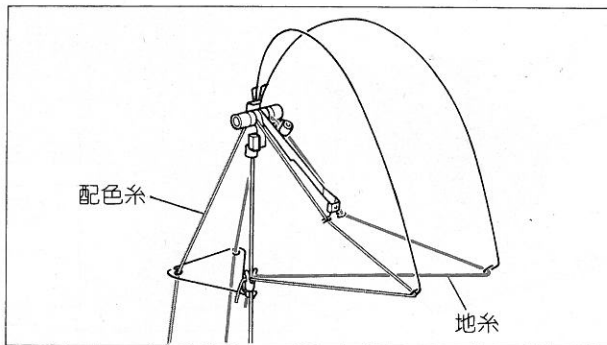
※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかねおしてください。

- スレッド模様が編み終わったら……
- スレッド位置にセットしたハケ車を取りはずしケースにもどします。

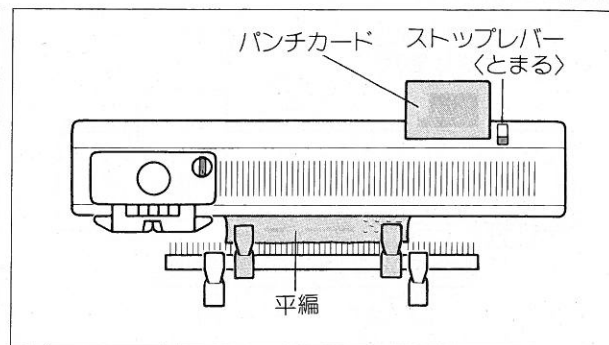
同時編込模様の編み方 利用できるカード：No.1_N, 2_N, 6_N, 7_N, 8_N, 9_N, 10_N, 11_N, 12_N, 15_N



カードNo.7_N

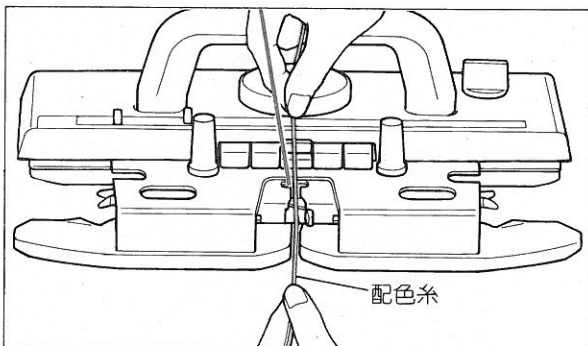


1 糸取装置の右側に地糸、左側に配色糸を通します。

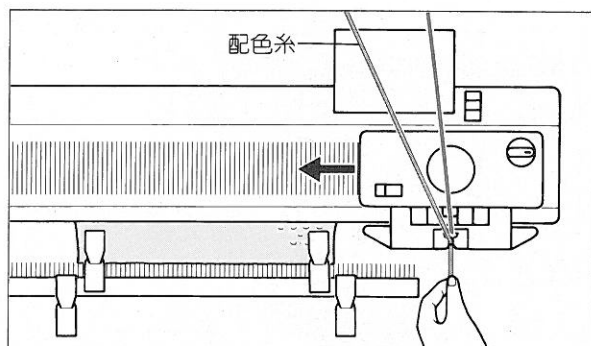


2 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。

※カラーウェイトを編地の両端にかけてください。

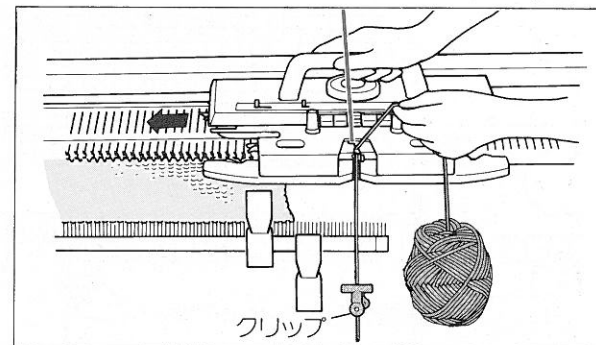


6 糸口レバーは閉じたままで配色糸を糸口へ入れます。

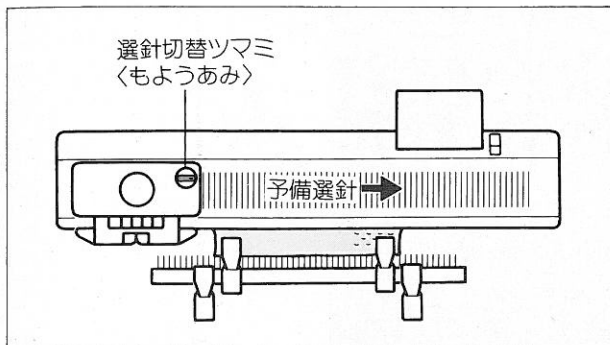


7 配色糸の糸端を指でつまみ、かるく真下に引くようにしながらKキャリジを操作し編み進みます。
※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにつけてください。

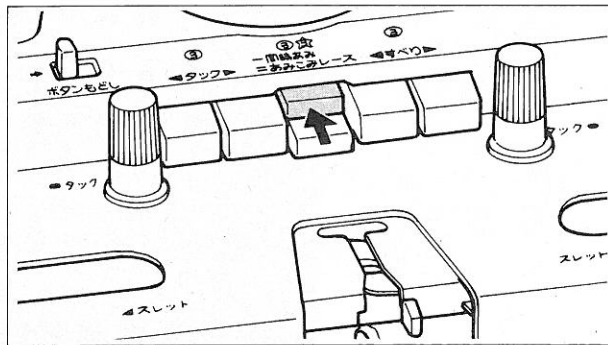
●2色以上の配色糸を切り替えながら編む場合



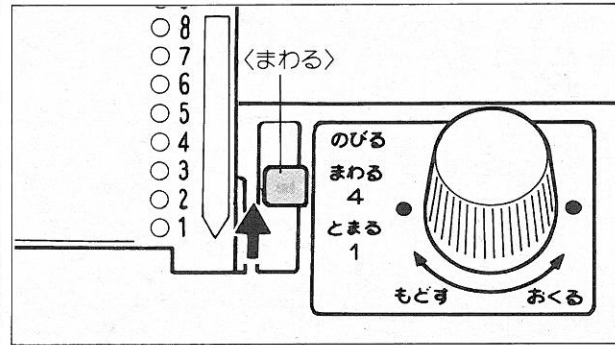
1 地糸を糸取装置の右側に通します。
2 配色糸を糸取装置に通さないで足もとに置き、糸口へ入れます。
(編む段数が特に多い配色糸は、糸取装置に通します。)
3 糸端にクリップなどの軽いオモリをつけ、配色糸を左手でかるく引きながら編み始めます。



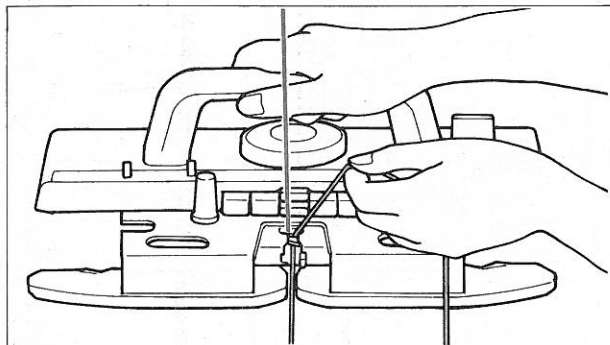
3 **ステップ2** 選針切替ツマミを〈もようあみ〉に合わせ、Kキャリジをゆっくり右側へ操作し予備選針をします。



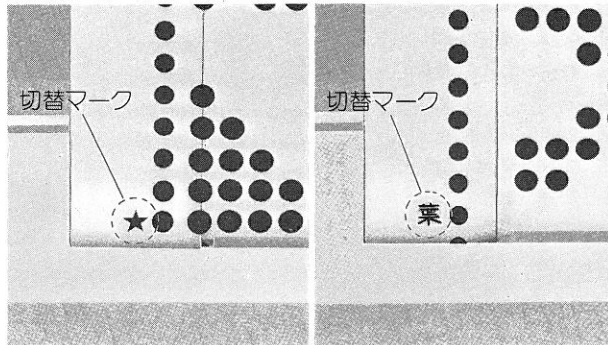
4 **ステップ3** カムボタンの〈同時あみ〉(上のボタンだけ)を押します。



5 **ステップ4** ストップレバーを〈まわる〉に合わせます。



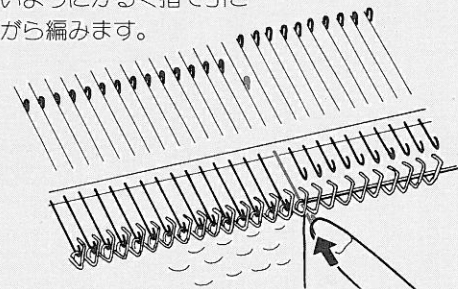
4 2段目以降は配色糸を左手でかるく引いたまま編みます。
5 好みの位置で編糸を切り替えながら編み進みます。



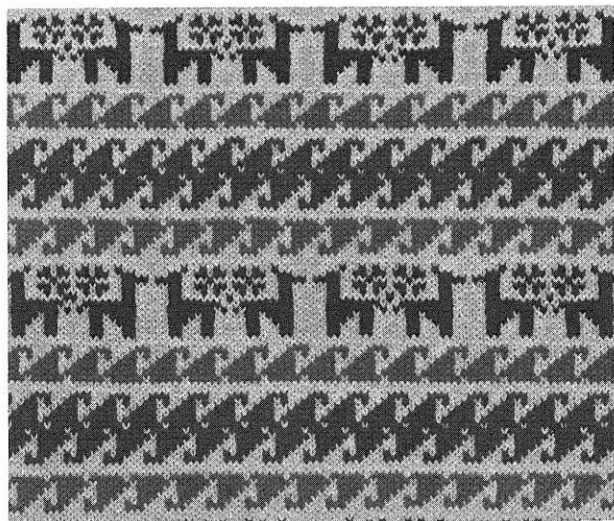
※切替マークがあるパンチカードの場合は、切替マークがカード差込口にきたときに配色糸と切り替えます。

ご注意

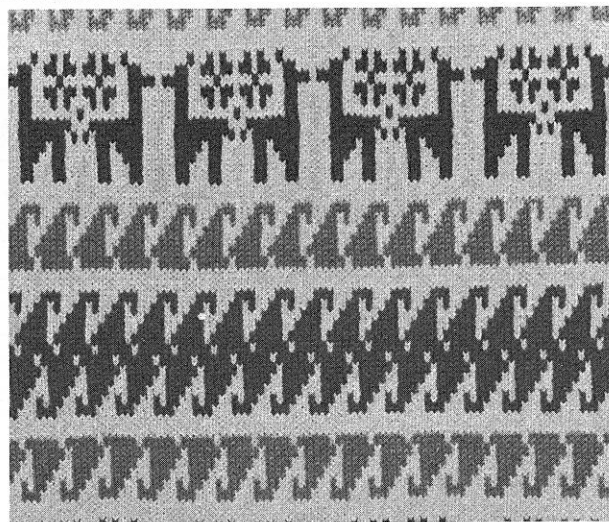
- 模様によっては、編んでいる途中で両端針だけが選針されることがあります。(付属カードのNa9N Na10N)そのような場合には、指でB位置にもどしてから編みます。
 再び模様編の選針がされたときは、編糸がたるまないようにかるく指で引きながら編みます。



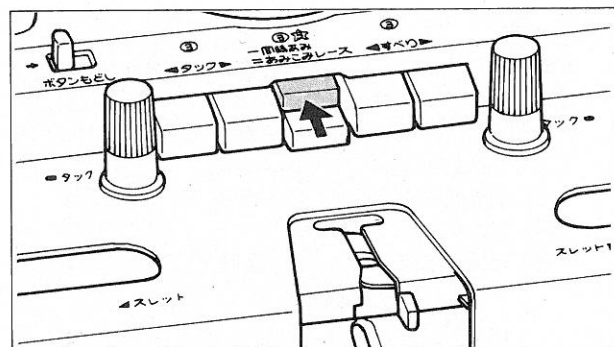
間欠送り模様の編み方 利用できるカード：同時編込模様と同じです。



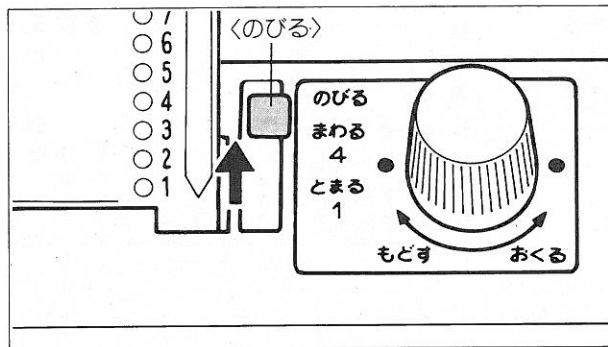
カードNo9N
〈普通の同時編込模様〉



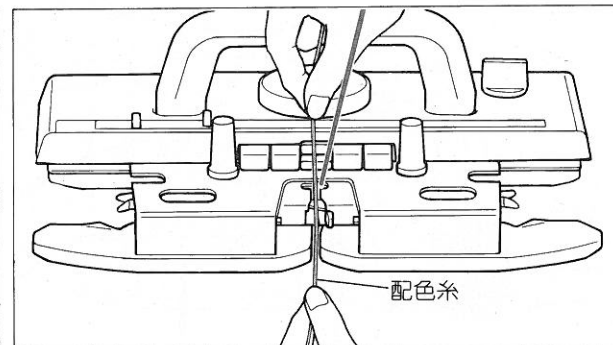
カードNo9N
〈間欠送り使用〉



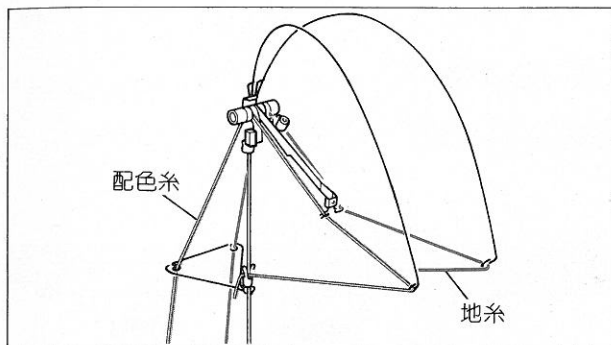
4 **ステップ3** カムボタンの〈同時あみ〉(上のボタンだけ)を押します。



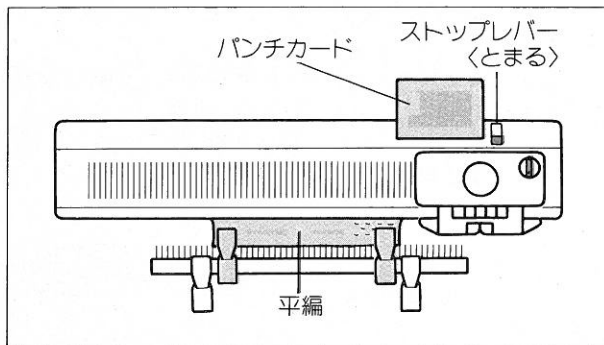
5 **ステップ4** ストップレバーを〈のびる〉に合わせます。



6 **ステップ5** 配色糸を色糸口に通します。

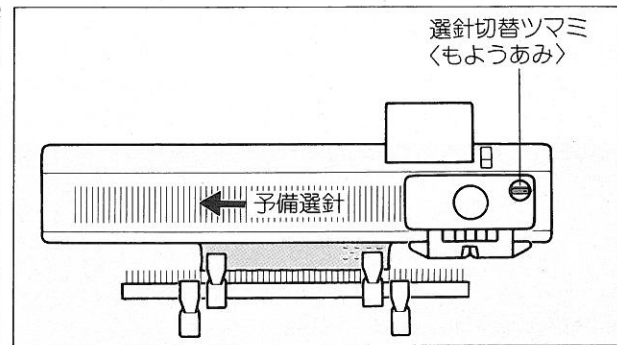


1 糸取装置の右側に地糸、左側に配色糸を通します。

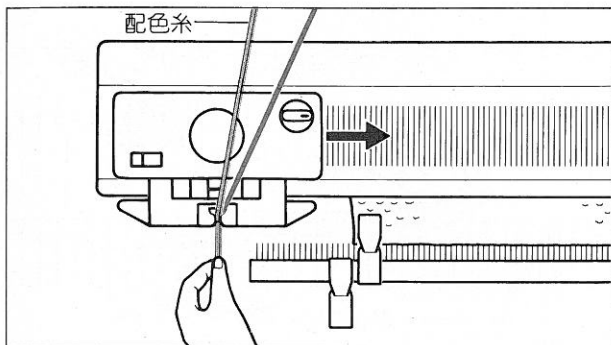


2 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリジを右側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。

※カラーウェイトを編地の両端にかけてください。



3 **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャリジをゆっくり左側へ操作し予備選針をします。



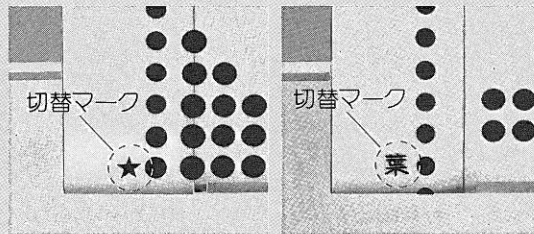
7 配色糸の糸端を指でつまみ、かるく真下に引くようにしながらKキャリジを操作し編み進みます。

※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにつけ直してください。

●間欠送りを部分的に使う場合

パンチカード左側の切替マークがカード差込口にきたとき(Kキャリジが左側にあるとき)にストップレバーを<のびる>と<まわる>に交互に切り替えて編みます。

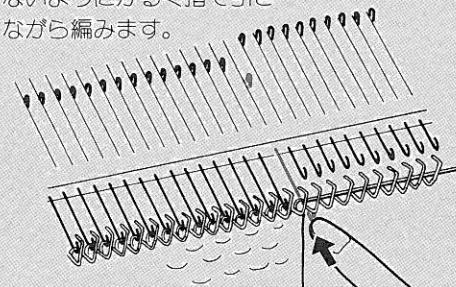
※ストップレバーを<のびる>に合わせると、カードはKキャリジを右から左へ操作したときのみ1段送られます。



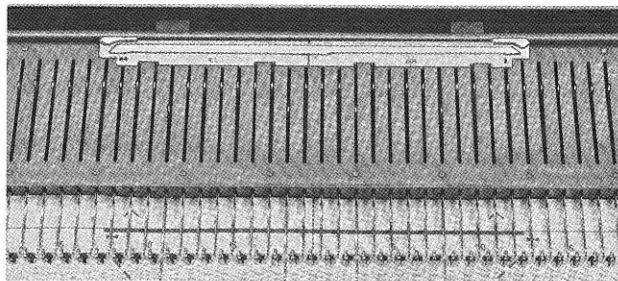
ご注意

●模様によっては、編んでいる途中で両端針だけが選針されることがあります。(付属カードのNo.9N、No.10N)そのような場合には、指でB位置にもどしてから編みます。

再び模様編の選針がされたときは、編糸がたるまないようにかるく指で引きながら編みます。



ワンポイント模様の編み方 利用できるカード：No10N, 同時編込模様のカードも利用できます。

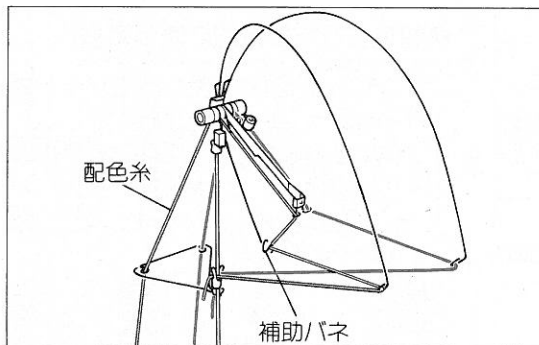
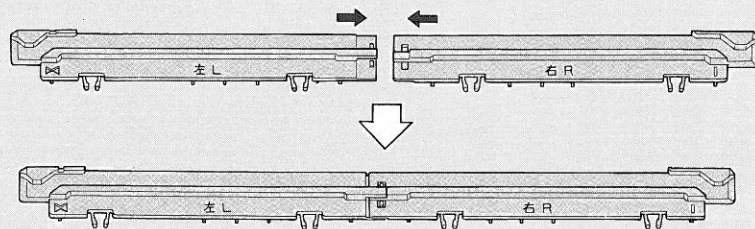


カードNo10N

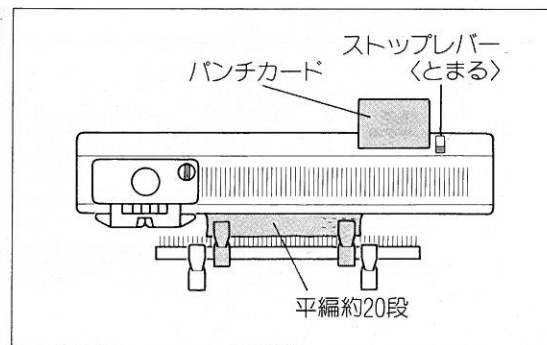
ワンポイント模様は、編幅に関係なく、ワンポイントカムが置かれている部分にだけ模様が編める編み方です。

●ワンポイントカムの使い方

ワンポイントカムL・Rを接続して使います。



1 糸取装置の右側に地糸、左側に配色糸を通します。このとき、配色糸は必ず補助バネに通します。



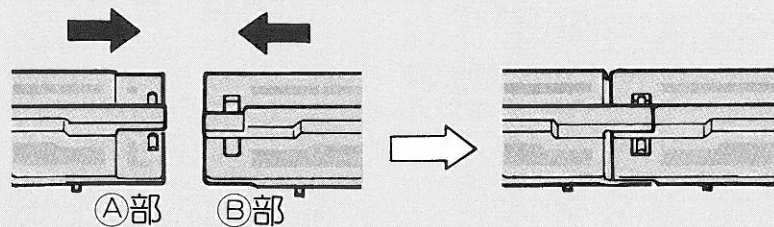
2 **ステップ1** 地糸で平編を20段ほど編み、Kキヤリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。
※カラーウエイトを編地の両端にかけてください。

接続の方法

図のように、ワンポイントカムL、Rの④部と③部を合わせて“パチッ”と音がするまではめ込みます。

※接続をはずすときは、引き抜いてはけません。

※ワンポイントカムL、Rは、それぞれ単独では使用できません。



用意するもの

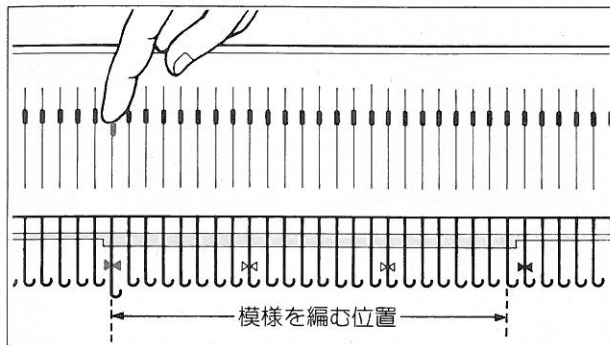
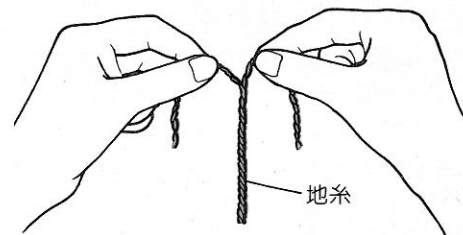
- パンチカードNo10N
- 地糸・配色糸(4色…にんじん・葉・うさぎ・服)
- 別糸—地糸と同じ色で地糸より細い編糸が透明糸(2本…各80cm)

●別糸について

ワンポイント模様は、配色糸が一部分の編地だけに編み込まれますので、そのままでは模様の両側に穴があいた状態になってしまいます。

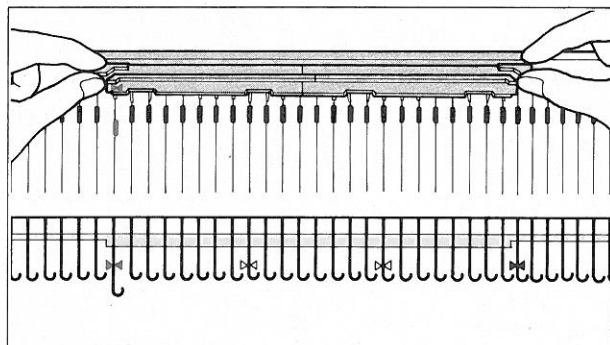
美しい模様を編むために、毎段Kキャリジのある側に別糸(または透明糸)をかけて編みます。

地糸を2本に割って別糸にする方法

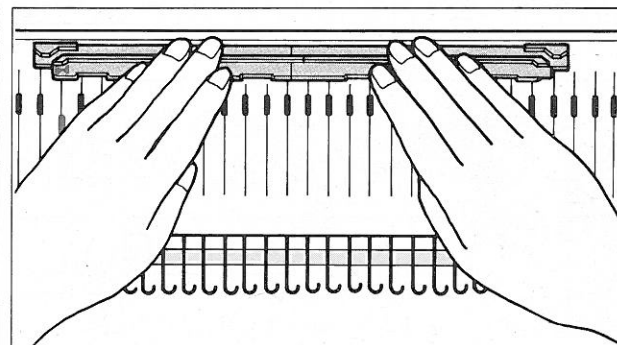


3 ミゾ板目盛板の選針マークを参考にして、ワンポイントカムのセット位置を決めます。

※模様を編む位置の選針マーク左端の▶マークの編針を少し出すとワンポイントカムを置く位置がわかりやすくなります。



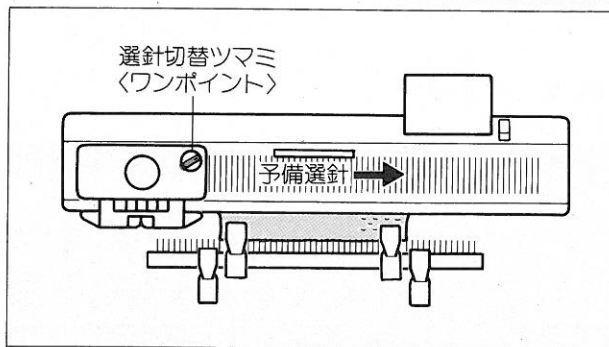
4 ワンポイントカムの▶マークを左側にして持ち、出しておいた編針の位置にワンポイントの▶マークを合わせてセットする位置を決めます。



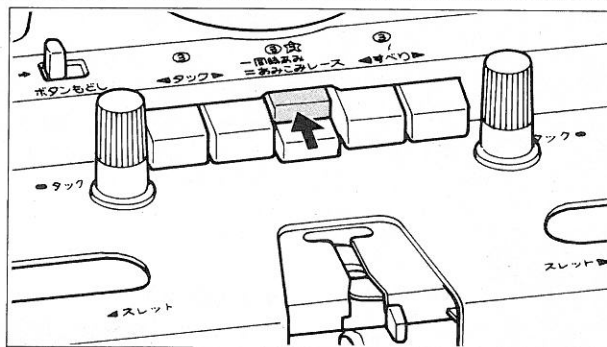
5 ワンポイントカム表面のツメをミゾ板のミゾにはめ、ワンポイントカムの後側を少し浮かせながら、後レール側へ(後レールのピンがかくれるまで)平行に押しつけて固定します。

※正確にはまっていないと、ワンポイントカムがとびだしたり、ワンポイントカムを痛めることにもなります。

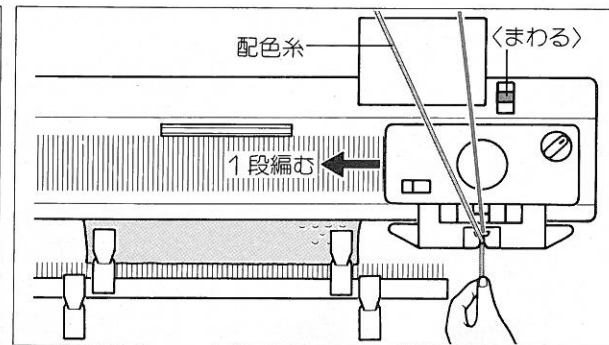
ワンポイント模様の編み方



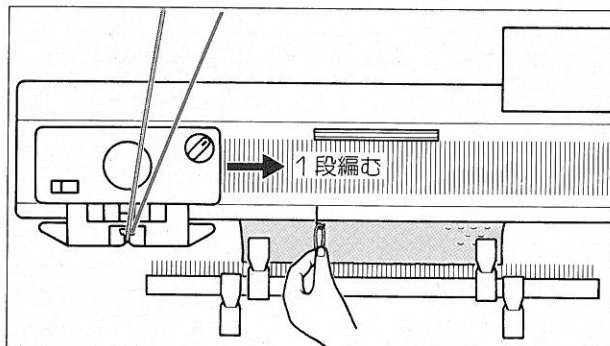
6 **ステップ2** 選針切替ツマミを〈ワンポイント〉に合わせ、Kキャリジをゆっくり右側へ操作し予備選針をします。



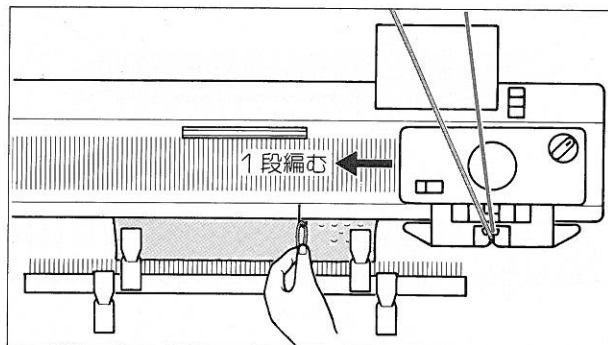
7 **ステップ3** カムボタンの〈同時あみ〉(上のボタンだけ)を押します。



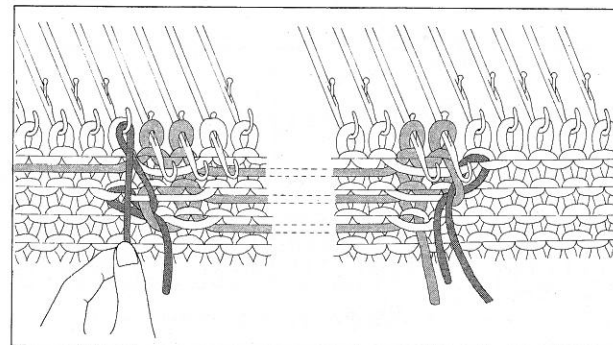
8 **ステップ4** ストップレバーを〈くまわる〉に合わせます。配色糸(にんじんを編む色糸)を糸糸口に入れ、糸端を軽くつまんで左側へ1段編みます。



10 別糸を軽く持ったままKキャリジを右側へ1段操作します。



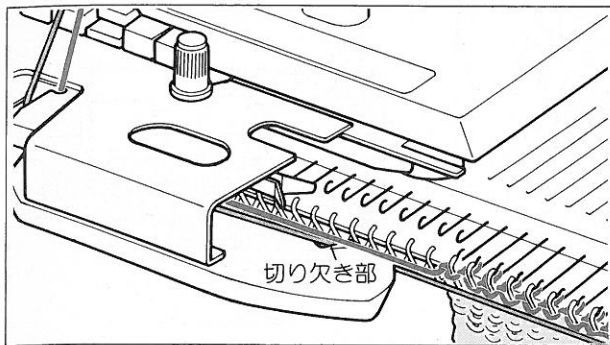
11 右側(Kキャリジのある側)で、選針されている右端針のすぐ右隣のB位置の編針に、用意したもう一本の別糸を◎と同じ要領でかけ、Kキャリジを左側へ一段操作します。



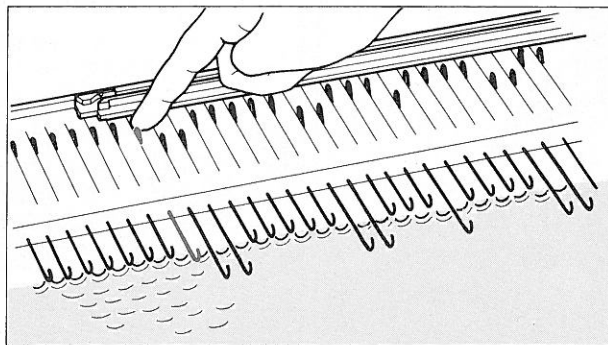
12 1段編むごとにKキャリジのある側で、模様穴があかないように別糸をかけながら編み進みます。

● Kキャリジが左側にきたときは…

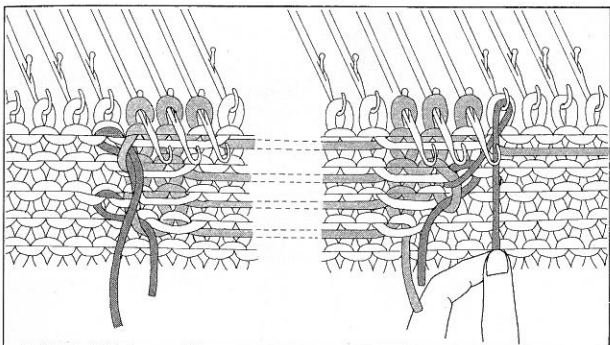
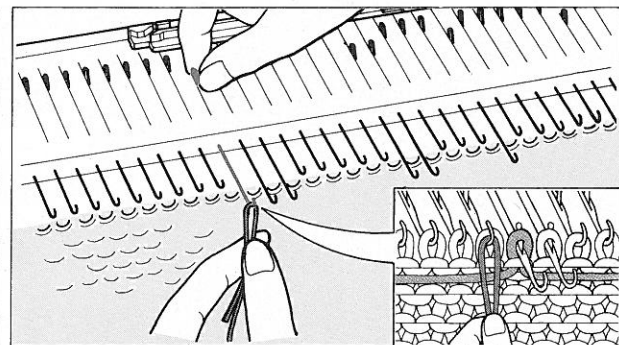
別糸を、選針されている左端針のすぐ左隣のB位置の編針に外側から内側へかけ、指でかるく下に引きます。



※次の段からは配色糸が編地押えの切り欠き部から下側に通るのを確かめ、編糸の糸たるみをなくしてから編んでください。もしはずれたときは下側に通します。

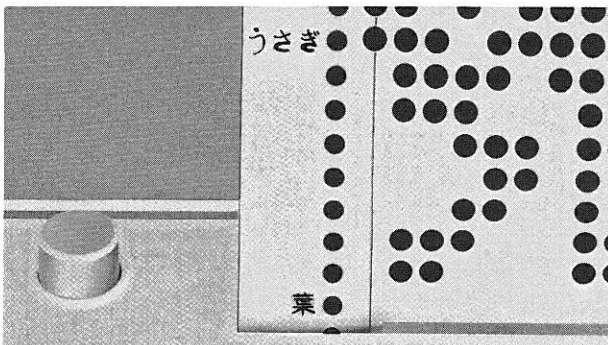


⑨ 左側(Kキャリジのある側)で、選針されている左端針のすぐ左隣のB位置の編針を少し出し、用意した別糸をかけて指で軽く下に引きB位置にもどします。



●Kキャリジが右側にきたときは…

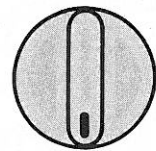
別糸を、選針されている右端針のすぐ右隣のB位置の編針に外側から内側へかけ、指でかるく下に引きます。



13 カード差込口に、切替マーク(葉・うさぎなど)がきたら、いま編んできた配色糸を糸取装置・色糸口からはずし、これから編む配色糸と入れ替えて編みます。
※10～20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかかけ直してください。

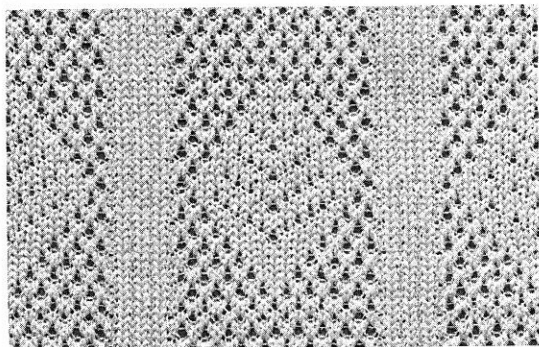
14 パンチカードのスタートラインが、カード差込口のスタート位置にもどったら、配色糸とワンポイントカムをはずします。
選針切替ツマミを〈ひらあみ〉にもどし、平編を数段編んで終わります。

※同時編込模様のパンチカードを使用するときは、編み込みたい部分が編めたところで、平編の操作に切り替えます。



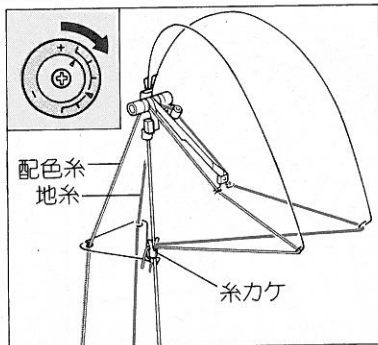
○
ひらあみ

編込レース模様の編み方 利用できるカード：No1N, 11N, 12N, 13N, 14N, 15N ※毎段両端の編針をB位置にもどしながら編みます。

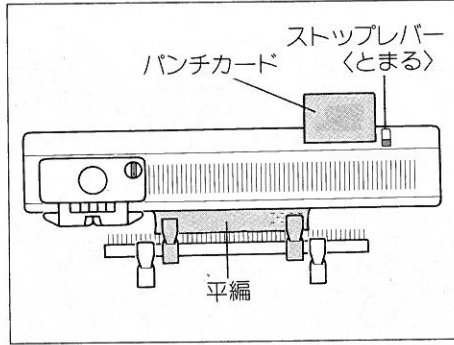


カードNo15N

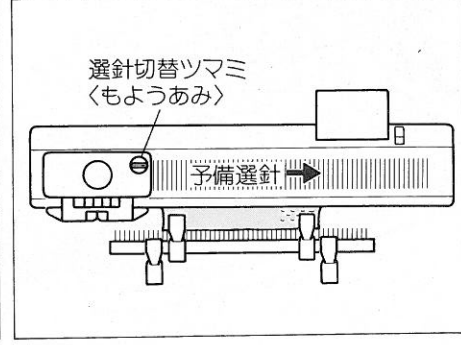
- 編込レース模様は、太い編糸と細い編糸の組み合わせによる効果を利用して編みます。
- 地糸には並太または極太タイプの編糸を、配色糸には地糸に似た色の極細タイプを使用します。



- 1 糸取装置の右側に地糸を、左側に配色糸（細糸）を通します。
※配色糸は細糸を使用しますので、糸調子を強く合わせてください。

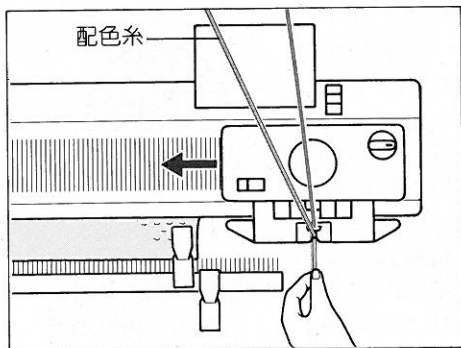


- 2 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。
※カラーウェイトを編地の両端にかけてください。

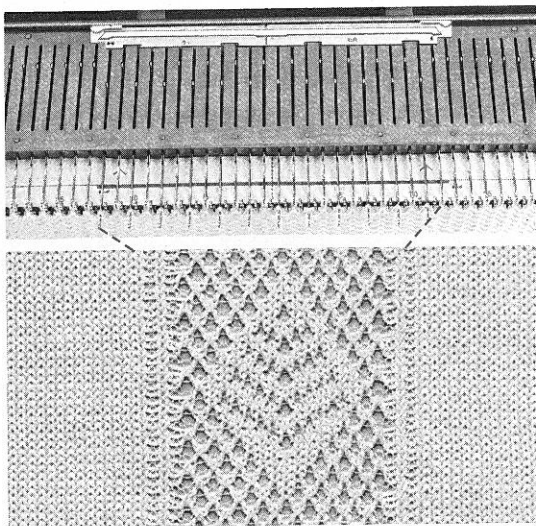


- 3 **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャリジをゆつくり右側へ操作し予備選針をします。

ポイント・編込レース模様 利用できるカード：No15N, 編込レース模様のカードも利用できます。

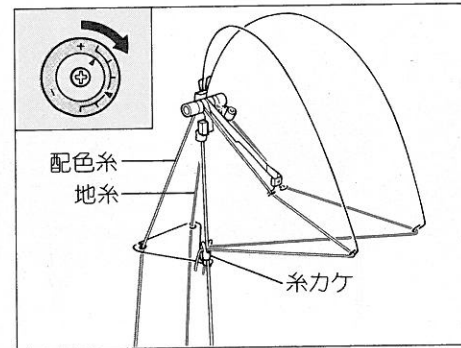


- 8 配色糸（細糸）の糸端を指でつまみ、かるく真下に引くようにしながらKキャリジを操作します。
- 9 毎段両端の編針をB位置にもどしながら編み進みます。

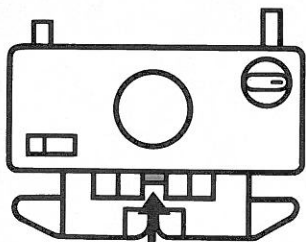


ポイント編込レース模様は、編幅に関係なく、ワンポイントカムが置かれている部分だけ模様が編める編み方です。

カードNo15N

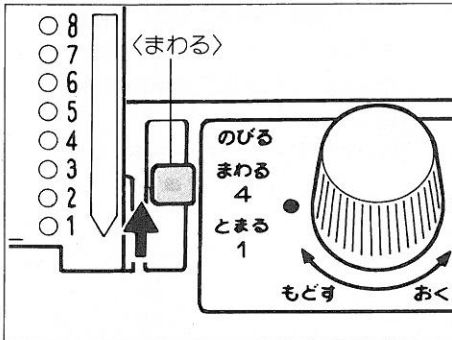


- 1 編込レース模様の1と2を行います。

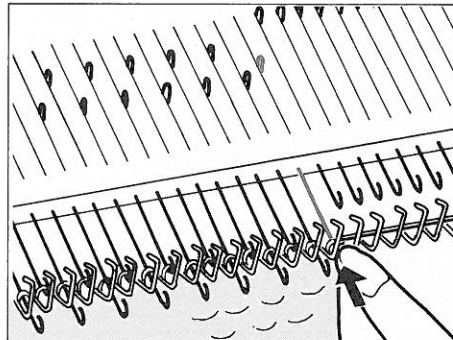


〈あみこみレース〉
上下同時に押す

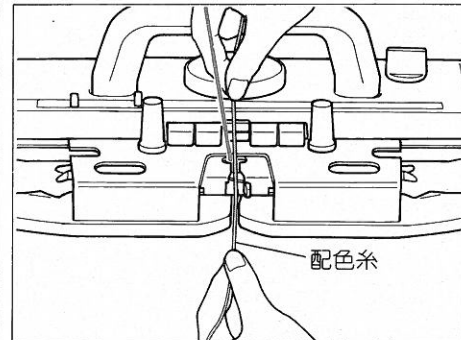
4 **ステップ3** カムボタンの〈あみこみレース〉を上下同時に押します。



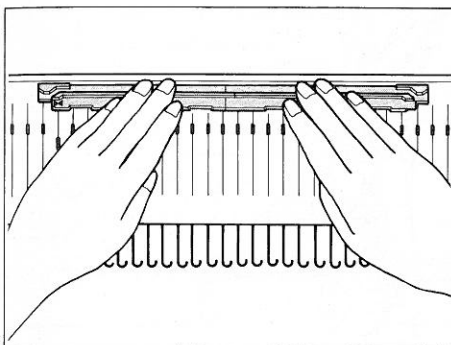
5 **ステップ4** ストップレバーを〈まわる〉に合わせます。



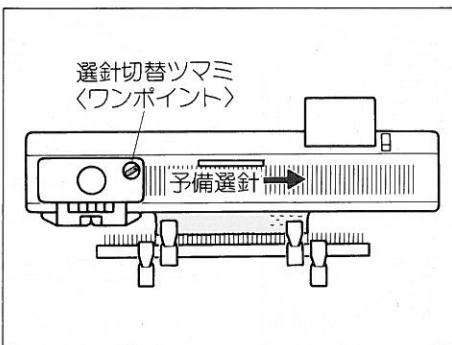
6 編地の両端の編針をB位置にもどします。



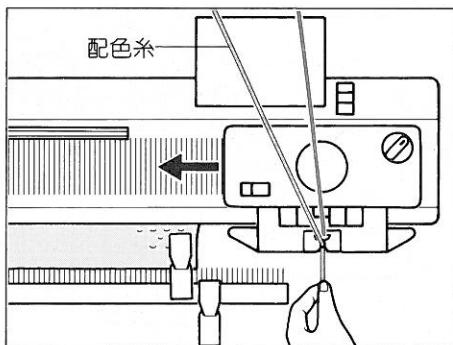
7 糸口レバーは閉じたままで配色糸(細糸)を糸色口へ入れます。



2 ワンポイント模様(36ページ③~⑤)を参照して、模様を編む位置にワンポイントカムをセットします。



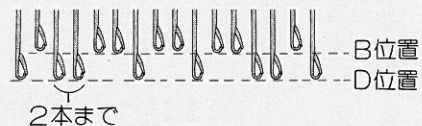
3 選針切替ツマミを〈ワンポイント〉に合わせ、Kキャリジを右側へゆっくり操作し予備選針をします。
※ワンポイントカムをセットした部分だけが選針されます。



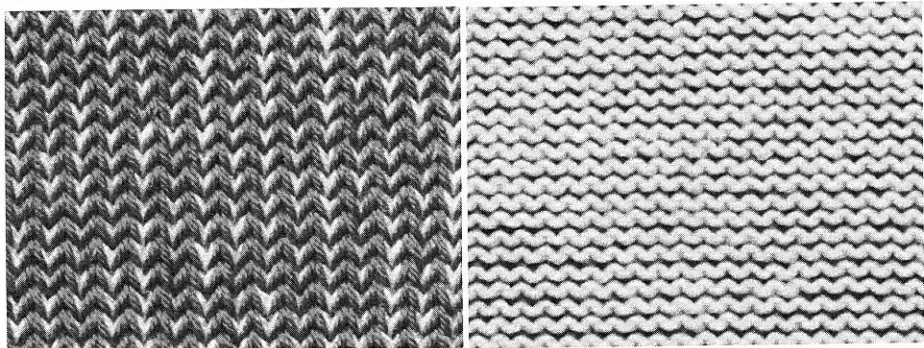
4 編込レース模様の④~⑧を行います。
※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかけてください。

◀知識メモ▶

- 編込レース模様の場合には、D位置への選針は連続2本までとします。



添え糸編の編み方



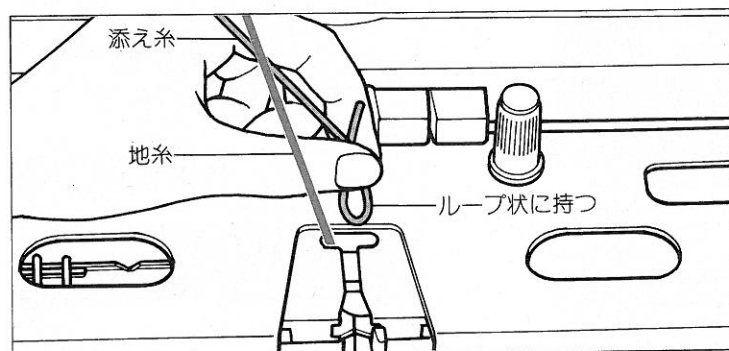
表

裏

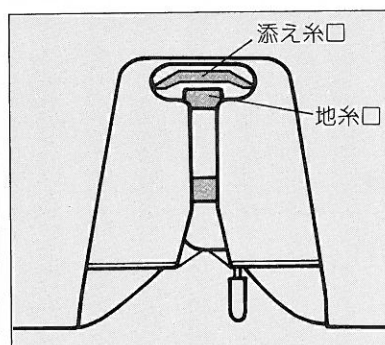
2本の編糸を同時に表裏に編み分ける編み方です。地糸口の編糸が表目側に、添え糸口の編糸が裏目側にあらわれます。

※Kキャラジは〈ひらあみ〉の状態で編みます。

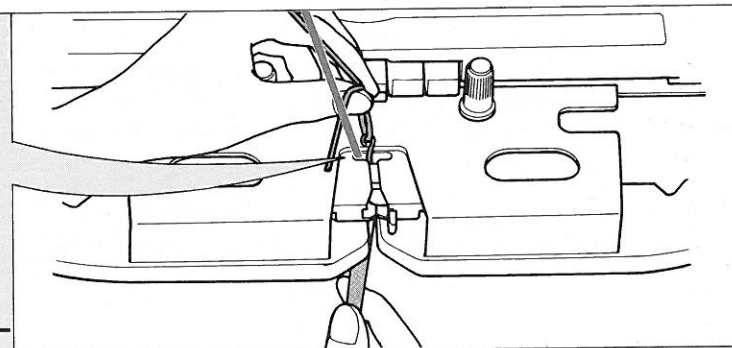
編糸タイプ	編目ダイヤル
中細 と 中細	2 ~ 6
中細 と 並太	4 ~ 8
並太 と 並太	6 ~ 10

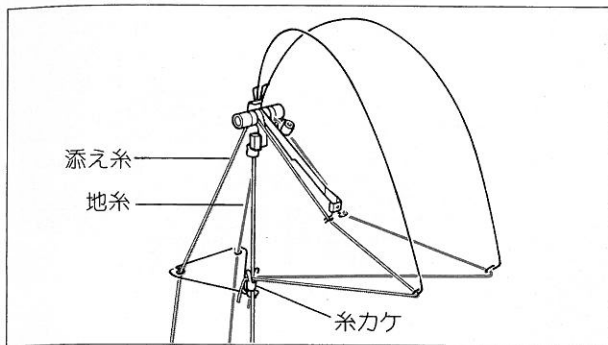


4 添え糸を地糸のうしろ側になるように持ちます。

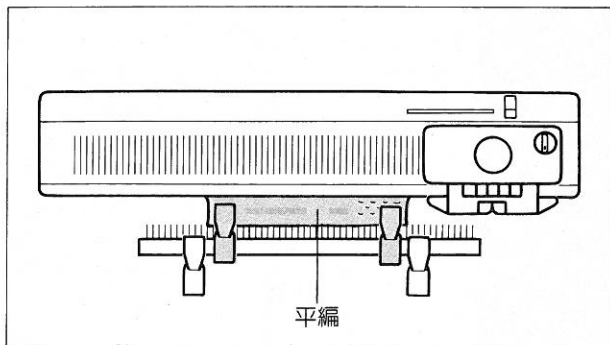


5 糸口レバーを閉じたまま、添え糸を添え糸口に通します。
※タツピを添え糸口の下から通し、フックに添え糸をかけて引き下げるとうまくできます。

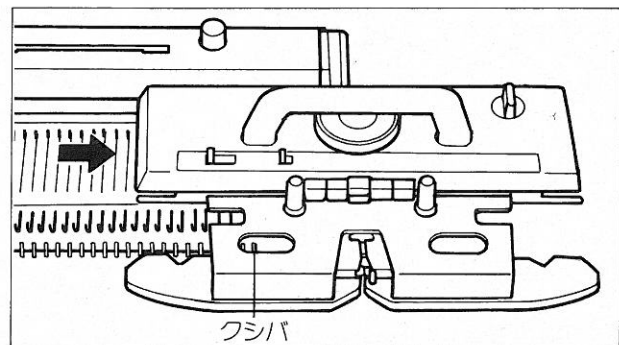




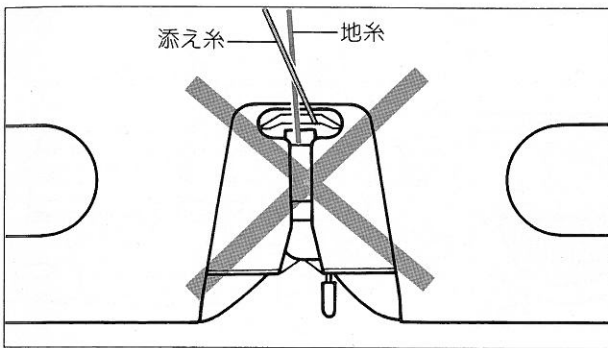
1 糸取装置の右側に地糸を、左側に添え糸を通します。



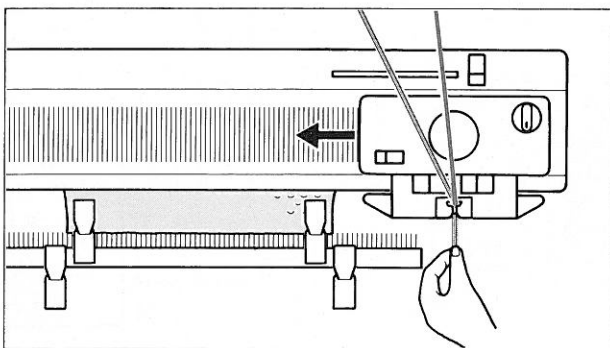
2 地糸を地糸口に入れて平編を10段ほど編み、Kキャリジを右側に置きます。
 ※カラーウェイトを編地の両端にかけてください。



3 糸口の下にクシバがない位置まで、Kキャリジを動かします。

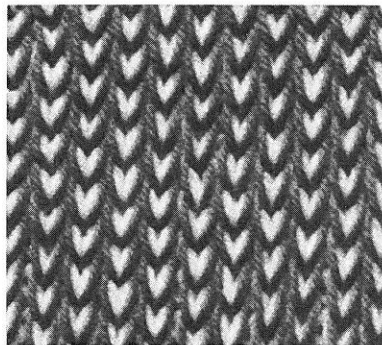


※添え糸を添え糸口に入れるときは、地糸と添え糸を交差させないようにしてください。



6 添え糸の糸端を指でつまみ、かるく真下に引くようにしながらKキャリジを操作し編み進みます。
 ※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウェイトを編針の近くにかけてください。

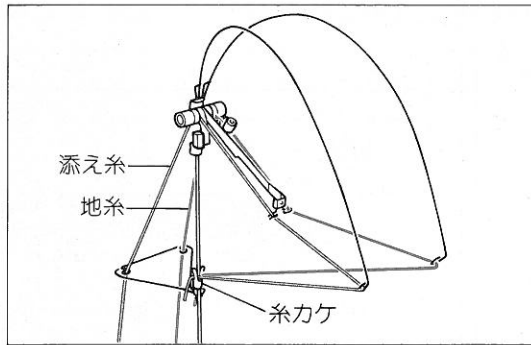
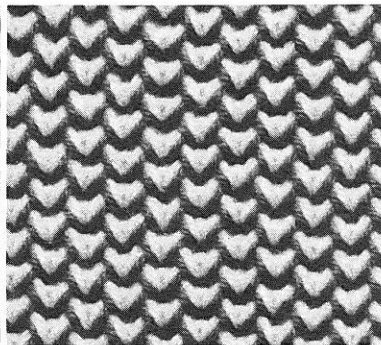
添え糸タック模様の編み方 利用できるカード：No1N



カードNo1N

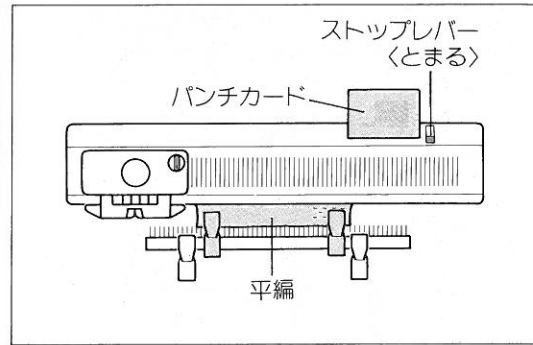
表

添え糸タック模様は、地糸を地糸口、添え糸を添え糸口に入れてタック模様と同じ手順で編みます。



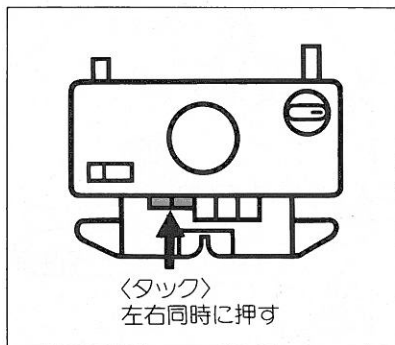
裏

1 糸取装置に地糸と添え糸を通します。

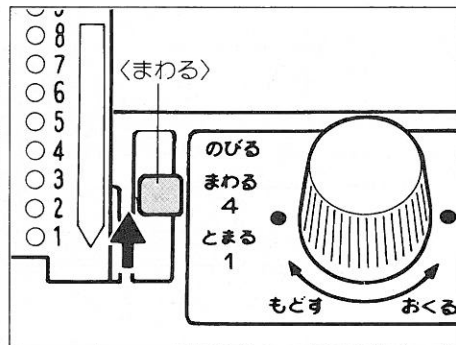
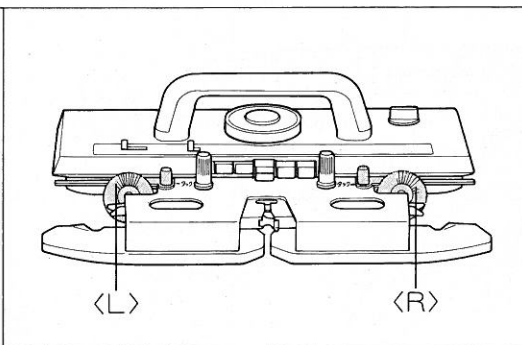


2 **ステップ1** 地糸を地糸口に入れ平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。
*カラーウェイトを編地の両端にかかけてください。

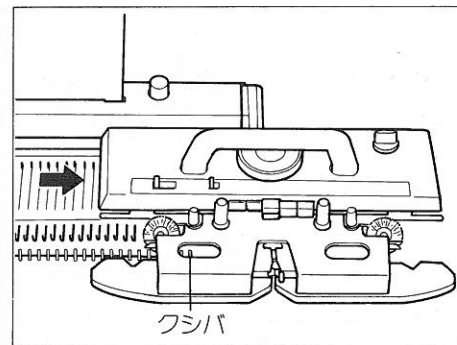
編糸タイプ	編目ダイヤル
中細と中細	3~7
中細と並太	5~9



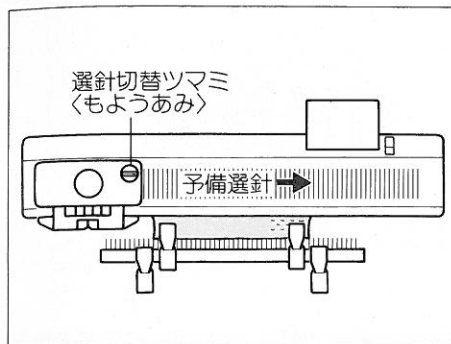
5 **ステップ3** カムボタンの<タック>左右を同時に押したあと、編地押えのタック位置にハケ車をセットします。
*ハケ車の取り付け方は、23~24ページを参照してください。



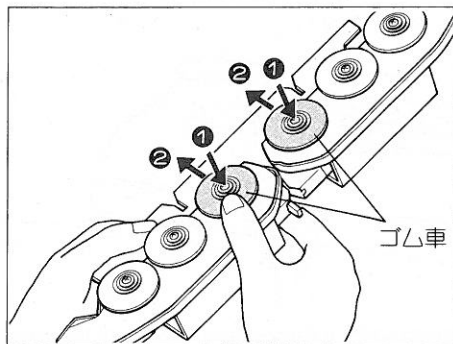
6 **ステップ4** ストップレバーを<まわる>に合わせます。



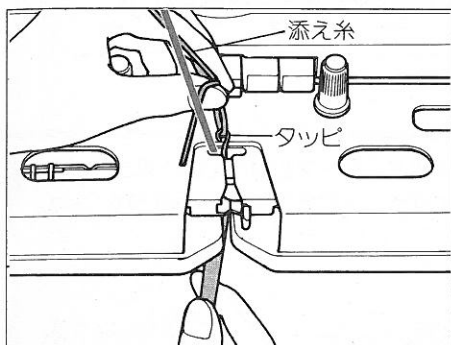
7 糸口の下にクシバがない位置まで、Kキャリジを動かします。



3 **ステップ2** 選針切替ツマミをくもようあみ)に合わせ、予備選針をします。

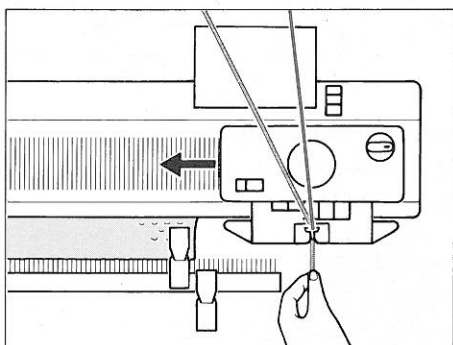


4 タック模様と同じ要領でゴム車を出し、Kキャリジに取り付けます。



8 糸口レバーを閉じたまま、添え糸を添え糸口に通します。

※添え糸を添え糸口に入れるときは、地糸と添え糸を交差させないようにしてください。



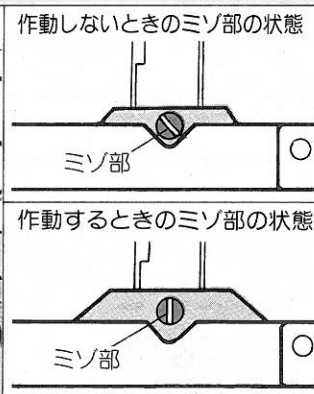
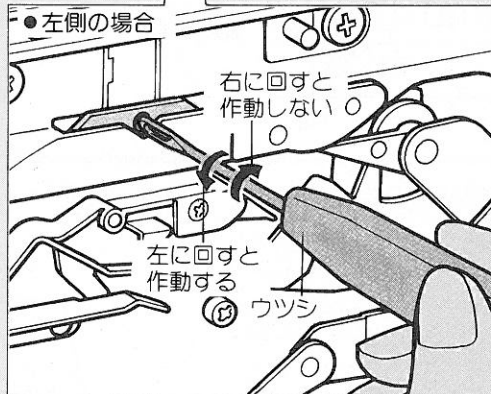
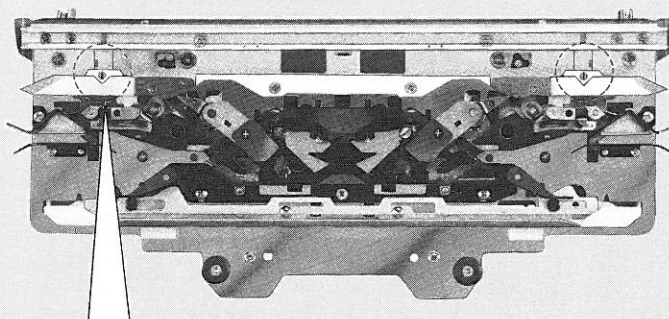
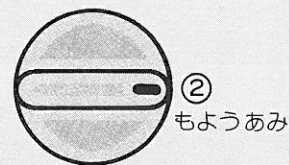
9 添え糸の糸端を指でつまみ、かるく真下に引くようにしながらKキャリジを操作し編み進みます。

※10~20段ごとに、編地の両端のカラーウエイトを編針の近くにかかけ直してください。

●針抜き模様を編む場合

選針切替ツマミがくもようあみ)の位置のときに、次の操作を行います。

- 1 Kキャリジを本体からはずし、裏返します。
- 2 Kキャリジの端針選針機構を左右とも作動しないようにします。(下図参照)
- 3 Kキャリジを本体にもどして編み進みます。

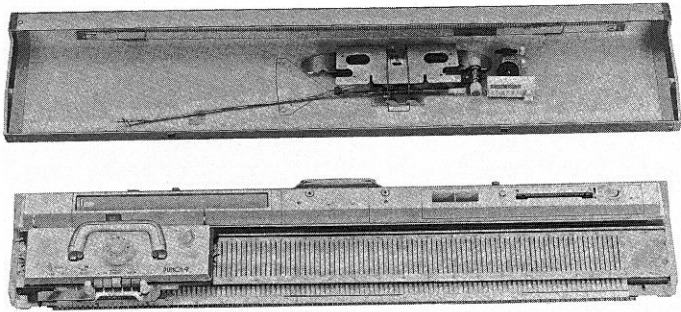


●右側の場合
ミソ部を回す方向が左側と逆になります。

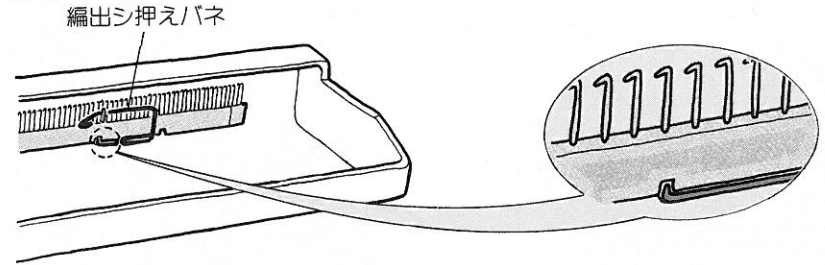
※模様を編み終えたあとは、必ず端針選針機構を左右とも、作動するようにしておきます。

編機のしまい方

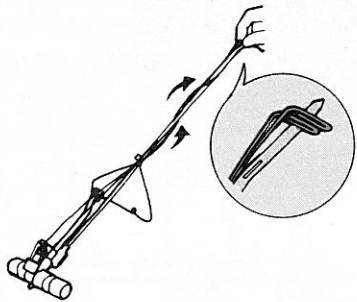
収納状態



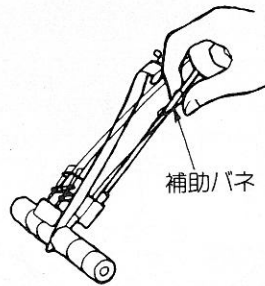
- 1 連結した編出シのフック部を向う側にし、切り欠き部を合わせて置き、編出シ押えバネ（2箇所）をかけます。



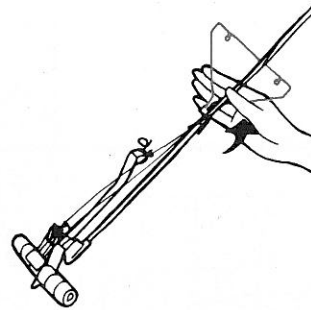
- 6 糸取バネを糸取棒に2~3回巻き付け、先端をひっかけます。



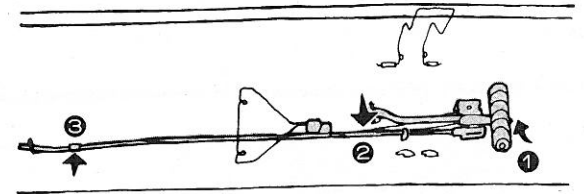
- 7 補助バネを糸取棒にはめます。



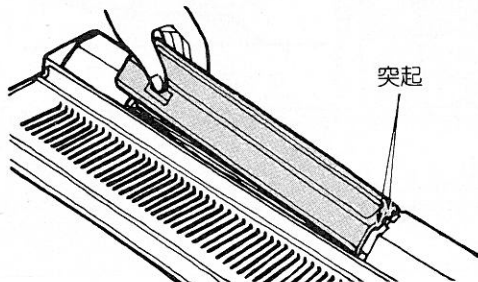
- 8 後糸案内を、つかえるまで押し下げます。



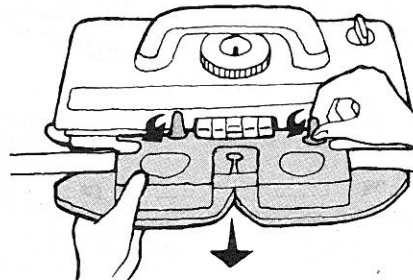
- 9 糸取装置を①・②・③の順にケース金具にはめます。



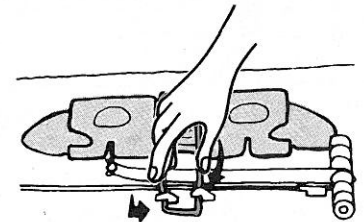
- 13 部品箱のふたの突起2箇所を、部品箱の右側の穴に差し込み、ふたを閉じます。



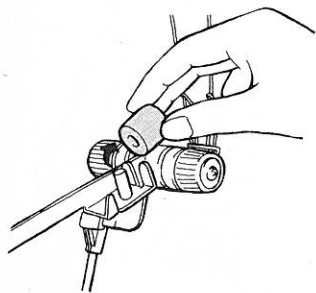
- 14 Kキャラジの左右の編地押えツマミをゆるめ、編地押えをはずします。



- 15 編地押えをケースの中に正しく置き、編地押えバネを押しつけ、金具にかけます。



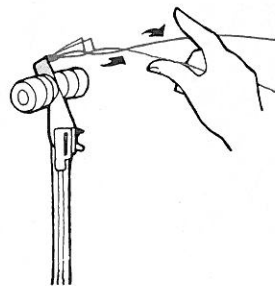
2 パラフィンははずし収納します。



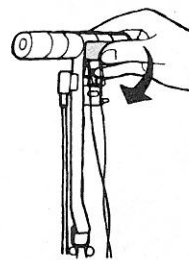
3 糸取装置を編機からはずし、糸取アームを止まるまで押し下げます。



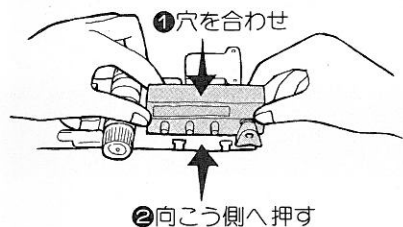
4 糸取パネを2~3回ねじり合わせます。



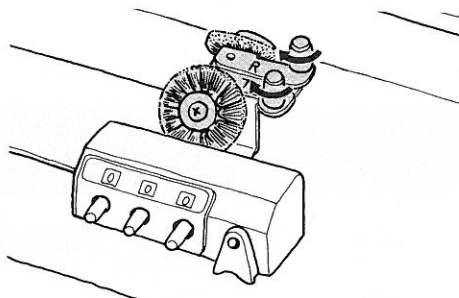
5 糸取パネの根元を持ち、止まるまで押し下げます。



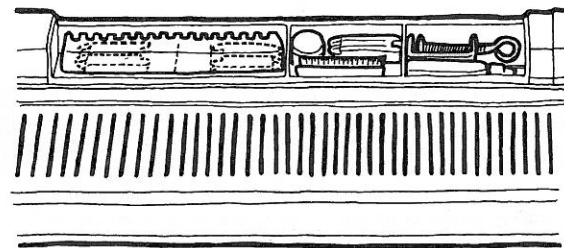
10 段数計をケースに取り付けます。



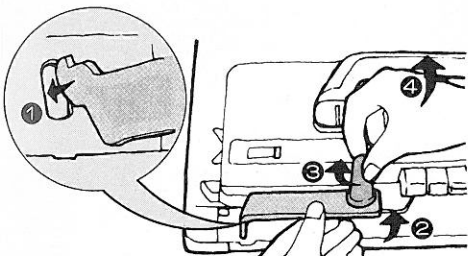
11 ハケ車をケースに取り付けます。



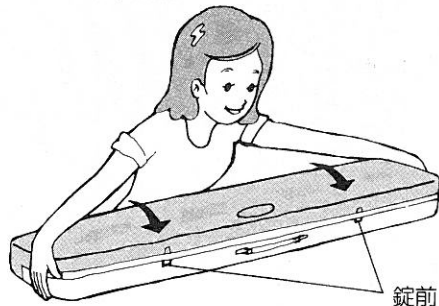
12 取付金具をテーブルからはずし、他の部品とともに部品箱に収めます。



16 Kキャリジを左端へ動かし、キャリジ止め金を取り付け、ハンドルをたおします。

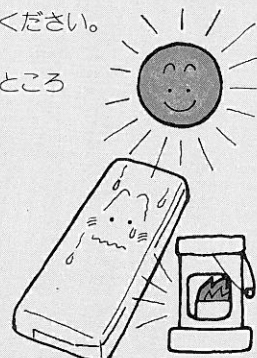


17 ケースをななめにしてそのまま押しつけ、錠前をかけます。



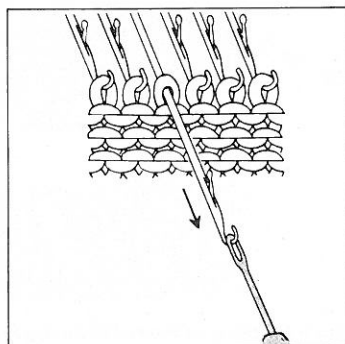
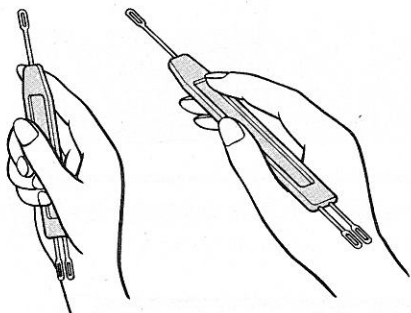
編機を次の状態で保管しないでください。

- 直射日光の当たるところ
- ヒーターの横のような高温なところ
- 湿度の高いところ

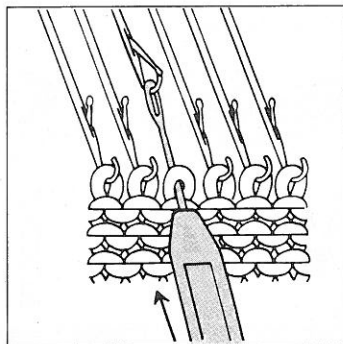


★ウツシの持ち方

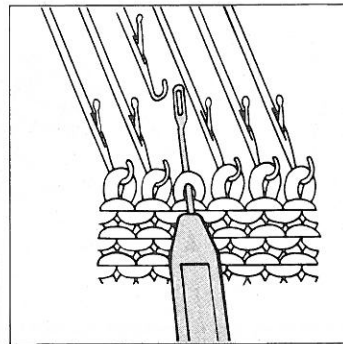
2つの持ち方があります。自分が使いやすいと思われる方法で行ってください。



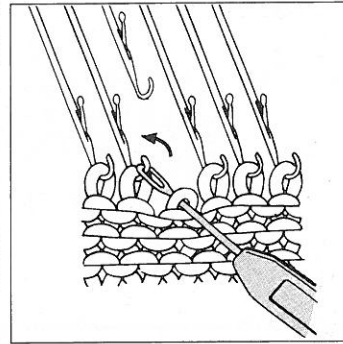
1 編針が止まるまで手前に引きます。



2 まっすぐ編針をもどすと、編目がウツシに移ります。



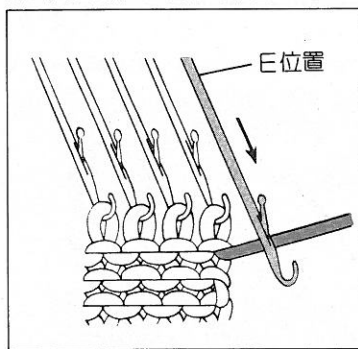
3 ウツシの先をはずします。



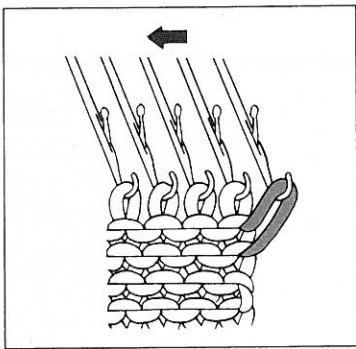
4 移したい編針のフックにウツシの穴をかけ、編目を移します。

編目の増し方

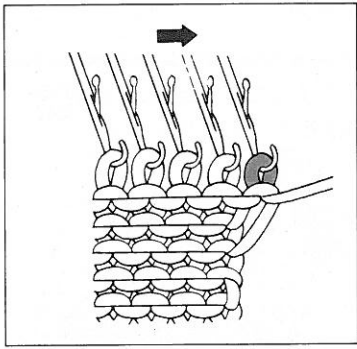
■ 1目端で増す場合 — 編糸のある側で行います。



1 増し目をする編針をE位置に出します。

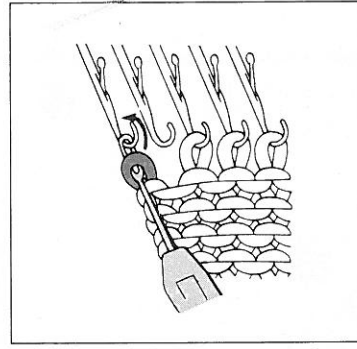


2 Kキャリジを左へ操作します。

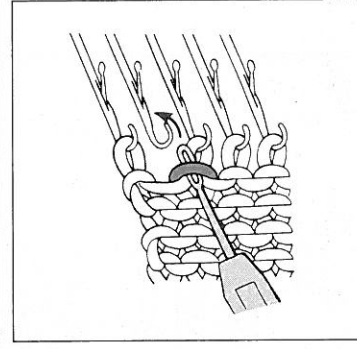


3 Kキャリジを右へ操作します。

■ 1目内側で増す場合



1 端の1目を1目外側の編針に移します。



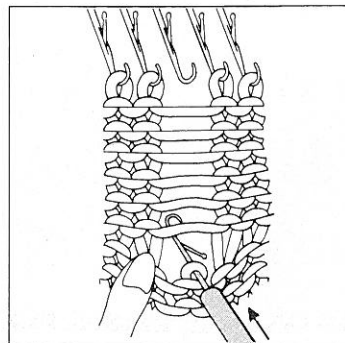
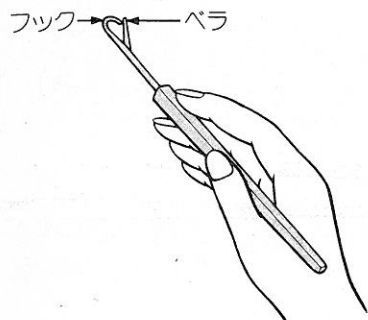
2 端から2本目の編針の、1段下の編目を引き上げます。

タッピの使い方

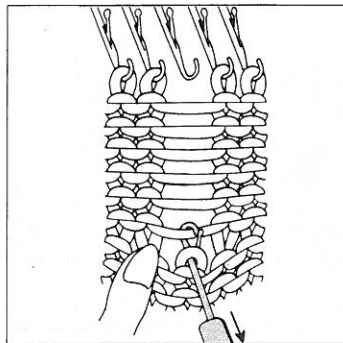
●タッピはゴム編や、編目がおちたときなどに使います。

★タッピの持ち方

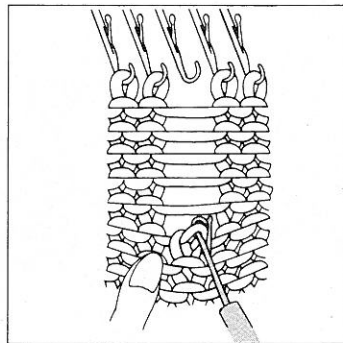
鉛筆を持つようにして持ち、ベラを上
にします。



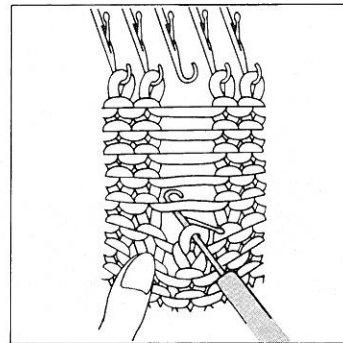
1 編目がベラを通り抜けるま
でタッピを差し込みます。



2 タッピを手前に引いて、上
段の横糸をフックにかけま
す。

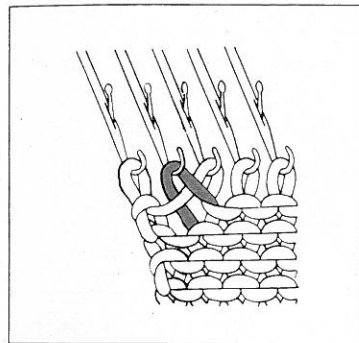


3 そのまま引くと編目ができ
ます。

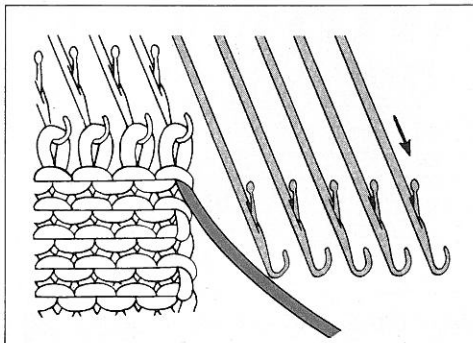


4 さらにタッピを差し込み1
~3を繰り返します。

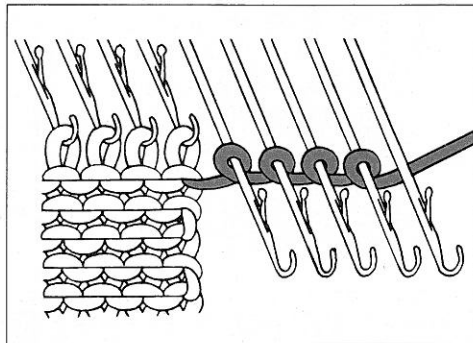
■2目以上増す場合——編糸のある側で行います。



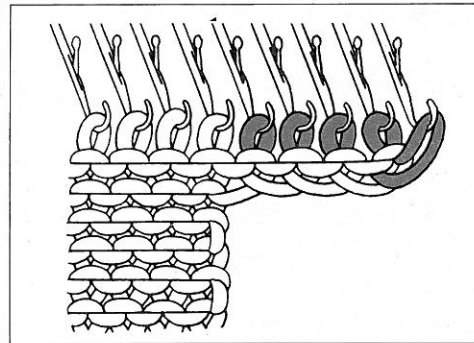
3 編目を移します。



1 増し目をする編針をE位置に出します。



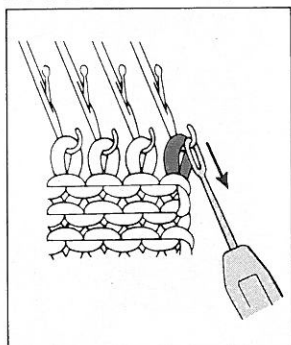
2 巻き目をして、最後の編針には下をく
ぐらすだけにします。



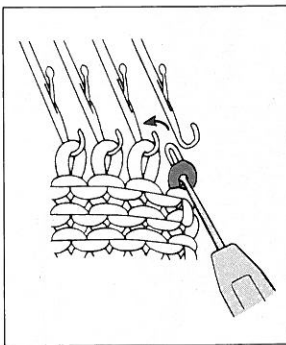
3 Kキャラジを左へ操作します。

編目の減らし方

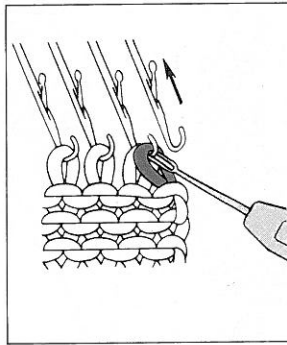
■ 1目端で減らす場合



1 端の目をウツシに移しとります。

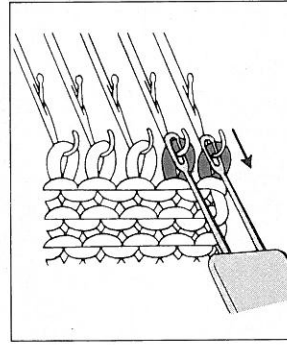


2 内側の編針に移します。

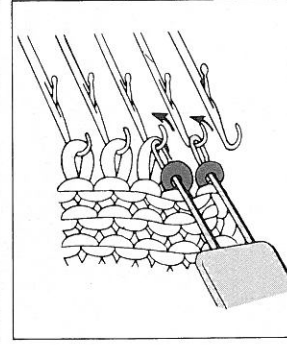


3 カラ針をA位置にもどします。

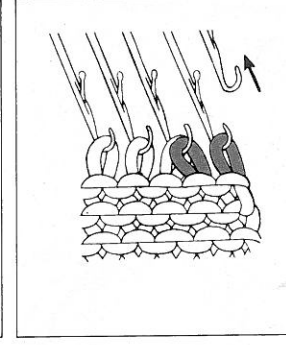
■ 1目内側で減らす場合



1 2本針のウツシを使い、端の2目を同時に移しとります。

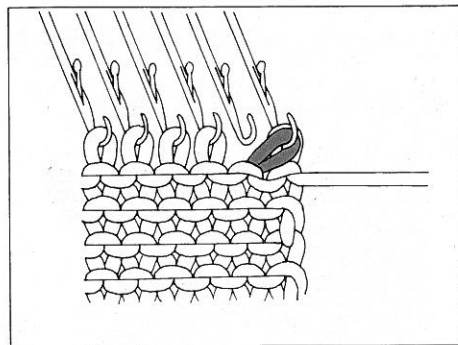


2 内側へ1針分ずらして編針に移します。

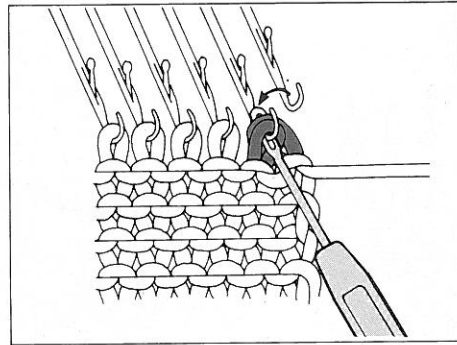


3 カラ針をA位置にもどします。

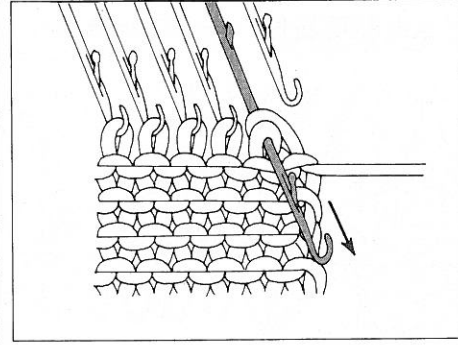
■ 2目以上減らす場合 — 編糸のある側で行います。



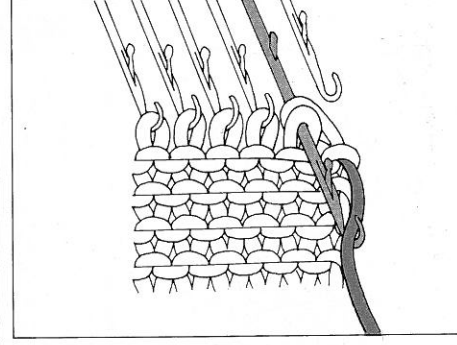
1 端から2本目の編針の編目を端の編目に重ねます。



2 端の重なった2目を同時に2本目の編針に移します。

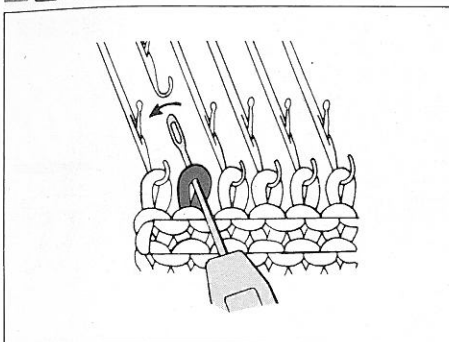


3 編目が2目重なっている編針をE位置に出します。編目はベラのうしろに移ります。

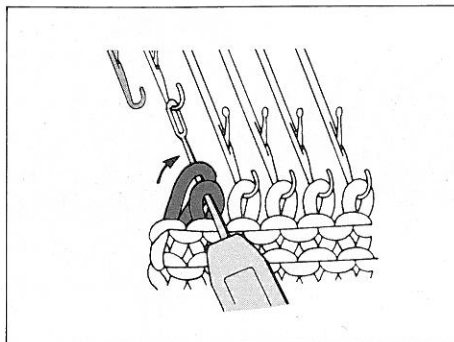


4 E位置に出した編針のフックに、Kキヤリジに渡っている編糸を入れます。

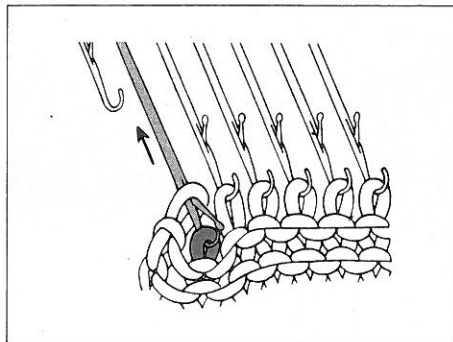
■ 2目以上減らす場合 — 編糸のない側で行います。



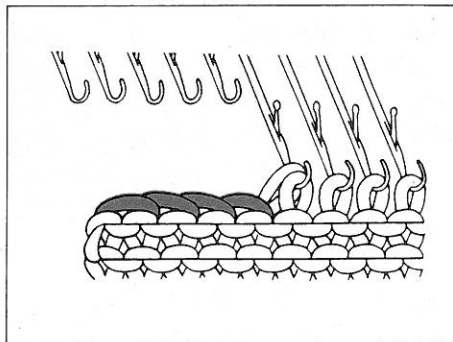
1 ウツシを使って端から2本目の編目を端の編針に移します。



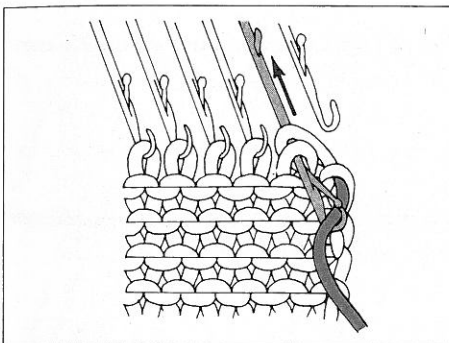
2 端の重なった2目を同時に2本目の編針に移します。カラ針はA位置へもどします。



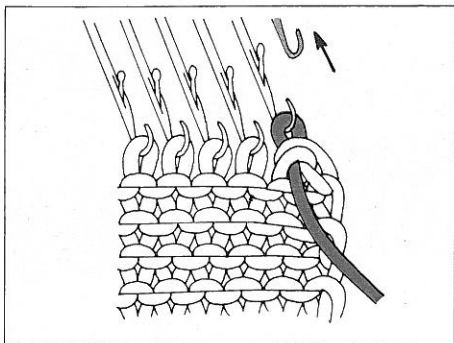
3 重なった2目のうち、編機側の目をベラ抜けさせて編針をB位置にもどし編目を作ります。



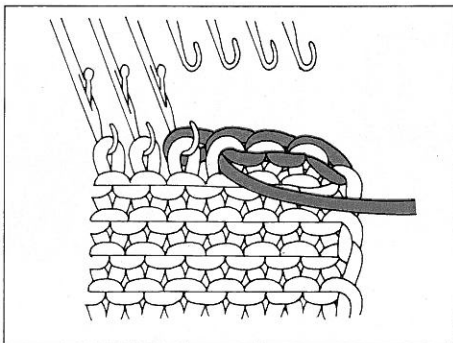
4 減らし目する編目の数だけ1~3を繰り返します。
*減らし目の終わり目は、1と2だけ行い編針には2目かかった状態にします。



5 指で編針をB位置に押しもどします。



6 減らし目したカラの端針をA位置（編まない位置）にもどします。



7 減らし目する編目の数だけ1~6を繰り返します。
*減らし目の終わり目は、1と2だけ行い編針には2目かかった状態にします。

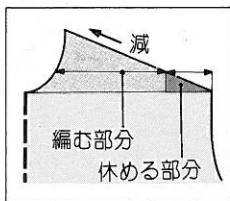
ご注意

減らし目するときに、編目がきつくなりないように注意してください。

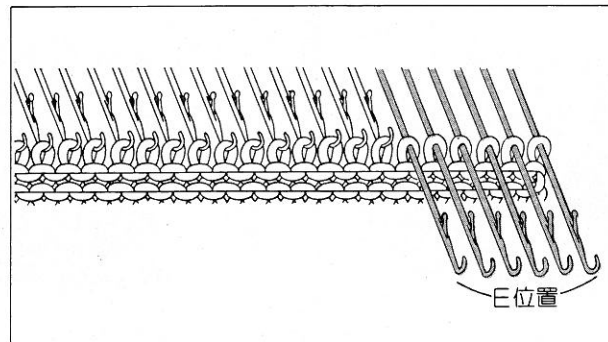
引返し編 (平編・模様編の場合)

■ 編む部分を減らしてゆく場合

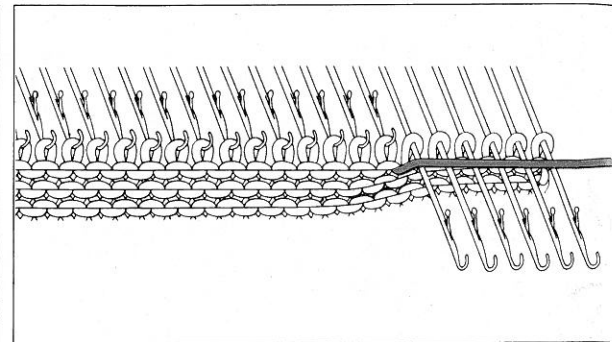
- 編針のE位置を利用して、休める編針を少しずつ増していきま
- す。
- 肩さがりなどの傾斜した編地を編むときに使います。



1 引返しレバーを〈引返し〉にセットします。カムボタン、選針切替ツマミは、編む模様の状態に合わせておきます。



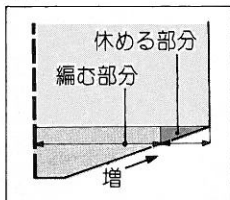
2 Kキャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。



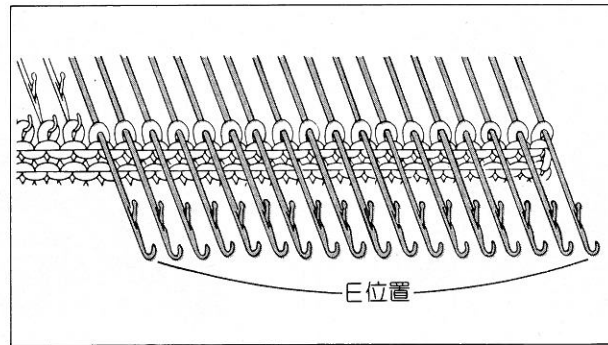
3 1段編みます。B位置およびD位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に編糸が渡ります。

■ 編む部分を増してゆく場合

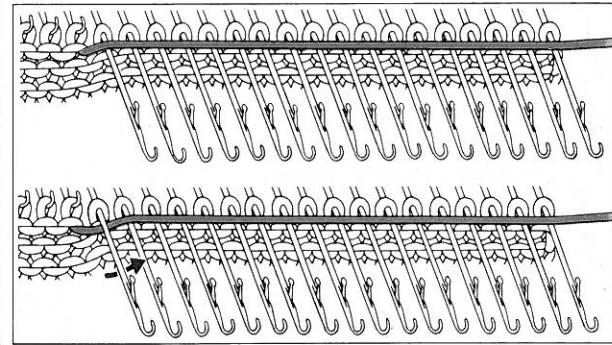
- 最初に編針をたくさん休めてお
- き、編む部分を少しずつ増して
- いきます。
- スカートのすそなどの傾斜した
- 部分を編むときに使います。



1 引返しレバーを〈引返し〉にセットします。カムボタン、選針切替ツマミは、編む模様の状態に合わせておきます。



2 Kキャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。



3 1段編みます。B位置およびD位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に編糸が渡ります。編み終わりのとなりのE位置に出してある編針の下へ編糸をくぐらせます。(模様編のときは52ページ上段4参照)

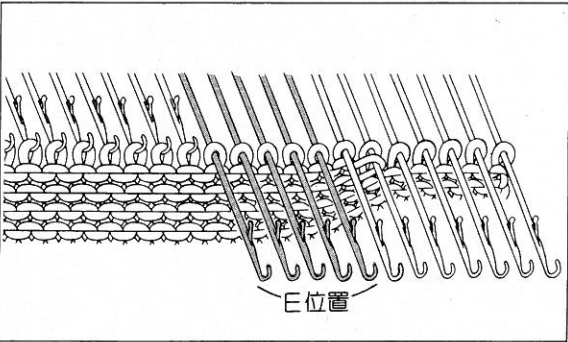
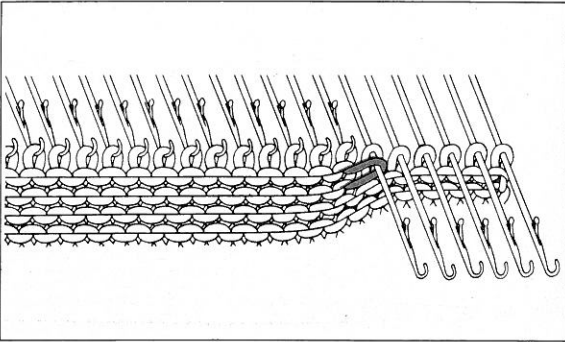
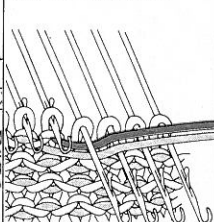
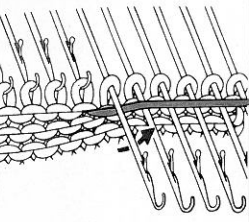
平編の場合

タック模様で、編み
終わりの編針が選針
されている場合

スレッド模様・同時
編込模様の場合

編み終わりの編針

フックの上を渡す



E位置

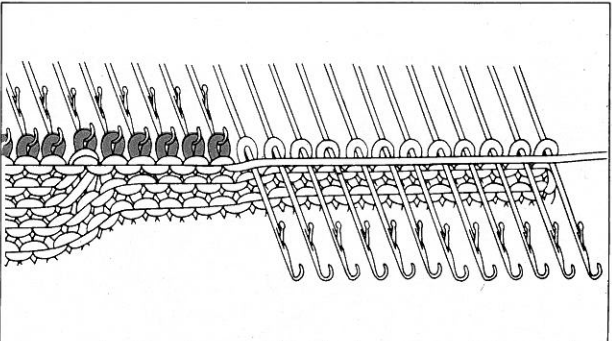
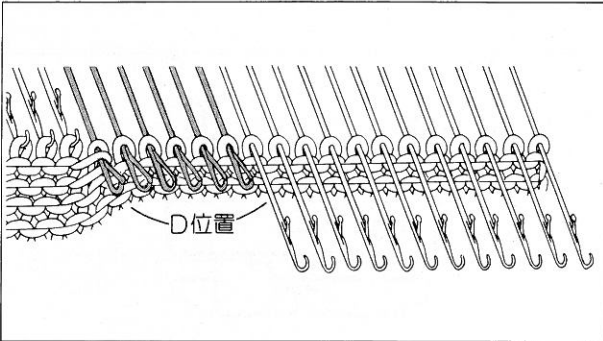
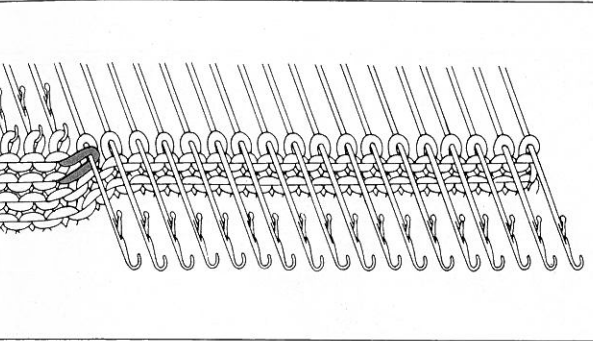
4 編み終わりのとなりのE位置に出してある編針の下へ編糸をくぐらせます。

5 1段編みます。

6 次に休める編針をE位置に出します。

- タック模様で編み終わりの編針が選針されている場合
フックの上を渡してからくぐらせます。
- スレッド模様、同時編込模様の場合
スレッド糸や配色糸も地糸とつしよにくぐらせます。

7 3~6を繰り返し編み進みます。
※引返し編が終わったら、引返しレバーをくひらあみにもどします。



D位置

4 1段編みます。

5 次に編む部分の編針をD位置にもどします。
模様編の場合

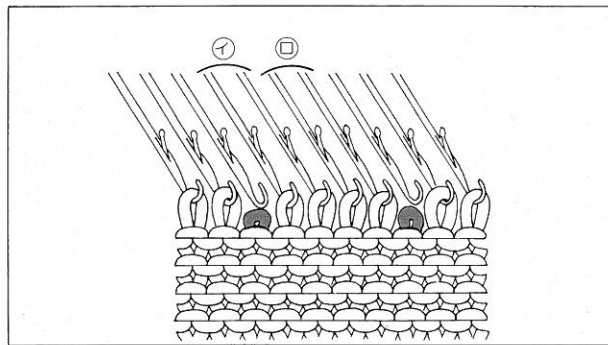
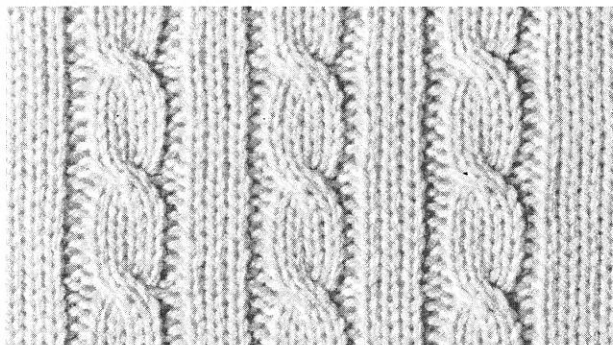
編めている部分の選針状態をよく確認して、D位置の編針のうちB位置にもどる編針の編目を、ウツシを使ってフックの中にもどしB位置に下げます。

6 Kキャリジを操作するとD位置にもどした編針も編めます。

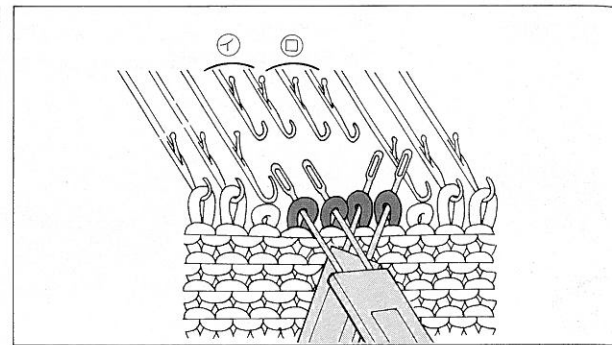
7 3~5を繰り返し編みます。
※引返し編が終わったら、引返しレバーをくひらあみにもどします。

なわ編 (交差模様)

- 編目を交差させて模様を作ります。
- ここではウツシの1×2、2×3の2本針側を使用します。

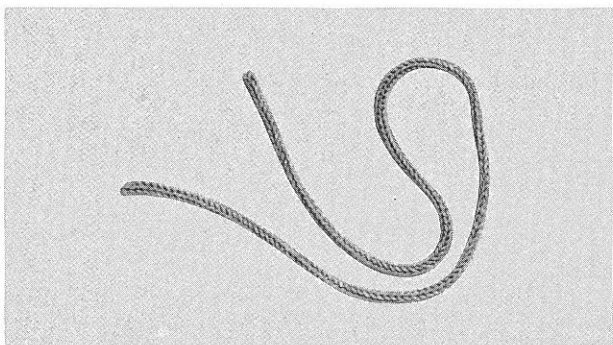


1 平編を8段編み、交差させる編目(①②)の両どりの編目を、1目ずつ編針からはずします。

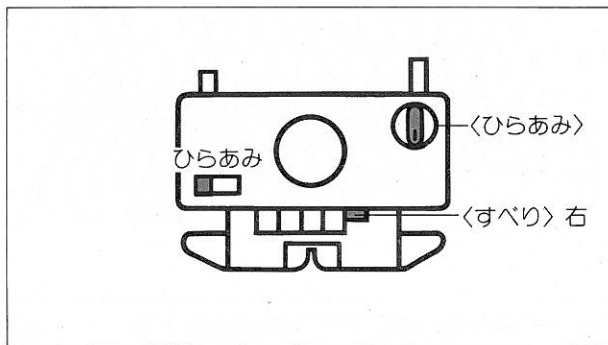


2 交差させる①と②の部分の編目2目ずつをウツシにとります。

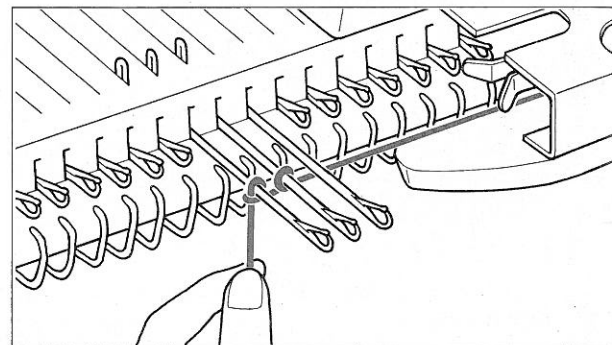
ひも編



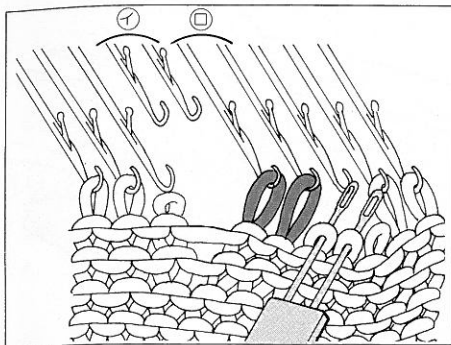
● 編地の左右の編目がつながり、丸くひも状に編み上がります。



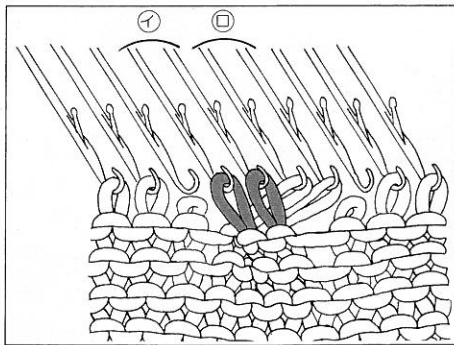
1 Kキャリジをミソ板の右側に置き、カムボタンの〈すべり〉右または左を押します。
※ 編目をきれいにするために編目ダイヤルを標準より小さめに合わせます。



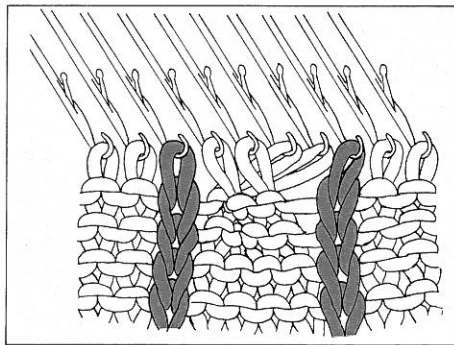
2 ミソ板中央の編針3~4本をE位置に出し、巻き目で作り目します。



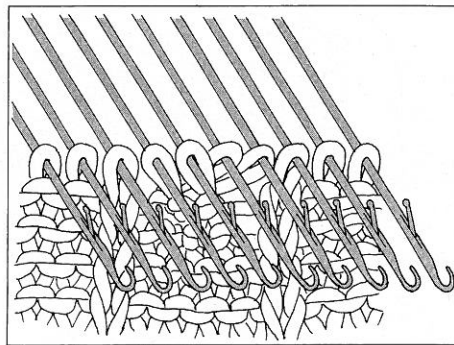
3 ①の編目を②のカラ針に移します。



4 ②の編目を①のカラ針に移します。

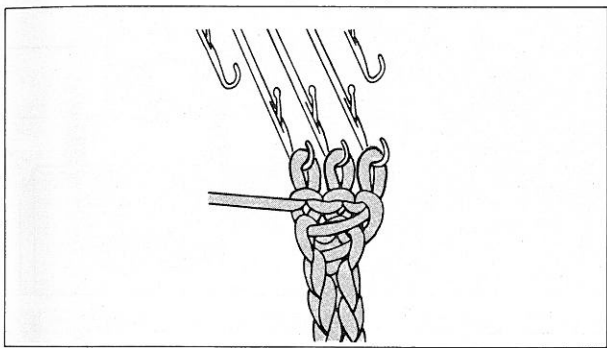


5 ①ではずした編目を8段下からタッピを使って表目に直します。



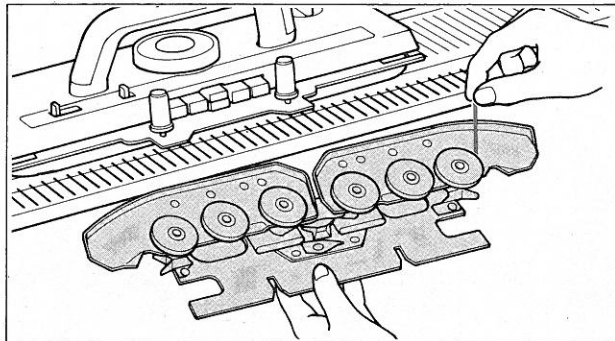
6 編みやすくするために、編針をすべてE位置に出します。

7 ①~⑥を繰り返します。

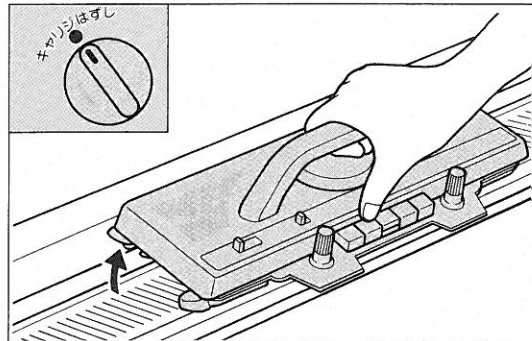


3 左手で糸端を持ち、かるく下に引きながらKキャリジを左右に操作します。

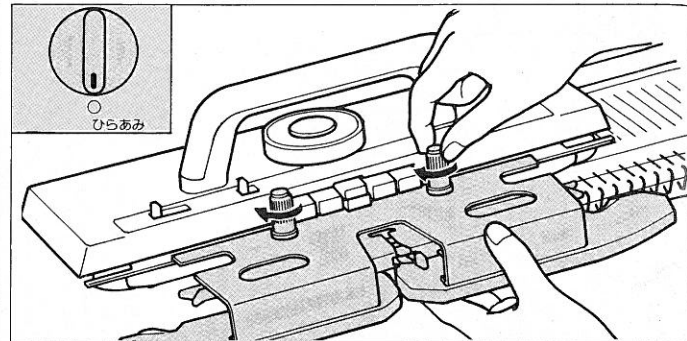
■平編の場合



1 地糸口から編糸をはずし、編地押えツマミをゆるめて編地押えをはずします。
編糸がゴム車にかからなければなりません。

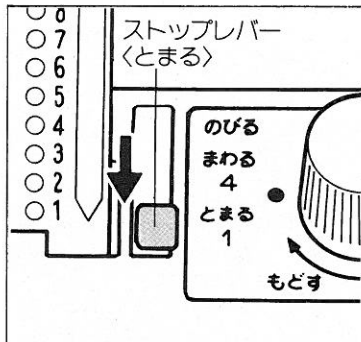


2 選針切替ツマミを〈キャリジはずし〉にセットし、Kキャリジを手前に持ち上げてミゾ板からはずします。

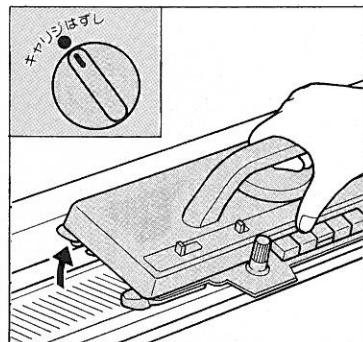


3 選針切替ツマミを〈ひらあみ〉にもどし、進入側のミゾ板の端からKキャリジをはめて編地押えを取り付けます。

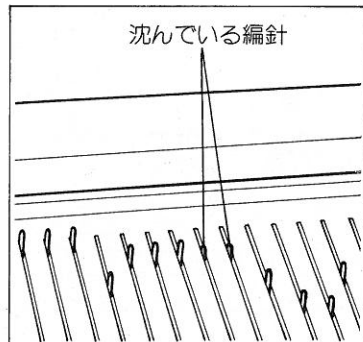
■模様編の場合



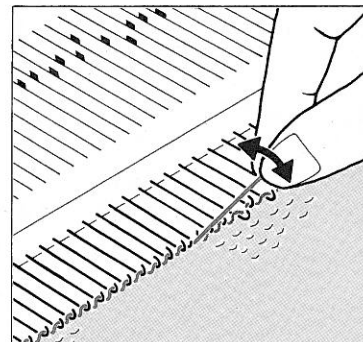
1 ストップレバーを〈とまる〉にします。



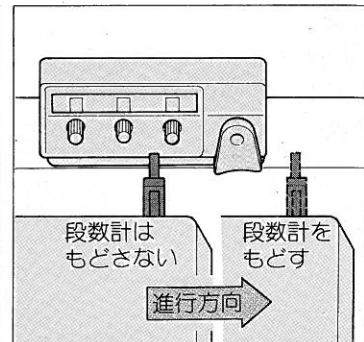
2 編糸・編地押え・Kキャリジをはずします。



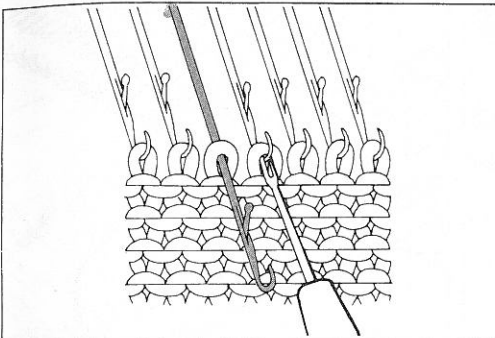
※編針が沈んだままになっているときには、カード送りボタンを押すと自動的に浮き上がります。



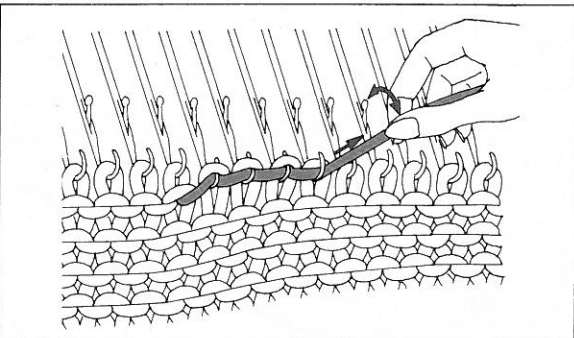
3 平編の場合の**4**~**5**を参照して、不ぞろいになった編針をB位置にそろえ編糸をほどきます。
※間欠送り模様の場合は奇数段ほどきます。



4 編地をほどいた段数だけ、段数計をもどします。

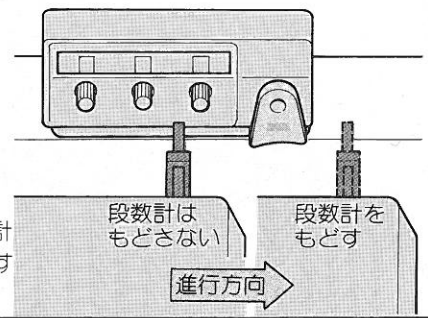


4 ベラの向こう側にある編目をウツシを使ってフックの中にもどし、編針をB位置にそろえます。



5 途中まで編んだ編糸を、クシパの線と平行に引いて編目を引きしぼり、前後に振りながらフックからははずすようにほどきます。前の段の編目はフックにかかります。

●段数計を使っている場合



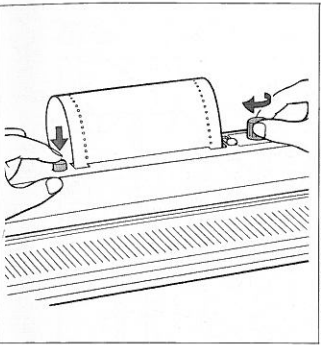
※途中まで編んだ時点で、段数計が送られていないときはもどす必要はありません。

段数計はもどさない

段数計をもどす

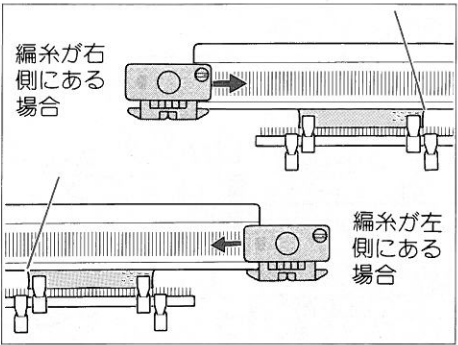
進行方向

6 ほどいた段数だけ段数計をもどし、糸のたるみを直してから編み始めます。

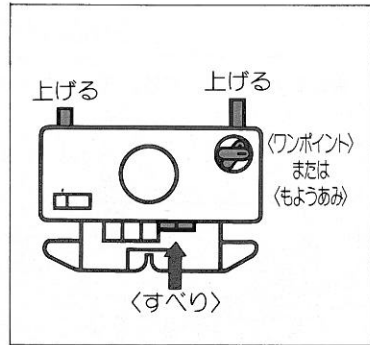


●間欠送り模様の場合

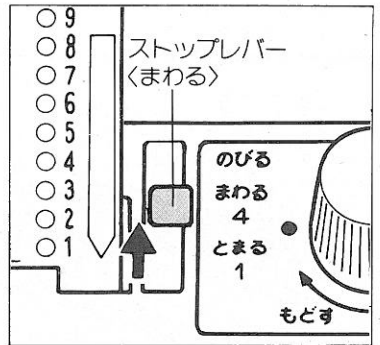
編地をほどいた段数	パンチカードをもどす段数	
	編糸が左側にある場合	編糸が右側にある場合
1	0	1
3	1	2
5	2	3
7	3	4
⋮	⋮	⋮



6 選針切替ツマミを〈もようあみ〉または〈ワンポイント〉に合わせ編糸の出ている反対側のミゾ板の端からKキャリジをはめます。



7 作動レバー左右を上げ、カムボタンの〈すべり〉左右を押して、Kキャリジを編糸のある側へ動かして選針します。

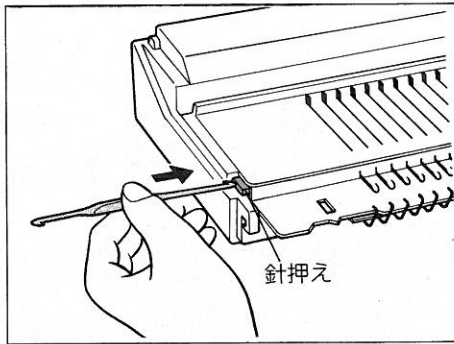


8 糸口に編糸を通し、ストップレバーを〈くまわる〉にしてKキャリジを各模様編の状態に直します。作動レバーを下げて編み始めます。

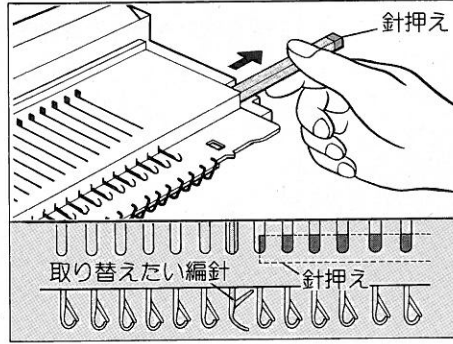
編針が曲がったときには

●編針が曲がっていたり、折れたり、また傷がついたりしていると、さまざまなトラブルの原因となりますので次の順序で編針を取り替えてください。

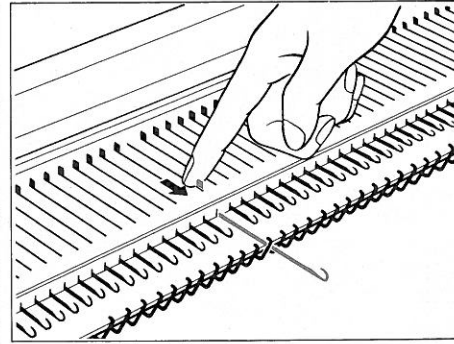
■編針の取り替え方



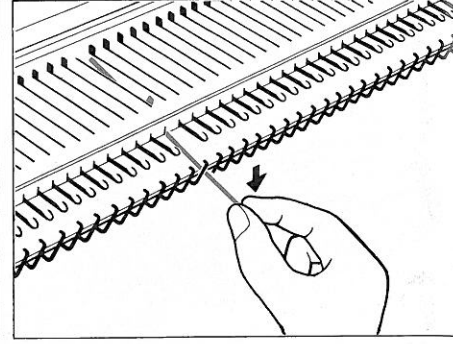
1 針押えを、カギ針の7号(4ミリ)側を使って押し出します。



2 針押えの端が、取り替えたい編針を通り過ぎるところまで引き抜きます。



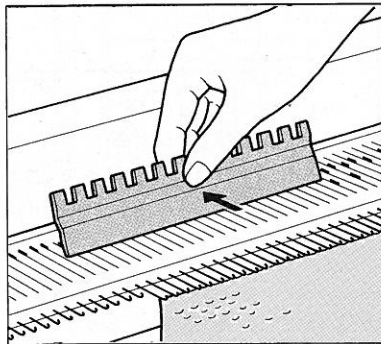
3 編針をE位置まで出します。



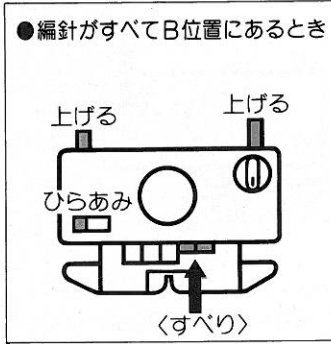
4 編針のフック部分を押し下げ、シャンクをミゾ板の上へ出します。

Kキャリジをカラ送りするには

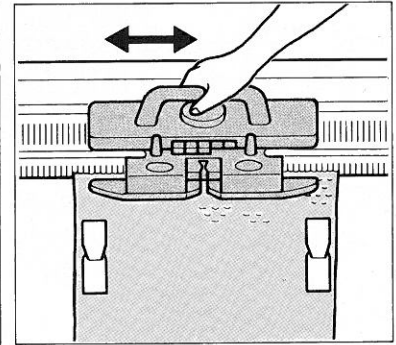
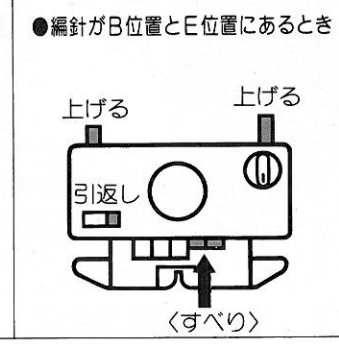
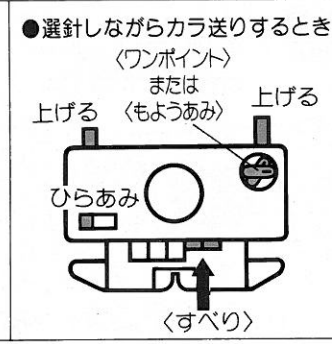
●Kキャリジを、ミゾ板に取り付けたまま編まずに移動することができます。



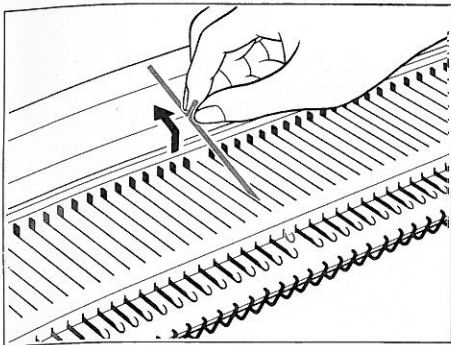
1 編目がバラの向う側にある場合はフックにもどしてから、E位置以外の編針をB位置へもどします。



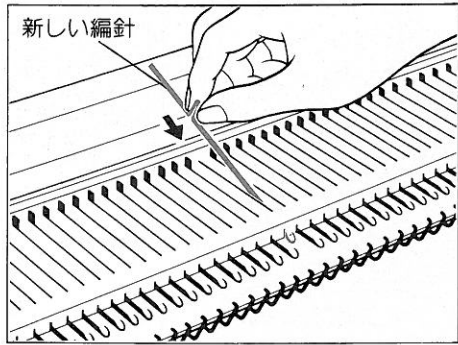
2 それぞれの場合によってKキャリジをセットします。



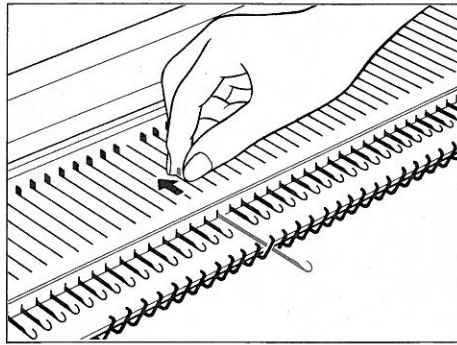
3 Kキャリジを動かしカラ送りします。



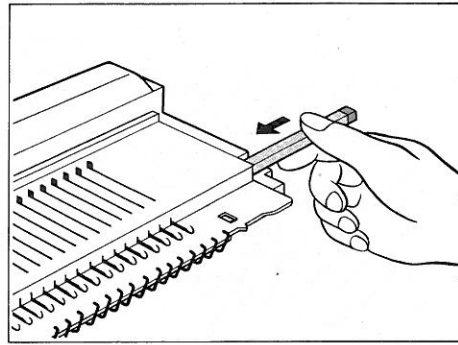
5 編針をつまんで、後へ引き抜きます。



6 新しい編針のペラを開いてミソ板の中に入れ、そのままE位置まで差し込みます。



7 編針をミソ板の中に押し下げ、そのままA位置にもどします。

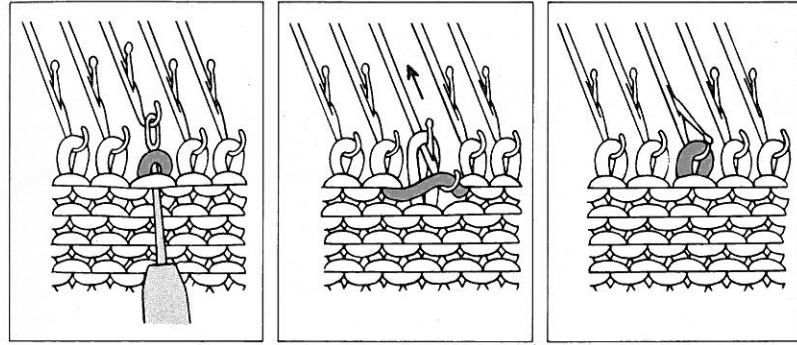


8 針押えを押し込みます。

編目がおちてしまったときには (編目の拾い方)

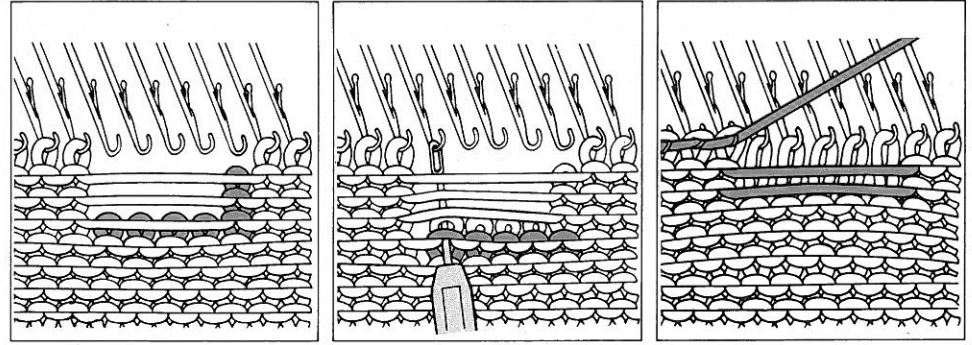
●ウツシを使って編目を拾っていきます。

■おちた編目が少ない場合



おちた編目の1段下の編目を拾い上げ、編針にかけて編目を作り直します。

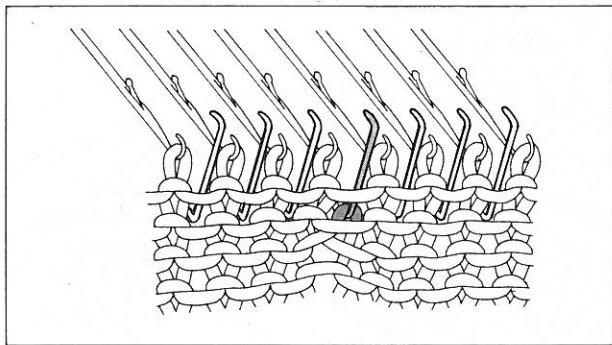
■おちた編目が多い場合



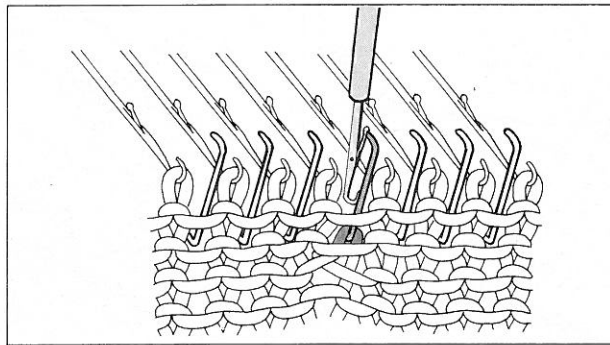
1 おちた部分から2~3段下の編目を拾って編針にかけます。

2 拾った編目の段まで編地をほどき、正しい状態にもどします。

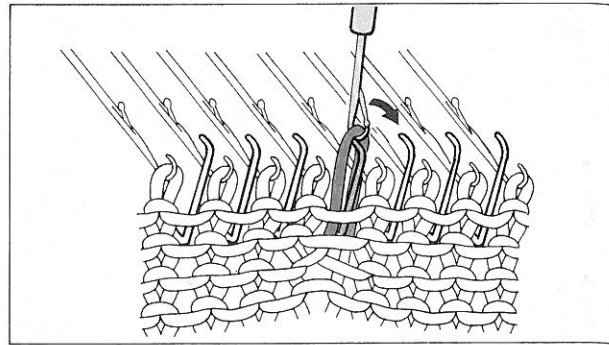
編糸がクシバにかかってしまったときは



● 編糸がクシバにかかったまま編むと、編目がつた状態になります。

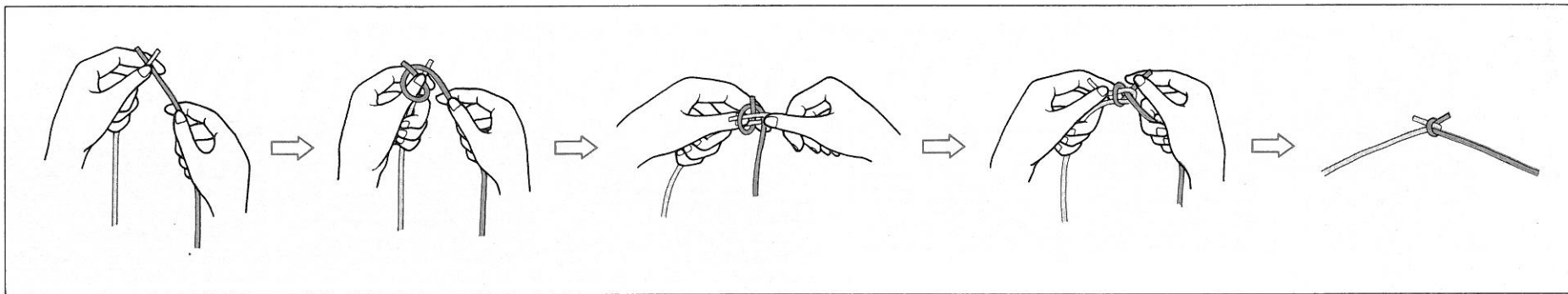


1 タップを、ペラが手前にくるように持ちます。



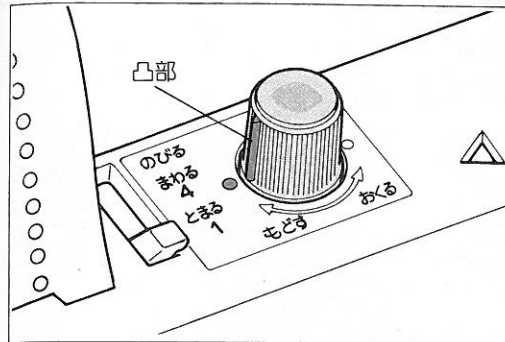
2 クシバにかかっている編糸を引っ掛け、手前へはずします。

編んでいる途中で編糸がなくなったときは

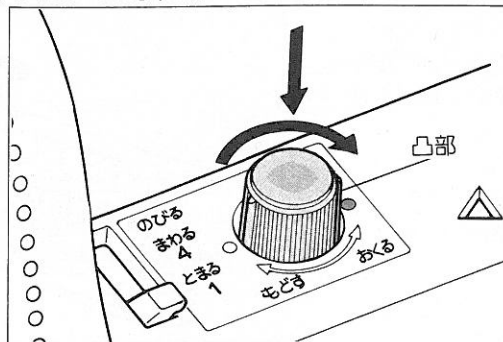


結び目が小さい〈はた結び〉にします。

■ 正しく選針されているかどうか確認したいときには



1 カード送りツマミを押さずに回し、凸部を表示板の○印に合わせます。

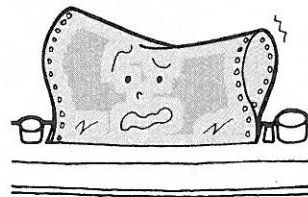


2 送りツマミをいっばいに押し下げ、〈もどす〉方向に180°回して、反対側の○印に合わせるとカードは7段もどり、現在編んでいる段の模様穴がカード差込口に現われます。

■ 編針がまちがって選針されていた場合

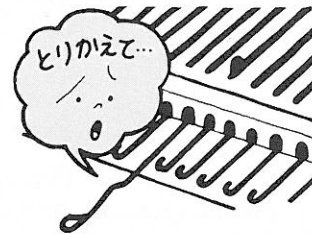
次のような原因が考えられます。

●パンチカードが正しく入っていないとき



カードが斜めに入っていたら、まっすぐに入れ直します。

●編針が曲がっているとき

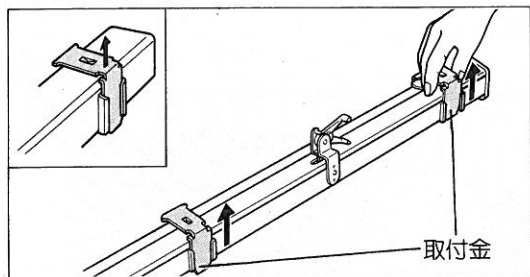


まちがって選針されている編針をE位置まで出し、曲がっていたら取り替えます。
(57~58ページ参照)

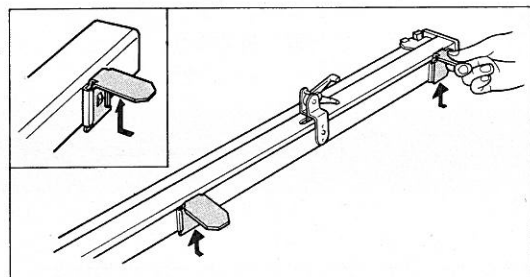
ニットリーダーをご利用の場合

●この編機にはニットリーダーは付いていません。別売りのニットリーダーKL-117または、KH-811・KH-821・KH-831・KH-851用のニットリーダーをご使用ください。

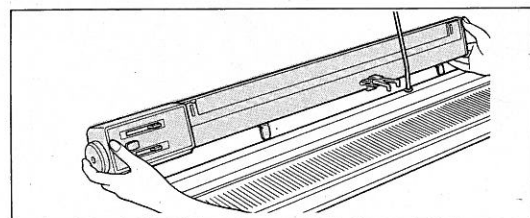
■取り付け方



1 ニットリーダーをリーダーケースから取り出し、2個の取付金を矢印方向に引っ張って取りはずします。



2 取りはずした取付金をニットリーダーの取付部に差し込みます。



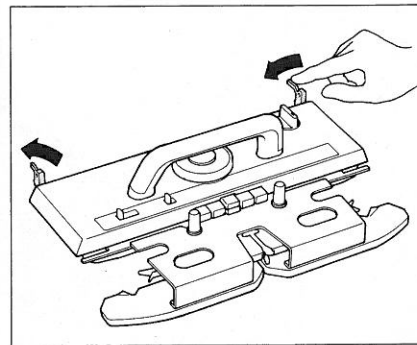
3 ニットリーダーの取付金を編機うしろ側のリーダー取付部に差し込みます。

※このあとの取り付け方は、使用するニットリーダーの取扱説明書をご覧ください。

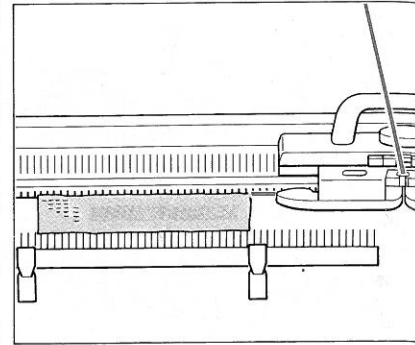
■編ゲージの作り方

- 作品を、希望どおりの寸法に編み上げるため、作品に使う編糸で作品と同じ模様の編地を編み、編目の大きさを知るものです。
- 段数(たて方向)30段、目数(よこ方向)20目の長さを測ります。

1 段数計を0000にセットします。

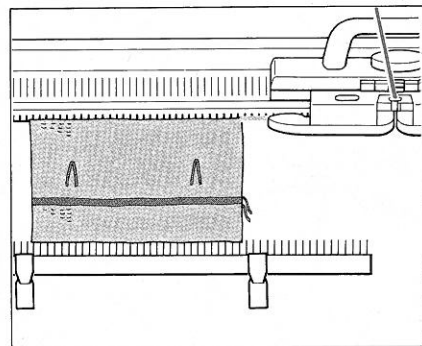


2 左右の作動レバーを下げます。



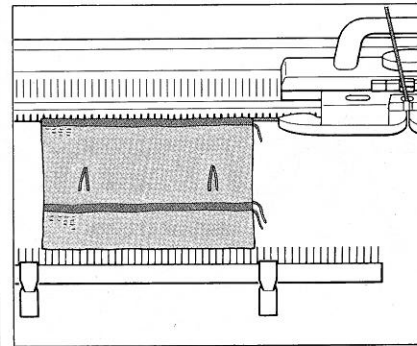
3 中心より左20~右20までの編針をB位置に出し、地糸で平編を10段編みます。

段数計は **010** を示します。



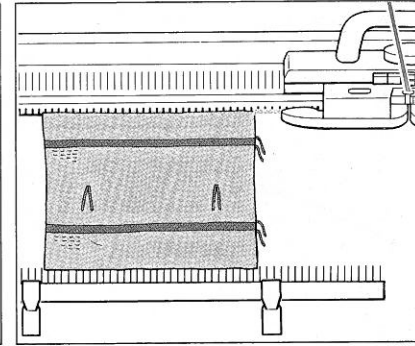
8 さらに15段編みます。

段数計は **042** を示します。



9 地糸をはずして糸カケに休め、別糸で2段編み、別糸を切ります。

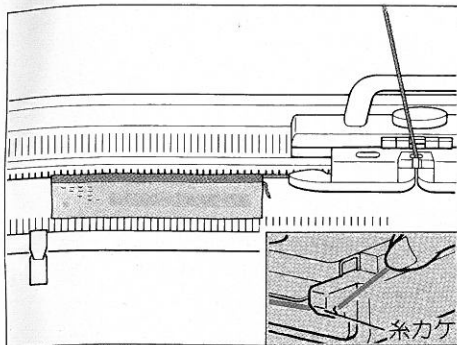
段数計は **044** を示します。



10 休めてあった地糸を地糸口に入れ10段編みます。

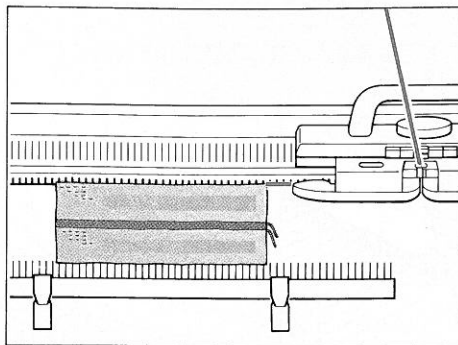
段数計は **054** を示します。

※ニットリーダーをご使用の場合は、キャリジの作動レバー左右を下げてください。



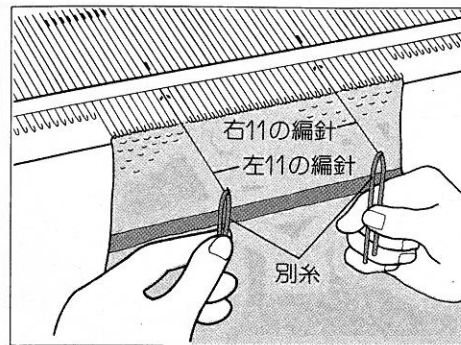
4 地糸をはずして糸カケに休め、別糸(色違いの糸)で2段編みます。
※編んだあとは、別糸を切って糸取装置の糸カケに休めておきます。

段数計は **0 1 2** を示します。

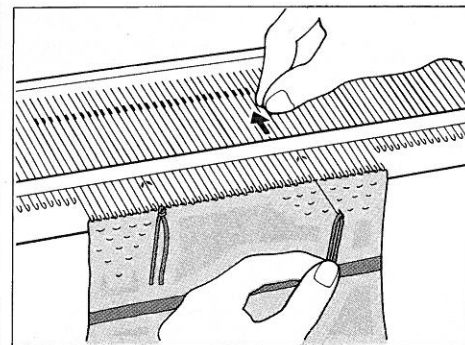


5 休めてあった地糸を地糸口に入れ15段編みます。

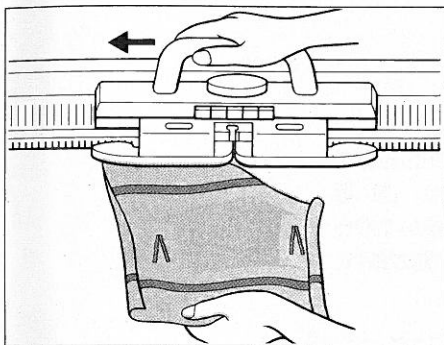
段数計は **0 2 7** を示します。



6 中心より左右11本目(針目盛のA印の編針)の編針を1本ずつE位置に出し、別糸の糸端を10cmほど2本切ってE位置の編針にかけます。

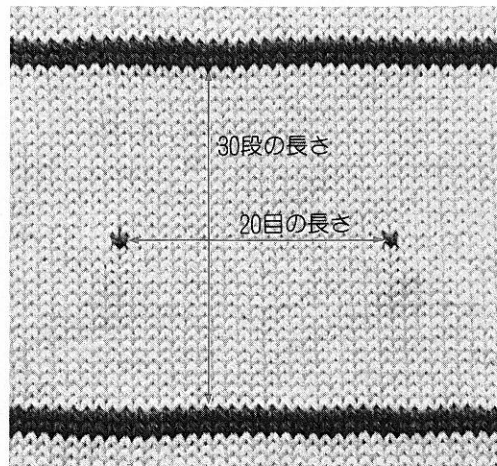


7 E位置の2本の編針をB位置までもどし、編目を作ります。



11 地糸を地糸口からはずして切り、Kキャリジを動かして編地をはずします。

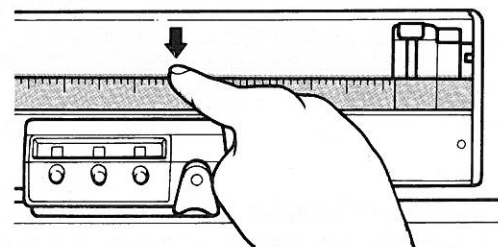
■ 編ゲージをセットする場合



編ゲージにスチームアイロンをかけたあと、

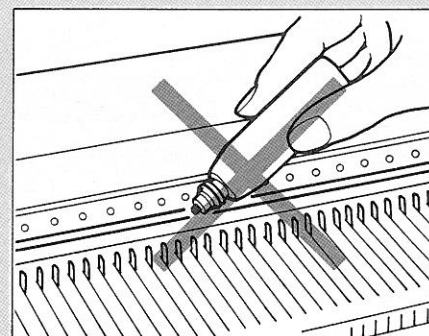
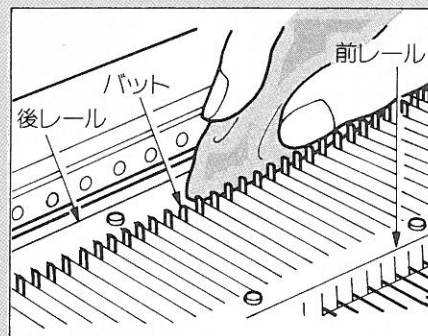
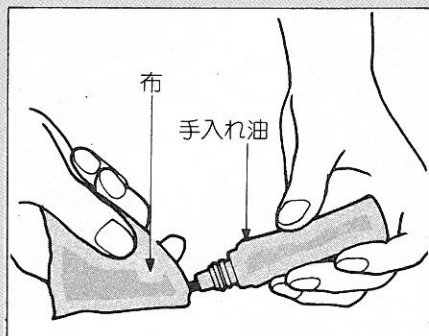
- ①段数(たて方向…別糸の内側30段)の長さを測り、ゲージツマミをセットします。
- ②目数(よこ方向…別糸の内側20目)の長さを測り、本機(パンチナイン)付属の編目スケールから選んでニットリーダーにセットします。

※付属の編目スケールは、20目の長さ80mm~155mmが入っています。



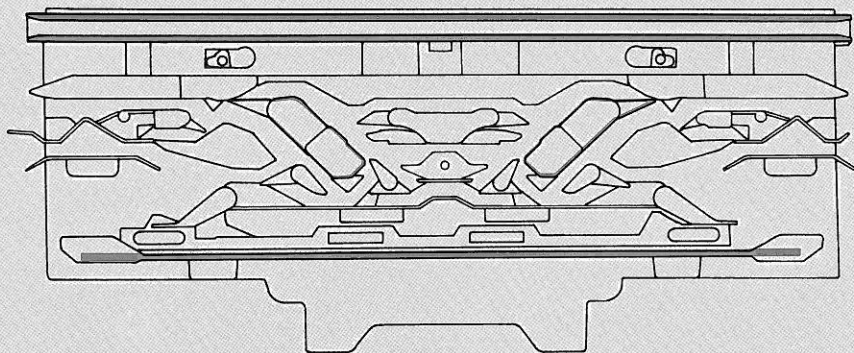
お手入れ

- Kキャリジを本体からはずし、手帕や布でほこりやゴミを取り除いてください。
- 金属部分は付属の手入れ油をしみ込ませた布で、プラスチック部分は中性洗剤などをしみ込ませた布でふいてください。
- シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリンなどを使用しないでください。



ミソ板の部分は、編針をB位置にそろえ、後レール・前レール・編針のバットを付属の手入れ油をしみ込ませた布でふきます。

編機へ直接注油しないでください。



Kキャリジの裏側は上図の一部分に沿って、手入れ油をしみ込ませた布でふきます。Kキャリジの操作が重いときもふいてください。

編機を長く保存しておいて再び使用するときには、油をしみ込ませた布でよくふき取り、古い毛糸で20~30段平編を編んでからご使用ください。古い油が取れ、作品をよごしません。

●アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。) それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこの編機の補修用性能部品を、お買い上げ日から最低5年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

札幌支店	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	電話(011) 261-6631
仙台支店	〒980 仙台市一番町2-3-10	電話(0222) 27-8877
北関東支店	〒330 大宮市仲町1丁目124-2	電話(0486) 42-1271
東京支社	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	電話(03) 273-0231
横浜支店	〒220 横浜市西区楠町9-6	電話(045) 312-8631
新潟支店	〒950 新潟市東大通1-1-1	電話(0252) 47-7101
静岡支店	〒420 静岡市御幸町9-1	電話(0542) 54-2601
名古屋支店	〒460 名古屋市中区栄3-27-18	電話(052) 261-3271
京都支店	〒600 京都市下京区四条通り御幸町角	電話(075) 255-2481
大阪支店	〒542 大阪市南区心斎橋筋1-1	電話(06) 252-1797
広島支店	〒730 広島市中区胡町4-27	電話(082) 241-9236
高松支店	〒760 高松市寿町1-1-5	電話(0878) 51-7341
福岡支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	電話(092) 481-2671
熊本支店	〒860 熊本市城東町2-20	電話(096) 355-7151
沖縄出張所	〒900 那覇市泊3-1-2	電話(0988) 68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

〒467 名古屋市瑞穂区堀田通9-35
電話 (052) 824-2511代

取扱店